この本の読みかた

本書は、次の６つの章と付録で構成されています。
奇数ページの右端には、マークをつけてあります。マークは章ごとに一段ずつ下げてあるので、目的の章を検索するときにご利用ください。

１章　パソコンの基本操作を覚えよう

パソコンの各部の名前から始まり、パソコン本体に用意されているボタンやスロット、さまざまな機能について説明しています。

２章　ネットワークの世界へ

パソコンを外の世界と結ぶネットワーク。世界中と結ぶインターネットから、家族と結ぶLAN まで、各ネットワークについて説明しています。

３章　周辺機器を使って機能を広げよう

パソコン本体に用意されているコネクタにいろいろな機器をつないで、機能を広げることができます。本パソコンにはどんなコネクタが用意されていて、どんな機器が接続できるのかを説明しています。

４章　バッテリ駆動で使う

屋外やテラスなど、電源コンセントがない場所で使用するために、本パソコンにはバッテリ駆動の機能が用意されています。バッテリ駆動で使用するための充電方法や、バッテリを効率良く使うための方法を説明しています。

５章　システム環境の変更

パソコンのシステム構成を BIOS セットアップで変更する方法を説明しています。

６章　パソコンの動作がおかしいときは

なんだか動きがおかしい、故障？と思うようなとき、また使用上困ってしまってどうしようもないときなどのトラブル解消方法を紹介しています。

付録

無線 LAN のご使用になれる国／地域や、技術基準についての規格文書を掲載しています。

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠危 険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 ....「　」 他のマニュアルへの参照の場合 ....『　』 オンラインマニュアル、できるdynabookへの参照の場合 ....《　》 オンラインマニュアルにはさまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム
特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows XPです。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP
特に説明がない場合は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版を示します。

MS-IME
Microsoft® IME 2003／ナチュラル インプット2003を示します。

オンラインマニュアル
パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブ
DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 詳細について 「1章 3 CDやDVDを使う」

マウス同梱モデル　USBマウスが同梱されているモデルを示します。
USBメモリ同梱モデル　USBフラッシュメモリが同梱されているモデルを示します。
ExpressCard搭載モデル　Express Cardスロットが搭載されているモデルを示します。
ブリッジメディア搭載モデル　ブリッジメディアスロットが搭載されているモデルを示します。
光るタッチパッド搭載モデル　光るタッチパッドが搭載されているモデルを示します。
i.LINK搭載モデル　i.LINK（IEEE1394）コネクタが搭載されているモデルを示します。
無線LANモデル　無線LAN機能が搭載されているモデルを示します。

記載について

- 記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルのみ」と注記します。
- インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱の CD ／ DVD からインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、コントロールパネルの操作方法についてカテゴリ表示を前提に記載しています。クラシック表示になっている場合は、カテゴリ表示に切り替えてから操作説明を確認してください。

参照 カテゴリ表示とクラシック表示 《オンラインマニュアル（検索）：コントロールパネルの使いかた》

Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、OneNote、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、インテル、Pentium、Centrino、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標、または登録商標です。
- BeatJam、ホームページミックスは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- BeatJam、ホームページミックス /R.2 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJam、ホームページミックス /R.2 にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- MagicGate、メモリースティック、メモリースティックロゴ、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO、メモリースティック PRO Duo は、ソニー株式会社の商標です。
- xD- ピクチャーカード™ は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
- Fast Ethernet、Ethernet は富士ゼロックス株式会社の商標または登録商標です。
- LaLaVoice、ConfigFree は株式会社東芝の登録商標です。
- 「駅前探険倶楽部」、「駅探」は登録商標です。
- The 翻訳、The 翻訳インターネットは東芝ソリューション株式会社の商標です。
- Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標です。
- InterVideo、WinDVD、WinDVD Creator は InterVideo,Inc. の登録商標または商標です。
- 「PC 引越ナビ」は、東芝パソコンシステム株式会社の商標です。
- 駅すぱあとは、株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
- プロアトラスは、株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
- 筆ぐるめは、富士ソフト ABC 株式会社の登録商標です。
- McAfee、VirusScan およびマカフィーは米国法人 McAfee,Inc. またはその関係会社の登録商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Java はサンマイクロシステムズ社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- 「アイフィルター」は、デジタルアーツ株式会社の商標です。
- Sonic RecordNow!は Sonic Solutions の登録商標です。
- 「できる」は、株式会社インプレスの登録商標です。
- infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。
- アメリカ・オンラインおよび AOL は AOL の登録商標です。
- BIGLOBE は日本電気株式会社の登録商標です。
- DION は KDDI 株式会社の登録商標です。
- OCN は NTT コミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ODN は日本テレコム株式会社の商標です。
- So-net、ソネット、および So-net のロゴはソニー株式会社の商標、または登録商標です。
- かるがるネットは株式会社ジーエムエス総合研究所の登録商標です。
- 「Yahoo!」は、Yahoo! Inc. の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- AC アダプタを接続せずバッテリ駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高 1,000 メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温５～30℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。
この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC ダイヤル 0120-97-1048 にお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

①［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツールまたは『セットアップガイド』に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品に内蔵されている画像を、本製品での壁紙以外の用途に使用することを禁じます。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワード設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、弊社は一切の責任を負いません。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
- 一部のアプリケーションでは初回起動時に使用許諾書が表示されます。アプリケーションを使用するには使用許諾書に同意してください。
  使用許諾書に同意すると、2回目以降は使用許諾書の表示はされませんが、再セットアップを行った場合には使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書兼お客様登録カード』は、「東芝保証書」と「お客様登録カード」を中央の切り取り線で切り離せます。「東芝保証書」は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の『お客様登録カード』または弊社ホームページで登録できます。

参照 詳細について 『セットアップガイド 6章 1 お客様登録の手続き』

1 章

パソコンの基本操作を覚えよう

このパソコン本体の各部について、役割、基本の使いかたなどを説明しています。

1 各部の名称

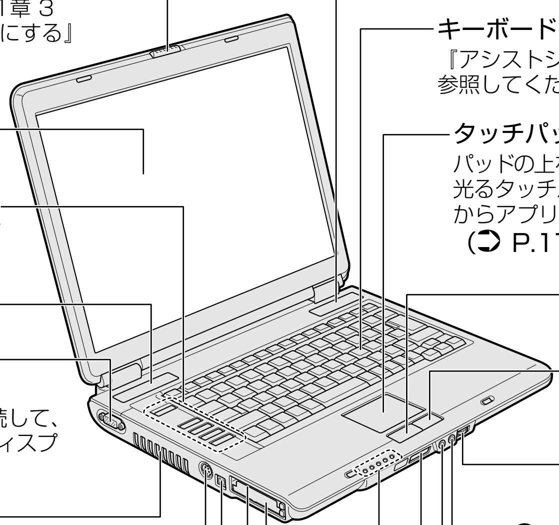
－ 外観図 －

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明は、各参照ページや各マニュアルを確認してください。

メモ

- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

① 前面図



ディスプレイ開閉ラッチ
『セットアップガイド 1章 3 Windowsを使えるようにする』を参照してください。

ディスプレイ
（➲ P.28）

次頁の「電源スイッチ・ボタン」を確認してください。

スピーカ

RGBコネクタ
（➲ P.63）
外部ディスプレイと接続して、パソコンの映像を外部ディスプレイに表示します。

通風孔
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさがないでください。

S-Video出力コネクタ
（➲ P.56）
S端子ケーブルを接続して、パソコンの映像をテレビに表示します。

S400 i.LINK (IEEE1394) コネクタ
（➲ P.54）
＊ i.LINK搭載モデルのみ
ビデオカメラなど、i.LINK(IEEE1394)対応機器を接続します。

EX ExpressCardスロット（上段）
（➲ P.69）
＊ ExpressCard搭載モデルのみ
ExpressCardをセットします。

スピーカ

キーボード
『アシストシート』、『スタートガイド』を参照してください。

タッチパッド（➲ P.14）
パッドの上を指でなぞって、パソコンを操作します。
光るタッチパッド搭載モデルの場合、タッチパッドからアプリケーションを起動できます。
（➲ P.17）

左ボタン（➲ P.14）
項目を選択します。

右ボタン（➲ P.14）
メニューを表示します。

ボリュームダイヤル
音量を調整します。

ヘッドホン出力端子（➲ P.66）
ヘッドホンを接続します。

マイク入力端子（➲ P.65）
マイクロホンを接続します。

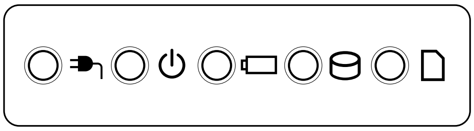
ブリッジメディアスロット（➲ P.29）
＊ ブリッジメディア搭載モデルのみ
SDカード、メモリースティック、マルチメディアカード、xD-ピクチャーカードなどをセットします。

システムインジケータ
次頁の説明を参照してください。

CB PCカードスロット（下段）
（➲ P.67）
PC カードをセットします。

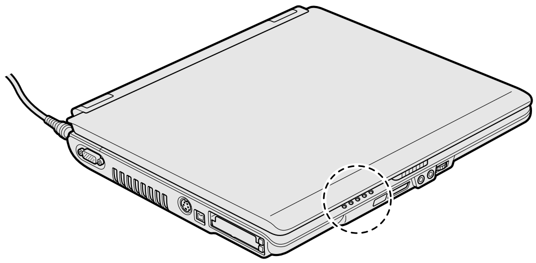
1 システムインジケータ

システムインジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。



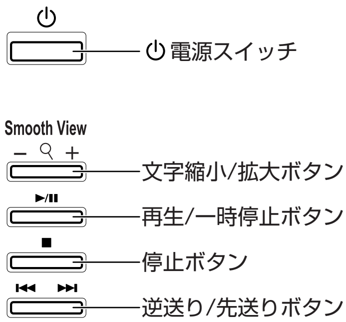
	DC IN LED	電源コード接続の状態 『セットアップガイド 1 章 4-②- 電源に関する表示』を参照してください。
	Power LED	電源の状態 『セットアップガイド 1 章 4-②- 電源に関する表示』を参照してください。
	Battery LED	バッテリの状態　参照 P.73
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている
	ブリッジメディア LED	ブリッジメディアスロットにアクセスしている　参照 P.31

ディスプレイを閉じたとき
各 LED は、ディスプレイを閉じた状態でも確認することができます。



2 電源スイッチ・ボタン

パソコンで DVD-Video を見たり音楽を聴いたりするとき、ボタンを使用すると簡単に操作することができます。



ボタンの操作方法

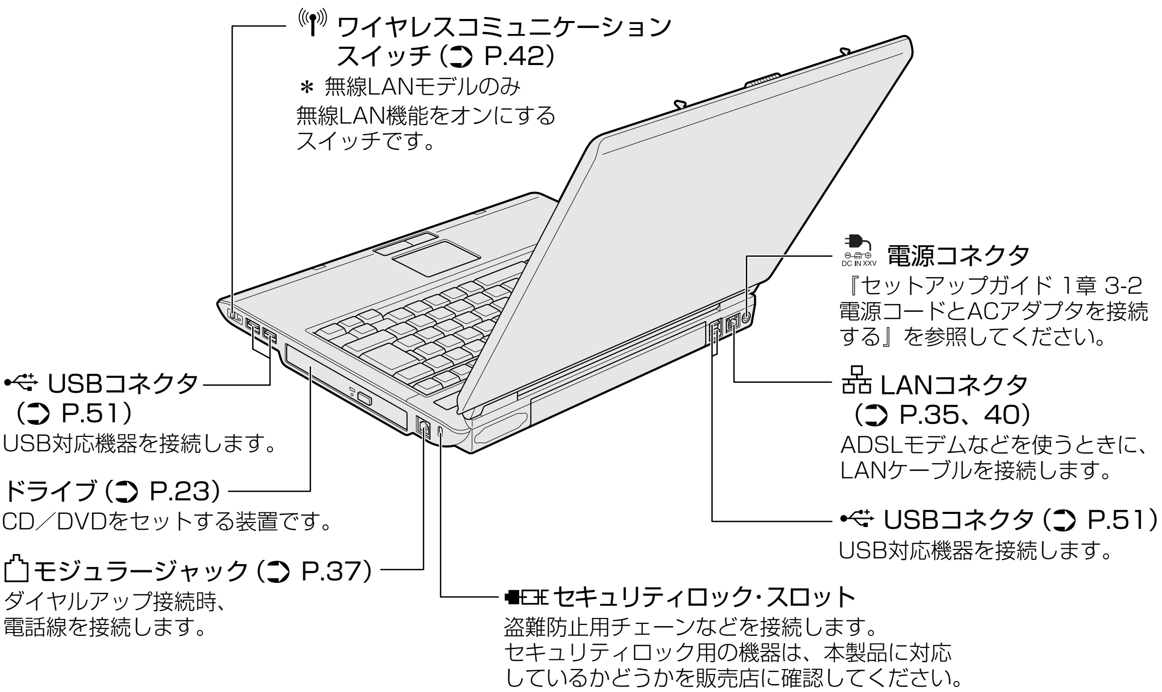
操作するボタンを、指で押してください。押したボタンに割り当てられている機能を実行します。ボタンに割り当てられている機能は「東芝コントロール」で変更できます。詳しくは、《オンラインマニュアル（検索）：ボタンに割り当てるアプリケーションを変更する》を参照してください。

ボタンの機能

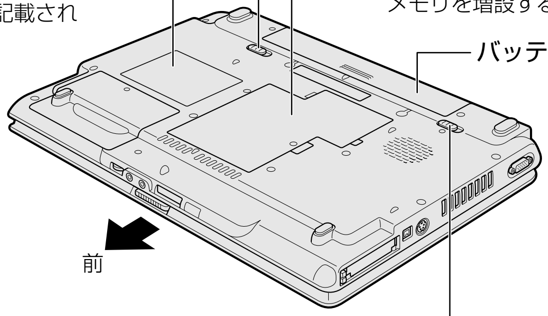
それぞれのボタンの機能は、次のようになっています。

文字縮小 / 拡大ボタン	ボタンの左側を押すと、画面やアイコンなどを縮小します。ボタンの右側を押すと、画面やアイコンなどを拡大します。このボタンは、Windows が起動しているときに操作可能です。
再生 / 一時停止ボタン	アプリケーションを再生、一時停止または一時停止を解除します。
停止ボタン	そのとき操作しているアプリケーションを停止します。
逆送り / 先送りボタン	ボタンの左側を押すと、そのとき再生している音楽や映像のトラック／チャプタを 1 つ前またはトラック／チャプタの先頭に戻します。ボタンの右側を押すと、そのとき再生している音楽や映像のトラック／チャプタを 1 つ進めます。

② 背面図



③ 裏面図



通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさがないでください。

⚠ 警 告

- **必ず、本製品付属の AC アダプタを使用すること**
  本製品付属以外の AC アダプタを使用すると電圧や（＋）（－）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **パソコン本体に AC アダプタを接続する場合、必ず『セットアップガイド 1 章 3 Windows を使えるようにする』に記載してある順番を守って接続すること**
  順番を守らないと、AC アダプタの DC 出力プラグが帯電し、感電または軽いケガをする場合があります。また、AC アダプタのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

⚠ 注 意

- **お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜くこと**
  電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。

お願い

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

【 電源コードの仕様 】
本製品に同梱されている電源コードは、日本の規格にのみ準拠しています。
使用できる電圧（AC）は、100V です。
必ず AC100V のコンセントで使用してください。

＊ 取得規格は、電気用品安全法です。

その他の地域で使用する場合は、当該国・地域の法令・安全規格に適合した電源コードを購入してください。

【 AC アダプタの仕様 】
入力：AC100 ～ 240V、～ 1.5A、50-60Hz
出力：DC19V 3.42A

2 ポインタを動かす／ファイルを開く

－ タッチパッドとマウス －

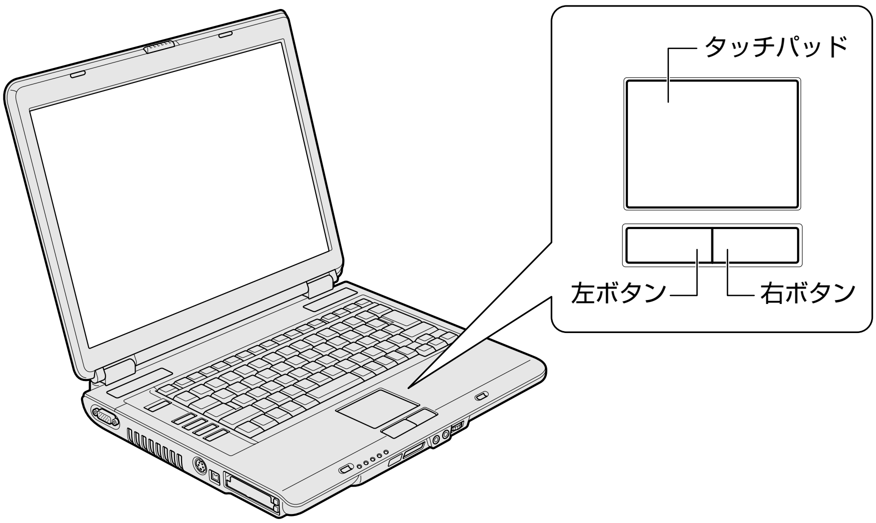
① タッチパッドで操作する

電源を入れて Windows を起動すると、パソコンのディスプレイに が表示されます。この矢印を「ポインタ」といい、操作の開始位置を示しています。この「ポインタ」を動かしながらパソコンを操作していきます。
パソコン本体には、「ポインタ」を動かすタッチパッドと、操作の指示を与える左ボタン／右ボタンがあります。

タッチパッドと左ボタン／右ボタンを使ってポインタを動かし、パソコンを操作してみましょう。
ここでは、タッチパッドと左ボタン／右ボタンの設定を変更する方法について説明します。
タッチパッドの基本的な使いかたについては、『スタートガイド』をご覧ください。

お願い 操作にあたって

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使わないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。



② タッチパッドをもっと使いやすくしよう

タッチパッドやポインタの設定は、［マウスのプロパティ］で行います。

1 この画面で設定する

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

3 ［ マウス］をクリックする

［マウスのプロパティ］画面が表示されます。



（表示例）

4 ［デバイス設定］タブで［設定］ボタンをクリックする

［デバイス設定］画面が表示されます。



［アイテムの選択］で設定したい項をダブルクリックし各設定を行ってください。
各項目については、選択すると画面右側に表示される説明を参照してください。

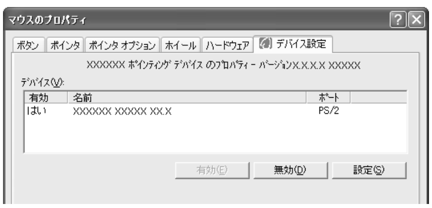
5 ［OK］ボタンをクリックする

［キャンセル］ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

役立つ操作集

タッチパッドを無効／有効にするには

［デバイス設定］タブで［無効］ボタンをクリックすると、タッチパッドからの操作ができなくなります。［有効］ボタンをクリックすると、タッチパッドが使用可能になります。



（表示例）

タッチパッドの無効／有効は、FN＋F9キーでも切り替えることができます。

参照　FN＋F9キーについて《オンラインマニュアル（検索）：［FN］キーを使った特殊機能キー》

③ マウスをもっと使いやすくしよう

マウスのボタンなどの設定もできます。
マウスの基本的な使いかたについては、『スタートガイド』をご覧ください。

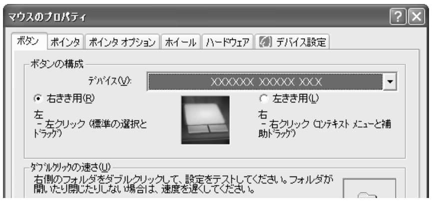
1 この画面で設定する

1 [スタート] → [コントロールパネル] をクリックする

2 [プリンタとその他のハードウェア] をクリックする

3 [マウス] をクリックする

[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。



(表示例)

[ボタン] タブで設定します。

ボタンの構成	マウスの右ボタンと左ボタンの役割を入れ換えます。
ダブルクリックの速さ	スライダーバーを動かして、ダブルクリックするときの速度を調整します。
クリックロック	マウスのボタンを押したままにしなくても、ドラッグできるようにします。

役立つ操作集

ポインタの形や速度を変える

[マウスのプロパティ] では、ポインタの形や速さなどを変えることができます。



[ポインタ] タブでは形を、[ポインタオプション] タブでは速さとポインタを動かしたときの軌跡などを設定できます。

ヘルプの起動方法

1 [マウスのプロパティ] 画面を起動後、画面右上の ? をクリックする

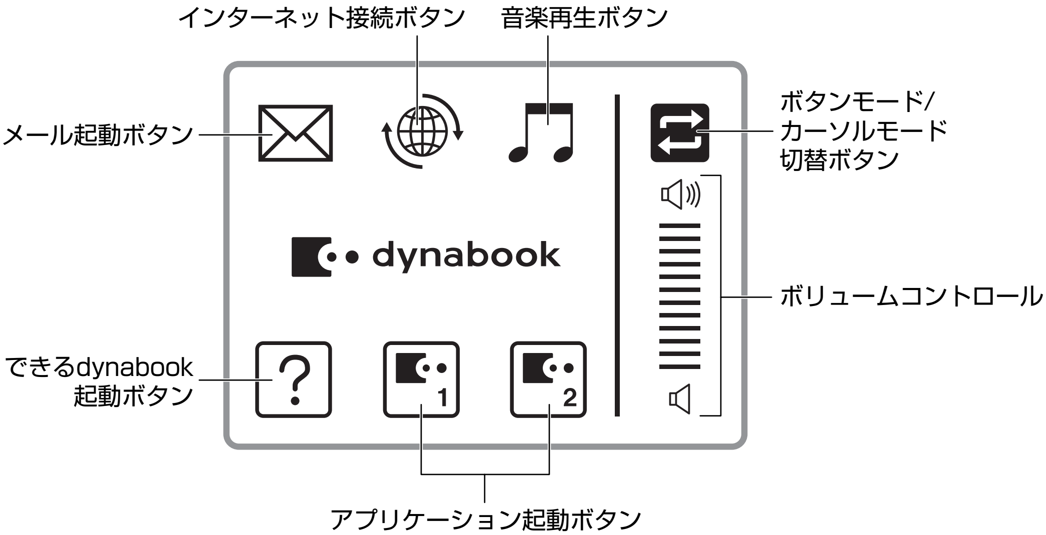
ポインタが に変わります。

2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする

④ 光るタッチパッドを使う

＊ 光るタッチパッド搭載モデルのみ

光るタッチパッドには次のようなアイコンが描かれていて、タッチパッドからさまざまなアプリケーションを簡単に起動することができます。



光るタッチパッドからさまざまなアプリケーションを起動できる状態を、「ボタンモード」と呼びます。それに対して、通常のタッチパッド操作ができる状態を「カーソルモード」と呼びます。
購入時の設定では、ボタンモードにしているとき、通常のタッチパッド操作はできません。

各ボタンの機能は、次のようになっています。

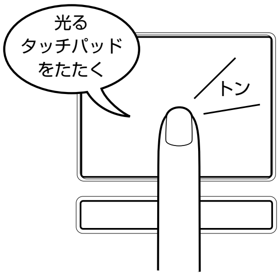
ボタン名	機　能
メール起動ボタン	「Microsoft Office Outlook」を起動します。
インターネット起動ボタン	「Internet Explorer」を起動します。
音楽再生ボタン	「BeatJam」の［Music ライブラリ］パネルが表示され、パソコン内にある音楽ファイルを再生できます。 参照 「BeatJam」の操作 『オーディオ＆ビジュアルガイド』
できる dynabook 起動ボタン	「できる dynabook」を起動します。
アプリケーション起動ボタン	ボタンモードで起動したいアプリケーションを、自由に設定できます。
ボタンモード / カーソルモード切替ボタン	ボタンモードと、通常のタッチパッドとして使用するカーソルモードを切り替えます。
ボリュームコントロール	🔊 マーク側へ指をすべらせると音量が大きくなり、🔈 マーク側へ指をすべらせると音量が小さくなります。

1 ボタンモードに切り替えて操作する

ボタンモードに切り替えるには、次の操作を実行してください。

1 ボタンモード / カーソルモード切替ボタンをタッピングする

【 タッピングとは 】
光るタッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。



光るタッチパッドを軽くたたき、すぐ指を離してください。

タッチパッドに描かれた各ボタンのアイコンが青く点灯し、ボタンモードに切り替わります。
ボタンをタッピングして、アプリケーションを起動してください。カーソルモードに戻ります。

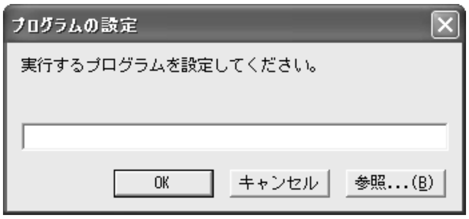
【 ボリュームコントロールをするには 】
ボリュームコントロール（音量調整）をする場合は、タッピングではなく指をすべらせるようにしてください。
音量大（ ）、音量小（ ）それぞれ希望の方向に指を軽くなでるようにすべらせて、離してください。
ボリュームコントロールの場合、操作をしても自動的にカーソルモードには戻りません。カーソルモードに切り替えたい場合は、ボタンモード / カーソルモード切替ボタンをタッピングしてください。

2 アプリケーションボタンに起動したいアプリケーションを割り当てる

アプリケーションボタンには、任意のアプリケーションを自由に割り当てることができます。
次の操作を実行してください。

1 アプリケーションボタンをタッチする

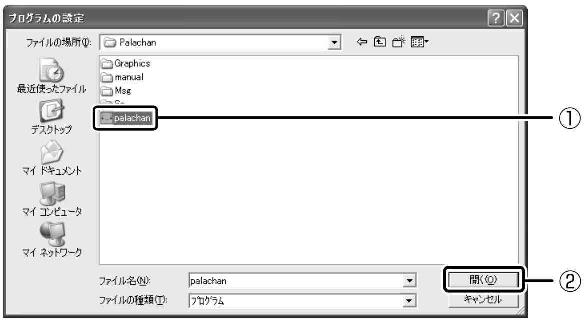
［プログラムの設定］画面が表示されます。



2 ［参照］ボタンをクリックする

［プログラムの設定］画面が表示されます。

3 起動したいアプリケーションを選択し①、［開く］ボタンをクリックする②



4 ［プログラムの設定］画面に起動したいアプリケーション名が表示されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックする



アプリケーションがボタンに設定されます。
タッピングして、起動できることを確認してください。

3 ボタンに割り当てたアプリケーションを変更する

アプリケーションボタンに割り当てたアプリケーションは、変更することができます。また、購入時にすでにアプリケーションが割り当てられている他のボタンも、違うアプリケーションや動作に変更することができます。
次の操作を実行してください。

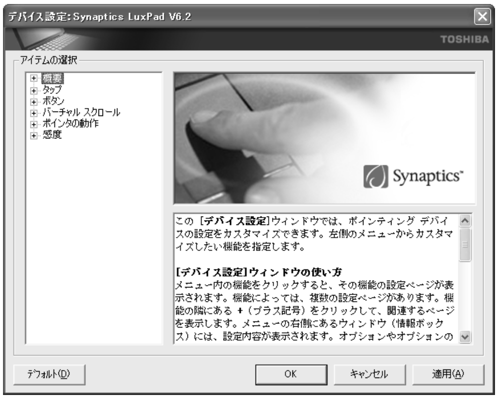
1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

3 ［ マウス］をクリックする

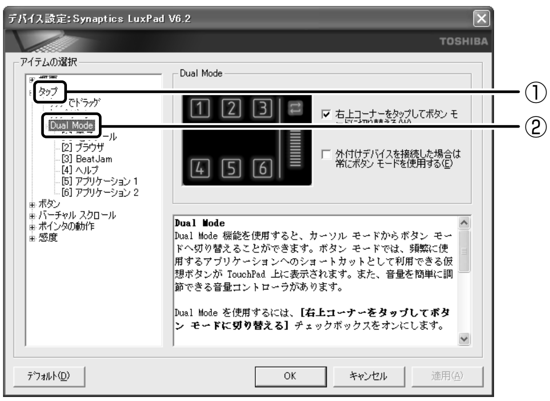
4 ［デバイス設定］タブで、［設定］ボタンをクリックする

［デバイス設定］画面が表示されます。

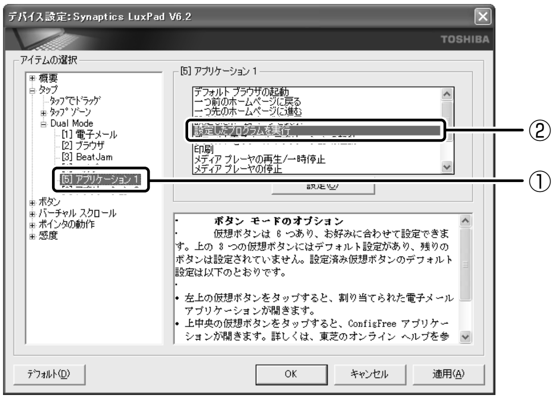


5 画面左の［タップ］をダブルクリックし①、表示されたメニューの［Dual Mode］をダブルクリックする②

各ボタンの一覧が表示されます。



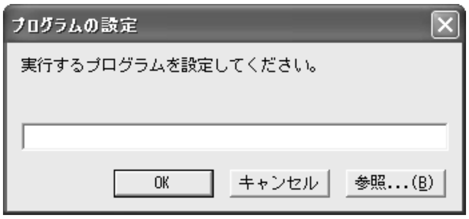
6 変更したいボタンをクリックし①、画面右側で割り当てたい項目を選択する②



アプリケーションを割り当てたい場合は、[設定したプログラムを実行] を選択してください。
その他の項目を選択した場合は、手順11に進んでください。

7 [設定] ボタンをクリックする

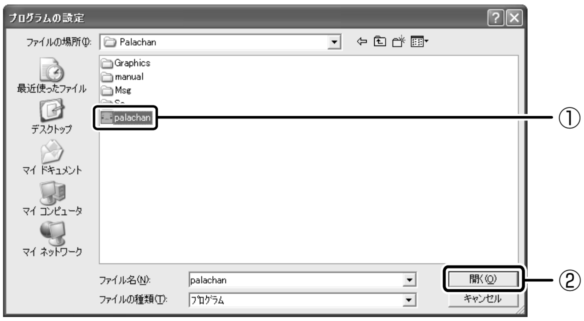
[プログラムの設定] 画面が表示されます。



8 [参照] ボタンをクリックする

[プログラムの設定] 画面が表示されます。

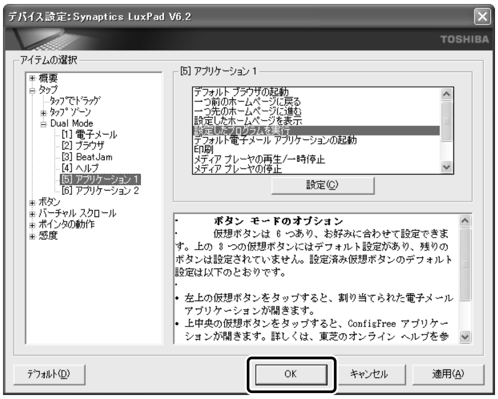
9 起動したいアプリケーションを選択し①、[開く] ボタンをクリックする②



10 [プログラムの設定] 画面に起動したいアプリケーション名が表示されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする



11 **［OK］ボタンをクリックする**



ボタンに割り当てられているアプリケーションや動作が変更されます。
タッピングして起動できることを確認してください。

4 マウスを接続して使う

購入時の状態では、ボタンモードを起動してもタッピングしてアプリケーションなどを起動すると、カーソルモードに戻るように設定されています。
次の設定をすると、マウスを接続している間は常時ボタンモードにしておくことができます。

1 **［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする**

2 **［ プリンタとその他のハードウェア］をクリックする**

3 **［ マウス］をクリックする**

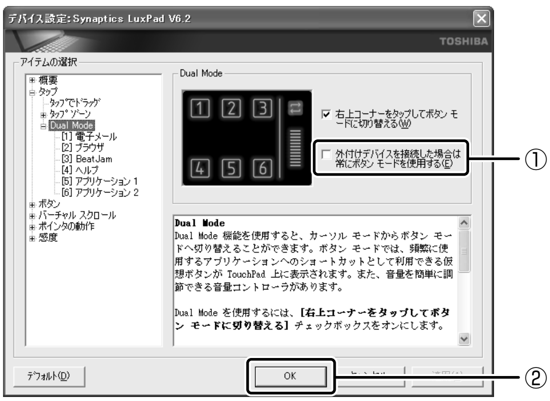
4 **［デバイス設定］タブで、［設定］ボタンをクリックする**

［デバイス設定］画面が表示されます。

5 **画面左の［タップ］をダブルクリックし、表示されたメニューの［Dual Mode］をダブルクリックする**

［Dual Mode］画面が表示されます。

6 **［外付けデバイスを接続した場合は常にボタンモードを使用する］をチェックして①、［OK］ボタンをクリックする②**



マウスを接続すると、光るタッチパッドが青く点灯し、自動的にボタンモードになります。マウスを接続している間はずっと、ボタンモードのまま使用できます。
マウスを取りはずすと、自動的にカーソルモードに戻ります。

役立つ操作集

ボタンモードへの切り替えを制限する

カーソルモードで使い続けたいとき、誤ってボタンモードを起動してしまわないようにできます。
［Dual Mode］画面で［右上コーナーをタップしてボタンモードに切り替える］のチェックをはずすと、［ボタンモード/カーソルモード切替ボタン］をタッピングしても、ボタンモードには切り替わりません。

メモ　PadTouch 機能を使う

- dynabook AX/7 シリーズには、「PadTouch（パッドタッチ）」が搭載されています。「PadTouch」は、タッチパッドの操作により、画面に表示された「テーブル」を使ってさまざまな機能を簡単に実行できるアプリケーションです。次のようなときに使用すると便利です。
  ・ウィンドウでデスクトップが隠れているときに、デスクトップ上のファイルを開きたい
  ・「Internet Explorer」の［お気に入り］に登録されているホームページを開きたい
  ・現在実行中のウィンドウの一覧を表示して、アクティブなウィンドウを切り替えたい

  詳しい操作方法については、《オンラインマニュアル（検索）：アプリケーションを簡単に起動したい》を参照してください。

3 CD や DVD を使う

－ ドライブ －

本製品には、DVD スーパーマルチドライブが 1 台内蔵されています。
ドライブには次のマークが入っています。

＊ マークの位置や並び順は異なる場合があります。

DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R＊1、DVD+RW、DVD+R＊2、CD-RW、CD-R の読み出し／書き込み機能を搭載したドライブです。

＊1 本書では、「DVD-R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD-R DL（Dual Layer DVD-R）を含みます。
＊2 本書では、「DVD+R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD+R DL（DVD+R Double Layer）を含みます。

『安心してお使いいただくために』に、CD ／ DVD を使用するときに守ってほしいことが記述されています。
CD ／ DVD を使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。

お願い DVD-Video の再生にあたって

- DVD-Video 再生時は、なるべく AC アダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリ駆動で再生する場合は「東芝省電力」で「DVD 再生」プロファイルに設定してください。
- 使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
- Region（リージョン）コードは 4 回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、DVD-Video の再生は Region コード「2」、「ALL」のものをご使用ください。

CD ／ DVD のセットと取り出し方法は、『スタートガイド』をご覧ください。

① 使えるメディアを確認しよう

使用するメディアによっては、読み出しができない場合があります。

○：使用できる　×：使用できない

	読み出し	書き込み回数
CD-R	○	1 回
CD-RW	○	繰り返し書き換え可能＊1
DVD-R	○＊2	1 回
DVD-RW	○	繰り返し書き換え可能＊1
DVD+R	○＊2	1 回
DVD+RW	○	繰り返し書き換え可能＊1
DVD-RAM	○	繰り返し書き換え可能＊1

＊1 実際に書き換えできる回数は、メディアの状態や書き込み方法により異なります。
＊2 メディアの状態や書き込み方法により、読み出しできない場合があります。また追記したデータは読み出しできません。

メモ　書き込みできるアプリケーション

- 書き込みに使用できる、本製品に添付のアプリケーションは次のとおりです。

・RecordNow!（レコードナウ）

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド』
《オンラインマニュアル（検索）：CD/DVDを作りたい》

・DLA（ディーエルエー）

参照 『オーディオ＆ビジュアルガイド』
《オンラインマニュアル（検索）：データをCD/DVDにコピーしたい》

- メディアにデータを書き込むとき、メディアの状態やデータの内容、またはパソコンの使用環境によって、実行速度は異なります。

② 使えるCDを確認しよう

【 読み出しできるCD 】

対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。

- 音楽用CD
  8cmまたは12cmの音楽用CDが聴けます。
- フォトCD
  普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録したものです。
- CD-ROM
  使用するシステムに適合するISO 9660フォーマットのものが使用できます。
- CDエクストラ
  記録領域は音楽データ用とパソコンのデータ用に分けられています。それぞれの再生装置で再生できます。
- CD-R
- CD-RW

【 書き込みできるCD 】

- CD-R
  書き込みは1回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
- CD-RW

書き込み速度は、使用するメディアによって異なります。

CD-Rメディア：最大24倍速

最大の倍速で書き込むためには書き込み速度に対応したCD-Rメディアを使用してください。

マルチスピードCD-RWメディア　：　最大４倍速
High-Speed CD-RWメディア　：　最大10倍速
Ultra Speed CD-RWメディア　：　最大16倍速（TX/7シリーズ）、最大10倍速（AX/7シリーズ）

Ultra Speed+CD-RWメディアは使用できません。使用した場合、データは保証できません。

お願い　CD-RW、CD-Rについて

- CD-RW、CD-Rに書き込む際には、次のメーカのメディアを使用することを推奨します。

  CD-RW（マルチスピード、High-Speed）
  　：三菱化学メディア（株）、（株）リコー
  CD-RW（Ultra-Speed）
  　：三菱化学メディア（株）
  CD-R：太陽誘電（株）、三菱化学メディア（株）、（株）リコー

  これらのメーカ以外のメディアを使用すると、うまく書き込みができない場合があります。
- CD-Rに書き込んだデータの消去はできません。
- CD-RWメディアは書き換え可能なメディアですが、「RecordNow!」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。ファイルの変更・削除が必要な場合は、まずCD-RWメディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
  「DLA」でCD-RWメディアに書き込んだファイルは、変更・削除することができます。

- CD-RW の消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

参照　エラーチェックの方法 「6 章 4 Q&A 集 その他 -Q セーフモードで起動した」

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。データなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。

③ 使える DVD を確認しよう

お願い　DVD の書き込み速度

- 本製品のドライブでは、次のメディアを使用できます。

  ■ TX/7 シリーズの場合
  ・書き込み 8 倍速までの DVD-R ／ DVD+R メディア
  ・書き込み 4 倍速までの DVD-R DL、DVD+R DL メディア
  ・書き換え 6 倍速までの DVD-RW メディア
  ・書き換え 8 倍速までの DVD+RW メディア
  ・書き換え 5 倍速までの DVD-RAM メディア

  ■ AX/7 シリーズの場合
  ・書き込み 8 倍速までの DVD-R ／ DVD+R メディア
  ・書き込み 2 倍速までの DVD-R DL メディア
  ・書き込み 2.4 倍速までの DVD+R DL メディア
  ・書き換え 4 倍速までの DVD-RW ／ DVD+RW メディア
  ・書き換え 5 倍速までの DVD-RAM メディア

  これらより速い書き込み倍速に対応したメディアを使用することはできません。

【 読み出しできる DVD 】
対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。

- DVD-ROM
- DVD-Video
  （映像再生用です。映画などが収録されています。）
- DVD-R、DVD-R DL
- DVD+R、DVD+R DL
- DVD-RW
- DVD+RW
- DVD-RAM（2.6GB、5.2GB の DVD-RAM は除きます。）

【 書き込みできる DVD 】

- DVD-R
  書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。DVD-R は、DVD-R for General Ver2.0 規格に準拠したメディアを使用してください。
- DVD-R DL
  DVD-R DL は、DVD-R の記録層を 2 つにして、片面に 2 層分の記録が可能な規格のことです。
  既存の 1 層の DVD-R メディアの記録容量 4.7GB の約 1.8 倍となる、8.5GB 分の記録容量を実現します。例えば、MPEG2 の 5Mbps の映像データで、1 層の DVD-R メディアの時が約 2 時間分なら DVD-R DL は約 3.6 時間分の記録が可能になります。
  ただし、Format1 対応のため追記ができません。1 層の DVD-R メディアに収まる容量のデータを保存する場合は、追記できる 1 層の DVD-R を使用することをおすすめします。
- DVD-RW
  DVD-RW は、DVD-RW Ver1.1 または Ver1.2 規格に準拠したメディアを使用してください。

- DVD+R
- DVD+R DL
  DVD+R DLとは、DVD+Rの記録層を2つにして、片面に2層分の記録が可能な規格のことです。
  既存の1層のDVD+Rメディアの記録容量4.7GBの約1.8倍となる、8.5GB分の記録容量を実現します。例えば、MPEG2の5Mbpsの映像データで、1層のDVD+Rメディアの時が約2時間分ならDVD+R DLは約3.6時間分の記録が可能になります。
- DVD+RW
- DVD-RAM（2.6GB、5.2GBのDVD-RAMは除きます。）
  DVD-RAMは、DVD-RAM Ver2.0、Ver2.1、Ver2.2規格に準拠したメディアを使用してください。

【DVD-RAMの種類】
DVD-RAMにはいくつかの種類があります。本製品のドライブで使用できるDVD-RAMは次のとおりです。
カートリッジタイプのメディアは、カートリッジから取り出してドライブにセットしてください。両面ディスクで、読み出し／書き込みする面を変更するときは、一度ドライブからメディアを取り出し、裏返してセットし直してください。

○：使用できる　×：使用できない

DVD-RAMの種類	本製品の対応
カートリッジなし*1	○
カートリッジタイプ（取り出し不可）	×
カートリッジタイプ（取り出し可能）*2	○

＊1　一部の家庭用DVDビデオレコーダでは再生できない場合があります。
＊2　2.6GB、5.2GBのディスクは使用できません。

新品のDVD-RAMは、使用する目的にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。
フォーマットとは、DVD-RAMにデータの管理情報（ファイルシステム）を記録し、DVD-RAMを使えるようにすることです。
フォーマットされていないDVD-RAMは、フォーマットしてから使用してください。
DVD-RAMのフォーマットについては、《オンラインマニュアル（検索):DVD-RAMをフォーマットする》を確認してください。

お願い　DVDについて

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込む際には、次のメーカのメディアを使用することを推奨します。
  DVD-RAM　：松下電器産業（株）、日立マクセル（株）
  DVD-RW　：日本ビクター（株）、三菱化学メディア（株）
  DVD-R　：松下電器産業（株）、太陽誘電（株）、日立マクセル（株）
  DVD-R DL：三菱化学メディア（株）
  DVD+RW　：三菱化学メディア（株）、（株）リコー
  DVD+R　：三菱化学メディア（株）、（株）リコー
  DVD+R DL：三菱化学メディア（株）
  これらのメーカ以外のメディアを使用すると、うまく書き込みができない場合があります。
- DVD-R、DVD+Rに書き込んだデータの消去はできません。
- DVD-RW、DVD+RWメディアは書き換え可能なメディアですが、「RecordNow!」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。ファイルの変更・削除が必要な場合は、まずDVD-RW、DVD+RWメディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
  「DLA」でDVD-RW、DVD+RWメディアに書き込んだファイルは、変更・削除することができます。
- DVD-RW、DVD+RWの消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されているときには、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rへの書き込みでは、ファイルの管理領域なども必要になるため、メディアに記載された容量分のデータを書き込めない場合があります。
- DVD-RW、DVD-Rへの書き込みでは、DVDの規格に準拠するため、書き込むデータのサイズが約1GBに満たない場合にはダミーのデータを加えて、最小1GBのデータに編集して書き込みます。このため、実際に書き込もうとしたデータが少ないにもかかわらず、書き込み完了までに時間がかかることがあります。

- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

参照 エラーチェックの方法 「6 章 4 Q&A 集 その他 -Q セーフモードで起動した」

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。データなどを書き込むときは、メディアの状態をよくご確認ください。
- DVD-RAM をドライブにセットしたとき、システムが DVD-RAM を認識するまでに多少時間がかかります。

メモ

- 市販の DVD-R には業務用メディア（for Authoring）と一般用メディア（for General）があります。業務用メディアはパソコンのドライブでは書き込みすることができません。
  一般用メディア（for General）を使用してください。
- 市販の DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R には「for Data」と「for Video」の 2 種類があります。映像を保存する場合や家庭用 DVD ビデオレコーダとの互換性を重視する場合は「for Video」を使用してください。
- 作成した DVD は、一部の家庭用 DVD ビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成した DVD+R DL メディア、DVD-R DL メディアを再生するときは、それぞれのメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。

④ CD ／ DVD を使うとき

CD ／ DVD は、パソコン本体に装備されているドライブにセットして使用します。

お願い 操作にあたって

- ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。ドライブの故障の原因になります。
- ディスクトレイ LED が点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD ／ DVD を取り出す操作をしないでください。CD ／ DVD が傷ついたり、ドライブが壊れるおそれがあります。
- 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中の CD ／ DVD のデータやドライブが壊れるおそれがあります。

参照 イジェクトホールについて
「6 章 4 Q&A 集 CD ／ DVD-Q パソコン本体の電源が入らないため、CD ／ DVD が取り出せない」

- ドライブのトレイを開けたときに、CD ／ DVD が回転している場合には、停止するまで CD ／ DVD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。
- パソコン本体を持ち運ぶときは、ドライブに CD ／ DVD が入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。
- CD ／ DVD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CD ／ DVD を正しくディスクトレイにセットしないと CD ／ DVD を傷つけることがあります。

メモ セットする前に確認しよう

- 傷ついたり汚れのひどい CD ／ DVD の場合は、挿入してから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れをふきとってから再生してください。
- CD ／ DVD の特性や CD ／ DVD への書き込み時の特性によって、読み出せない場合もあります。

参照 CD ／ DVD のセットと取り出し方法 『スタートガイド』

4 画面を見やすく調整する

－ ディスプレイ －

本製品は表示装置として TFT カラー液晶ディスプレイ（1280 × 800 ドット）を内蔵しています。ドットは画素数を表します。
テレビや外部ディスプレイを接続して使用することもできます。

参照 テレビの接続について 「3 章 5 パソコンの画面をテレビに映す」

参照 外部ディスプレイの接続について 「3 章 6 パソコンの画面を外部ディスプレイに映す」

表示について

TFT カラー液晶ディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られております。非点灯、常時点灯などの画素（ドット）が存在することがあります（有効ドット数の割合は 99.99%以上です）。有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」です。また、見る角度や温度変化によって色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

① 画面の明るさを調整する

本体液晶ディスプレイの明るさ（輝度）を調整します。輝度は「1 ～ 8」の 8 段階で設定ができます。初期状態では、「8」（最高輝度）に設定されています。明るさを変えたい場合は、次の方法でお好みの明るさに調整してください。

【 輝度の調整方法 】

(FN)+(F6) ： (FN)キーを押したまま、(F6)キーを押すたびに本体液晶ディスプレイの輝度が 1 段階ずつ下がります。
表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。

(FN)+(F7) ： (FN)キーを押したまま、(F7)キーを押すたびに本体液晶ディスプレイの輝度が 1 段階ずつ上がります。
表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。

5 いろいろなメディアカードを使う

－ ブリッジメディアスロット －　＊ ブリッジメディア搭載モデルのみ

本製品では次のメディアをブリッジメディアスロットに差し込んで、データの読み出しや書き込みができます。

- SD メモリカード
- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- xD- ピクチャーカード
- マルチメディアカード

① SD メモリカードを使う前に

お願い　SD メモリカードの使用にあたって

- 本製品は、2GB までの SD メモリカードを使用できます。
- すべての SD メモリカードの動作確認は行っていません。したがって、すべての SD メモリカードの動作保証はできません。
- SD メモリカードは、SDMI の取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。そのため、他のパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。SDMI とは Secure Digital Music Initiative の略で、デジタル音楽データの著作権を守るための技術仕様を決めるための団体のことです。
- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- SD メモリカードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐ SDMI に準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、使用できるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。

新品の SD メモリカードは、SD メモリカードの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。
フォーマットとは、SD メモリカードにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、SD メモリカードを使えるようにすることです。
再フォーマットをする場合は、「東芝 SD メモリカードフォーマット」または SD メモリカードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤなど）で行ってください。
「東芝 SD メモリカードフォーマット」については、《オンラインマニュアル（検索）: SD メモリカードをフォーマットする》をご覧ください。

② メモリースティックを使う前に

本製品のブリッジメディアスロットでは、Memory Stick Specification V1.3 準拠のメモリースティックを取り付けて使用できます。
使用できるメモリースティックの種類は次のとおりです。

- メモリースティック
- メモリースティック PRO

お願い　メモリースティックの使用にあたって

- 本製品は、次の容量までのメモリースティックを使用できます。
  ・メモリースティック　　　：256MB まで
  ・メモリースティック PRO ：2GB まで
- 本製品は、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo とメモリースティックアダプタには対応していません。
- 本製品は、著作権保護技術 MagicGate には対応していません。本製品では、著作権保護を必要としないデータの読み出し／書き込みのみできます。
- すべてのメモリースティックの動作確認は行っていません。したがって、すべてのメモリースティックの動作は保証できません。
- メモリースティックの詳しい使いかたなどについては『メモリースティックに付属の説明書』を確認してください。

新品のメモリースティックは、メモリースティックの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。
フォーマットとは、メモリースティックにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、メモリースティックを使えるようにすることです。
再フォーマットをする場合は、メモリースティックを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤなど）で行ってください。
メモリースティックを使用する機器でのフォーマット方法については、『使用する機器に付属の説明書またはヘルプ』を確認してください。

③ xD- ピクチャーカードを使う前に

本製品のブリッジメディアスロットでは、xD- ピクチャーカードを取り付けて使用できます。

お願い　xD- ピクチャーカードの使用にあたって

- 本製品は、1GB までの xD- ピクチャーカードを使用できます。
- すべての xD- ピクチャーカードの動作確認は行っていません。したがって、すべての xD- ピクチャーカードの動作は保証できません。
- xD- ピクチャーカードの詳しい使いかたなどについては『xD- ピクチャーカードに付属の説明書』を確認してください。

新品の xD- ピクチャーカードは、xD- ピクチャーカードの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。
フォーマットとは、xD- ピクチャーカードにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、xD- ピクチャーカードを使えるようにすることです。
再フォーマットをする場合は、xD- ピクチャーカードを使用する機器（デジタルカメラなど）で行ってください。
xD- ピクチャーカードを使用する機器でのフォーマット方法については、『使用する機器に付属の説明書またはヘルプ』を確認してください。

④ マルチメディアカードを使う前に

本製品のブリッジメディアスロットでは、マルチメディアカードを取り付けて使用できます。

お願い マルチメディアカードの使用にあたって

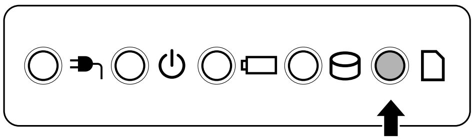
- 本製品は、1GB までのマルチメディアカードを使用できます。
- 本製品は、著作権保護機能付きのマルチメディアカードである SecureMMC には対応していません。
- すべてのマルチメディアカードの動作確認は行っていません。したがって、すべてのマルチメディアカードの動作は保証できません。
- マルチメディアカードの詳しい使いかたなどについては『マルチメディアカードに付属の説明書』を確認してください。

新品のマルチメディアカードは、マルチメディアカードの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。
フォーマットとは、マルチメディアカードにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、マルチメディアカードを使えるようにすることです。
再フォーマットをする場合は、マルチメディアカードを使用する機器（デジタルカメラなど）で行ってください。
マルチメディアカードを使用する機器でのフォーマット方法については、『使用する機器に付属の説明書またはヘルプ』を確認してください。

⑤ メディアのセットと取り出し

ブリッジメディアスロットに関する表示

パソコン本体に電源が入っている場合、ブリッジメディアスロットに挿入したメディアとデータをやり取りしているときは、ブリッジメディア LED が点灯します。



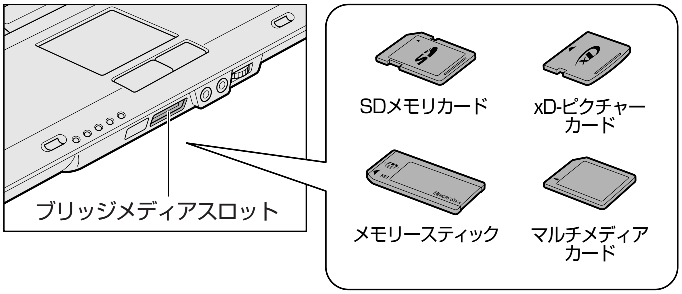
お願い 操作にあたって

- ブリッジメディア LED が点灯中は、電源を切ったり、メディアを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データやメディアが壊れるおそれがあります。
- メディアは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく挿し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、メディアが壊れるおそれがあります。
- スタンバイ中は、メディアを取り出さないでください。データが消失するおそれがあります。
- メディアのコネクタ部分（金色の部分）には触れないでください。静電気で壊れるおそれがあります。
- メディアを取り出す場合は、必ず使用停止の手順を行ってください。データが消失したり、メディアが壊れるおそれがあります。

1 セットする

1 メディアの表裏を確認し、表を上にして、ブリッジメディアスロットに挿入する

奥まで挿入します。



2 取り出す

1 メディアの使用を停止する

① 通知領域の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（  ）をクリックする



② 表示されたメニューから［XXXX（取りはずすメディア）- ドライブを安全に取り外します］をクリックする
XXXX 部分は、メディアの種類によって異なります。

SD メモリカード	: Secure Digital Storage Device
メモリースティック	: MemoryStick0 Device
メモリースティック PRO	: MemoryStickPro0 Device
xD- ピクチャーカード	: XD0 Device
マルチメディアカード	: MMC1 Device

③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、［閉じる］ボタン（  ）をクリックする

メディアに保存しているファイルなどを開いていると、取りはずしができません。ファイルを閉じてから、操作をやり直してください。

2 メディアを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

3 セットしたメディアの内容を見る

著作権保護*1 を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

＊1 SD メモリカード、メモリースティックの場合

1 ［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする

［マイコンピュータ］画面が表示されます。

2 メディアのアイコンをダブルクリックする

SD メモリカード	: SD 記憶装置デバイス
メモリースティック	: Memory Stick
メモリースティック PRO	: MemoryStick PRO Card
xD- ピクチャーカード	: XD Picture Card
マルチメディアカード	: MMC Card

セットしたメディアの内容が表示されます。

2章

ネットワークの世界へ

本製品に内蔵されている通信に関する機能を説明しています。
ブロードバンドでインターネットに接続する方法や、他のパソコンと通信する方法、海外でインターネットに接続するときについて紹介します。

1 インターネットへ接続する

インターネットにパソコンをつなぐと、ホームページを閲覧したり、オンラインショッピングやメールのやりとりができるようになります。
インターネットへの接続は ADSL や光ファイバーなどを使った高速の「ブロードバンド接続」と一般の電話回線を使った低速の「ダイヤルアップ接続」などがあります。
接続に必要なネットワーク機器や設定はプロバイダによって異なります。詳しくは契約しているプロバイダに問い合わせてください。
インターネットへ接続するには、次の操作を行ってください。

LAN ケーブルまたはモジュラーケーブルを接続する

・LAN ケーブルの接続

参照 「本節 ① ブロードバンドで接続する」

・モジュラーケーブルの接続

参照 「本節 ② ダイヤルアップで接続する」

▼

インターネットとメールの設定をする

・インターネットの設定

参照 《できる dynabook 第３章 dynabook をインターネットにつなごう》

・メールの設定

参照 《できる dynabook 第４章 メールを使ってみよう》

パソコンをインターネットに接続する前に、コンピュータウイルスへの対策を行ってください。
コンピュータウイルスとは、パソコンにトラブルを発生させるプログラムのことで、ハードディスクやデータの一部を破壊するものもあります。
本製品には、次のウイルスチェックソフトが用意されています。

TX/7 シリーズの場合 ：「マカフィー・ウイルススキャン（McAfee VirusScan）／
マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス（McAfee Personal Firewall Plus）」
AX/7 シリーズの場合 ：「ウイルスバスター」

『セットアップガイド ３章』をお読みになり、必ずウイルスチェックソフトの設定を行い、定期的にウイルスチェックを行ってください。設定したソフトは常に最新のバージョンに更新するようにしてください。

参照 コンピュータウイルスについて 『セットアップガイド ３章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには』

① ブロードバンドで接続する

本製品には、ブロードバンド接続などに使用するLAN（ラン）機能が内蔵されています。
本製品のLANコネクタとADSLモデムやケーブルモデムなどをLANケーブルで接続し、ブロードバンドでインターネットに接続することができます。
また、本製品のLAN機能は、Fast Ethernet（ファスト イーサネット）(100BASE-TX)、Ethernet（イーサネット）(10BASE-T）に対応しています。LANコネクタにLANケーブルを接続し、ネットワークに接続することができます。LANコネクタにLANケーブルを接続すると、Fast Ethernet／Ethernetを自動的に検出して切り替えます。

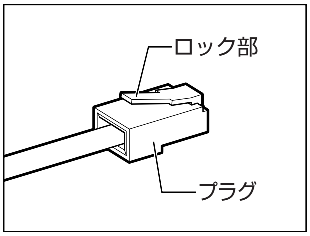
2章 ネットワークの世界へ

1 LANケーブルを接続する

お願い LANケーブルの使用にあたって

- LANケーブルは市販のものを使用してください。モジュラーケーブルは、アナログ電話回線専用です。LANコネクタには接続できません。
- LANケーブルをパソコン本体のLANコネクタに接続した状態で、LANケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。LANコネクタが破損するおそれがあります。

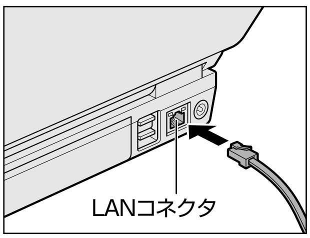
LANインタフェースを100BASE-TX規格（100Mbps）で使用するときは、必ずカテゴリ5（CAT5）以上のケーブルおよびコネクタを使用してください。
10BASE-T規格（10Mbps）で使用するときは、カテゴリ3（CAT3）以上のケーブルが使用できます。
カテゴリとは、ネットワークで使用されるケーブルの種類を分類したもので、大きい数字ほど性能が高くなります。



LANケーブルをはずしたり差し込むときは、プラグの部分を持って行ってください。
また、はずすときは、プラグのロック部を押しながらはずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。

1 **パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る**

2 **LANケーブルのプラグをパソコン本体のLANコネクタに差し込む**



ロック部を上にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
LANケーブルとモジュラーケーブルのプラグは形状が非常に似ていますが、プラグの部分の大きさは、LANケーブルのほうが大きいです。ケーブルを接続するときは、LANコネクタとプラグの大きさをよくご確認のうえ、接続してください。

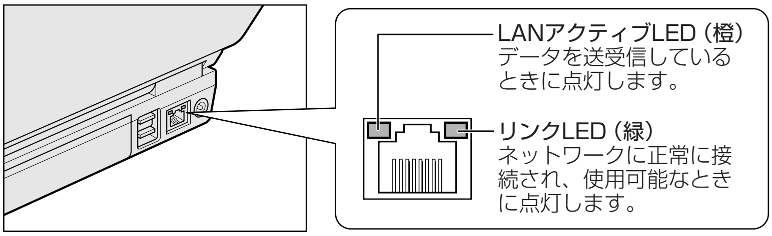
3 **LANケーブルのもう一方のプラグを接続先のネットワーク機器のコネクタに差し込む**

接続する機器の名称や以降の設定はプロバイダによって異なります。詳しくは契約しているプロバイダに問い合わせてください。

動作状態を確認するには

＊ TX/7 シリーズのみ

LAN コネクタの両脇には、LAN インタフェースの動作状態を示す 2 つの LED があります。



2 ADSL接続を設定する方法

ここでは、すでに契約しているプロバイダに ADSL 接続するための一般的な方法について説明します。
接続に必要な設定はプロバイダによって異なります。詳しくは契約しているプロバイダに問い合わせてください。
プロバイダから、接続に必要な CD-ROM などが支給されている場合は、そちらをご利用ください。
設定は「コンピュータの管理者アカウント」で行ってください。「制限付きアカウント」では作成できません。

1 **［スタート］→［コントロールパネル］をクリックし、［ ネットワークとインターネット接続］をクリックする**

2 **［ ネットワーク接続］をクリックする**

3 **画面左側の［ネットワークタスク］で［新しい接続を作成する］をクリックする**

［新しい接続ウィザードの開始］画面が表示されます。

4 **［次へ］ボタンをクリックする**

［ネットワーク接続の種類］画面が表示されます。

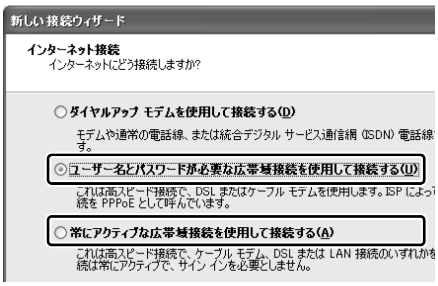
5 **［インターネットに接続する］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

［準備］画面が表示されます。

6 **［接続を手動でセットアップする］ をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

［インターネット接続］画面が表示されます。

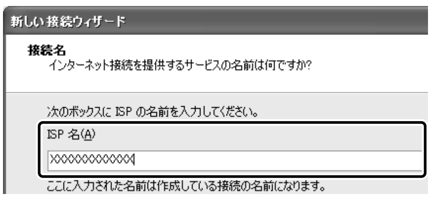
7 **ご契約のタイプにあわせて項目を選択し、［次へ］ボタンをクリックする**



- インターネット接続にユーザー名やパスワードの入力が必要な場合：（例:フレッツ ADSL など）
  ［ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する］をチェックしてください。
- インターネット接続にユーザー名やパスワードの入力が不要の場合：（例:Yahoo! BB など）
  ［常にアクティブな広帯域接続を使用して接続する］をチェックしてください。こちらを選択した場合、以降は表示される画面の指示に従ってください。

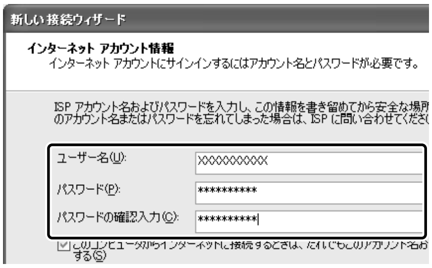
［接続名］画面が表示されます。

8 **［ISP名］に任意の名前を入力し、［次へ］ボタンをクリックする**



［インターネットアカウント情報］画面が表示されます。

9 **［ユーザー名］にプロバイダのアカウント名、［パスワード］と［パスワードの確認入力］にパスワードを入力し、［次へ］ボタンをクリックする**



アカウント名、パスワードなどについては契約しているプロバイダに問い合わせください。
ここでパスワードの入力を行わなかった場合、インターネット接続時にパスワードの入力が必要になります。

［新しい接続ウィザードの完了］画面が表示されます。

10 **［完了］ボタンをクリックする**

［XXXXX へ接続］画面が表示されます。
インターネットへ接続する場合は［接続］ボタンをクリックし、接続しない場合は画面を閉じてください。

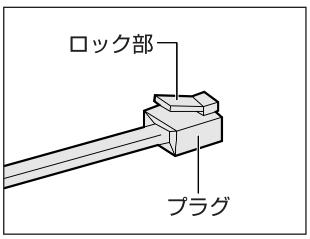
② ダイヤルアップで接続する

本製品の内蔵モデムを使って、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続することができます。内蔵モデムを使用する場合、モジュラーケーブルを2線式の電話回線に接続します。内蔵モデムは、ITU-T V.90 に準拠しています。通信先のプロバイダがV.90 以外の場合は、最大 33.6Kbps で接続されます。

お願い 内蔵モデムの使用にあたって

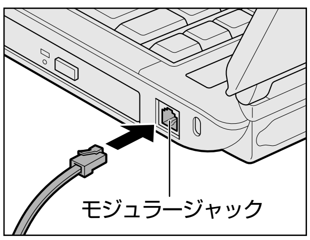
- モジュラーケーブルは市販のものを使用してください。
- モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。
- 市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- 回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。

1 モジュラーケーブルを接続する



モジュラーケーブルをはずしたり差し込むときは、モジュラープラグの部分を持って行ってください。また、はずすときは、ジャックプラグのロック部を押しながらはずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。

1 **モジュラーケーブルのプラグの一方をパソコン本体のモジュラージャックに差し込む**



ロック部を上にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
LAN ケーブルとモジュラーケーブルのプラグは形状が非常に似ていますが、プラグの部分の大きさは、モジュラーケーブルのほうが小さいです。ケーブルを接続するときは、プラグとモジュラージャックの大きさをよくご確認のうえ、接続してください。

2 **もう一方のモジュラーケーブルのプラグを電話機用モジュラージャックに差し込む**

2 ダイヤルアップ接続を設定する方法

ここでは、すでに契約しているプロバイダにダイヤルアップ接続するための方法について説明します。
設定は「コンピュータの管理者アカウント」で行ってください。「制限付きアカウント」では作成できません。
設定に必要なアカウント名、パスワード、アクセスポイントの電話番号などについては、契約しているプロバイダに問い合わせてください。

1 **[スタート] → [コントロールパネル] をクリックし、[ネットワークとインターネット接続] をクリックする**

2 **[ネットワーク接続] をクリックする**

3 **画面左側の [ネットワークタスク] で [新しい接続を作成する] をクリックする**

[新しい接続ウィザードの開始] 画面が表示されます。

4 **[次へ] ボタンをクリックする**

[ネットワーク接続の種類] 画面が表示されます。

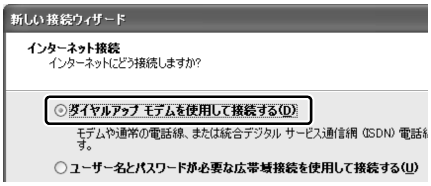
5 **[インターネットに接続する] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする**

[準備] 画面が表示されます。

6 **[接続を手動でセットアップする] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする**

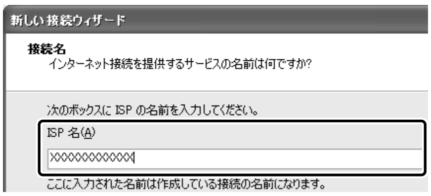
[インターネット接続] 画面が表示されます。

7 **[ダイヤルアップモデムを使用して接続する] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする**



[接続名] 画面が表示されます。

8 **[ISP 名] へ任意の名前を入力し、[次へ] ボタンをクリックする**



[ダイヤルする電話番号] 画面が表示されます。

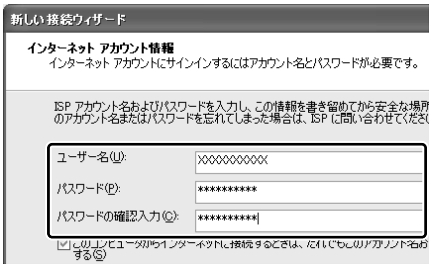
9 **[電話番号] にプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ] ボタンをクリックする**



電話番号などについては、契約しているプロバイダに問い合わせてください。

[インターネットアカウント情報] 画面が表示されます。

10 ［ユーザー名］にプロバイダのアカウント名、［パスワード］と［パスワードの確認入力］にパスワードを入力し、［次へ］ボタンをクリックする



アカウント名、パスワードなどについては契約しているプロバイダに問い合わせください。
ここでパスワードの入力を行わなかった場合、インターネット接続時にパスワードの入力が必要になります。

［新しい接続ウィザードの完了］画面が表示されます。

11 ［完了］ボタンをクリックする

［XXXXX へ接続］画面が表示されます。
インターネットへ接続する場合は［ダイヤル］ボタンをクリックし、接続しない場合は画面を閉じてください。

3 海外でインターネットに接続するときには

本製品の内蔵モデムで使用できる国／地域については、「付録 1 技術基準適合について」を参照してください。

海外でモデムを使用する場合、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」による地域設定を行います。設定方法については、《オンラインマニュアル（検索）：海外でインターネットに接続したい》をご覧ください。
本製品を日本で使用する場合は、必ず日本モードで使用してください。他地域のモードで使用すると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

地域設定は、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」でのみ行ってください。
「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」以外で地域設定の変更をした場合、正しく変更できない場合があります。

2 家庭内ネットワークで広がる世界

家族がそれぞれ別のパソコンでインターネットやプリンタを使いたいときは、ネットワークを使うと便利です。

① LAN接続はこんなに便利

家族がそれぞれ自分専用のパソコンを持っていて、家庭内に複数のパソコンがあったり、ひとりで複数のパソコンを持っている場合には、LAN（Local Area Network）を使うと便利です。
パソコン同士をつないでLANを構築すれば、USBフラッシュメモリなどのメディアを介さずにパソコン同士で直接データのやりとりができたり、インターネットやプリンタ、スキャナーなどの周辺機器を複数のパソコンで共有して、同時に使うことができます。
LAN機能にはケーブルを使った有線LANと、ケーブルを使わない無線LANがあります。
有線LANの機能やLANケーブルの接続については、「本章 1-① ブロードバンドで接続する」を参照してください。
ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワーク機器の接続先やネットワークの詳しい設定については、［スタート］→［ヘルプとサポート］をクリックして、『ヘルプとサポート センター』を参照してください。
また、会社や学校で使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

② ワイヤレス（無線）LANを使う

＊ 無線LANモデルのみ

無線LANとは、パソコンにLANケーブルを接続しない状態で使用できる、ワイヤレスのLAN機能のことです。モデムやルータの位置とは関係なく、無線通信のエリア内であればあらゆる場所からコンピュータをLANシステムに接続できます。
無線LANアクセスポイント（市販）を使用することによって、パソコンからワイヤレスでネットワーク環境を実現できます。

1 無線LANモジュールの確認

本書では、内蔵された無線LANモジュールの種類によって説明が異なる項目があります。
使用しているパソコンに合った説明をご覧ください。
使用しているパソコンに内蔵された無線LANモジュールの種類は、次の手順で確認できます。

1 通知領域の［ConfigFree］アイコン（ ）をクリックする

2 表示されたメニューから［デバイス］→［設定を開く］をクリックする

3 ［デバイス設定］タブの［デバイスリスト］で［ワイヤレスネットワーク接続］アイコン（ ）を選択し、［詳細］でアダプタ名を確認する

アダプタ名が示すモジュールは、それぞれ次のようになります。

- 「Atheros AR5005G Wireless Network Adapter」の場合
  IEEE802.11bおよびIEEE802.11gに対応したモジュールです。
  このモジュールを、「Atheros b/gモジュール」または「Atheros IEEE802.11bgモジュール」と呼びます。
- 「Intel(R) PRO/Wireless 2200BG Network Connection」の場合
  IEEE802.11bおよびIEEE802.11gに対応したモジュールです。
  このモジュールを、「Intel b/gモジュール」または「Intel IEEE802.11bgモジュール」と呼びます。

2 無線LANの概要

本製品の無線LANモデルには、モデルによってIEEE802.11b、IEEE802.11gに準拠した無線LANモジュールが内蔵されています。次の機能をサポートしています。

- 規格値54Mbps無線LAN対応（IEEE802.11gの場合）＊1
- 規格値11Mbps無線LAN対応（IEEE802.11bの場合）＊1
- 周波数チャネル選択（2.4GHz帯／5GHz帯）
- マルチチャネル間のローミング
- パワーマネージメント
- 暗号化方式（WEP、TKIP、AES）

＊1　表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

【 無線LANの種類 】
無線LANは、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに準拠する無線ネットワークです。

- IEEE802.11a／IEEE802.11gでは「直交周波数分割多重方式」（Orthogonal Frequency Devision Multiplexing, OFDM）、IEEE802.11bでは「直接拡散方式」（Direct Sequence Spread Spectrum, DSSS）を採用し、IEEE802.11に準拠する他社の無線LANシステムと完全な互換性を持っています。
- Wi-Fi Alliance認定のWi-Fi（Wireless Fidelity）ロゴを取得しています。
  Wi-Fiロゴは、IEEE802.11に準拠する他社の無線LAN製品との通信が可能な無線機器であることを意味します。
- Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。

お願い　無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
　　メールの内容
　などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
・不正に侵入される
　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
　　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　　傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　　コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

お願い　セキュリティ機能

- セキュリティ機能を使用しないと、無線LAN経由で部外者による不正アクセスが容易に行えるため、不正侵入や盗聴、データの消失、破壊などにつながる危険性があります。
  不正アクセスを防ぐために、ネットワーク名（SSID）の設定や、暗号化機能（WEP、WPA）を設定されることを強くおすすめします。
  また、お使いの無線LANアクセスポイントで、登録したMACアドレスのみ接続可能にする設定などの対策も有効です。
  公共の無線LANアクセスポイントなどで使用される場合は、「Windows セキュリティセンター」の「Windows ファイアウォール」やファイアウォール機能のあるウイルスチェックソフトを使用して、不正アクセスを防止してください。

お願い　無線 LAN を使用するにあたって

- 無線 LAN の無線アンテナは、できるかぎり障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、ディスプレイを開き、本や分厚い紙の束などの障害物でディスプレイを覆わないようにしてください。
  また、パソコンとの間を金属板で遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属性のケースなどで覆わないようにしてください。
- 無線 LAN は無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、《オンラインマニュアル（検索）: 無線 LAN について》を確認してください。
- 本製品の無線 LAN を使用できる地域については、「付録 2-1 ご使用になれる国／地域について」を確認してください。

3 無線LANを使ってみよう

⚠ 警 告

- **パソコン本体を航空機に持ち込む場合、ワイヤレスコミュニケーションスイッチをオフ（手前側）にし、必ずパソコン本体の電源を切ること**
  ワイヤレスコミュニケーションスイッチをオンにしたまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器に影響を与える場合があります。また、航空機内でのパソコンのご使用は、必ず航空会社の指示に従ってください。

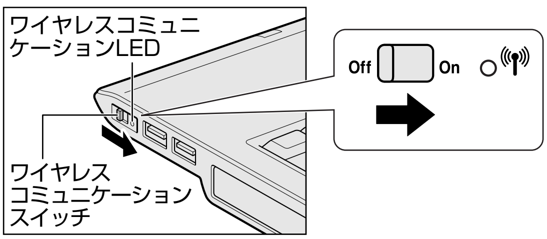
お願い　操作にあたって

- Bluetooth と無線 LAN は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

ここでは、無線 LAN の一般的な設定方法について説明します（Windows XP Service Pack2 が適用された環境の設定方法です）。

ウィザードから設定する場合は、《オンラインマニュアル（検索）: ウィザードから設定する》をご覧になり、設定を行ってください。

1 本体右側面にある、ワイヤレスコミュニケーションスイッチを On 側にスライドする



ワイヤレスコミュニケーション LED が点灯します。
無線 LAN 機能が起動します。
無線 LAN 機能が起動すると、パソコンは自動的に利用できるネットワークを検索します。
利用できるネットワークが検出された場合、通知領域にメッセージが表示されます。

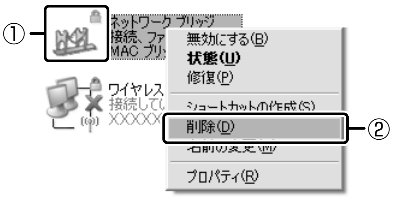
2 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックし、［ ネットワークとインターネット接続］をクリックする

3 ［ ネットワーク接続］をクリックする

4 ［ネットワーク接続］画面に［ネットワークブリッジ］アイコンがあるか確認する

［ネットワークブリッジ］アイコンが表示されている場合は手順 5 へ、表示されていない場合は、手順 7 へ進んでください。

5 **［ネットワークブリッジ］アイコンを右クリックし①、表示されたメニューから［削除］をクリックする②**



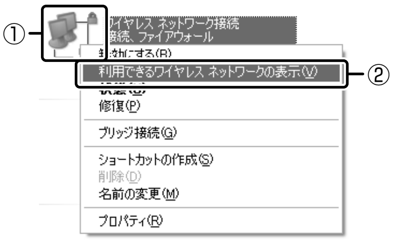
通常ネットワークブリッジは使用しませんが、設定を行っている場合は削除しないでください。ここでの手順は一般的な無線 LAN の設定方法になります。

［接続の削除の確認］画面が表示されます。

6 **［はい］ボタンをクリックする**

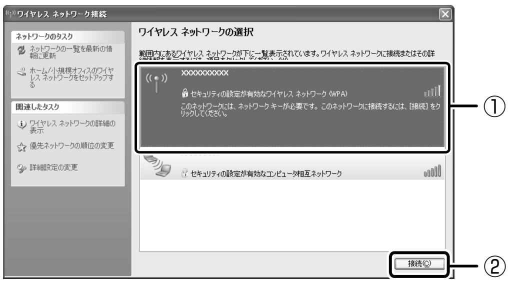
削除には約 30 秒かかります。

7 **［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを右クリックし①、表示されたメニューから［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする②**



［ワイヤレスネットワーク接続］画面が表示されます。

8 **［ワイヤレスネットワークの選択］の使いたいネットワークを選択し①、［接続］ボタンをクリックする②**



［ワイヤレスネットワークの設定］に使いたいネットワークが表示されない場合は、《オンラインマニュアル（検索）：ウィザードから設定する》をご覧になり、設定を行ってください。

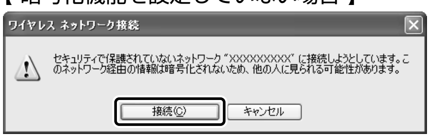
【 暗号化機能を設定している場合 】



「ネットワーク 'XXXXXX（接続するネットワーク名）' にはネットワークキー（WEP キーまたは WPA キー）が必要です・・・」のメッセージ画面が表示されます。

［ネットワークキー］と［ネットワークキーの確認入力］にキーを入力し、［接続］ボタンをクリックしてください。

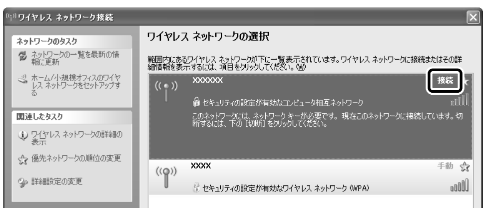
【 暗号化機能を設定していない場合 】



「セキュリティで保護されていないネットワーク ' XXXXXX（接続するネットワーク名）' に接続しようとしています・・・」のメッセージ画面が表示されます。［接続］ボタンをクリックしてください。

参照 暗号化について 《オンラインマニュアル（検索）：ウィザードから設定する》

正常に接続されるとネットワーク名の右側に「接続」または「接続済み」と表示されます。



9 ［ワイレスネットワーク接続］画面を閉じる

10 ［ネットワーク接続］画面で［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンをダブルクリックする



［ワイヤレスネットワーク接続の状態］画面が表示されます。

11 ［サポート］タブで［IP アドレス］で取得している IP アドレスが正常な範囲のものか確認する

一般的に正常な範囲のアドレスは「192.168.XXX.XXX」の範囲です。



役立つ操作集

通信状態を確認する

［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンをクリックすると［ワイヤレスネットワーク接続の状態］画面が表示され、接続の状態、接続継続時間、通信速度、シグナルの強さなど動作状況がわかります。

メモ　ConfigFree（コンフィグフリー）

- 本製品に用意されている「ConfigFree」を使うと、近隣の無線 LAN デバイスを検出したり、LAN ケーブルをはずすと自動的に無線 LAN に切り替えるなど、ネットワーク設定に便利な機能が使えます。

参照　ConfigFree の設定方法 《オンラインマニュアル（検索）：ネットワーク設定に便利な操作》

ヘルプの起動

無線 LAN の詳しい情報は［スタート］→［ヘルプとサポート］をクリックし、『ヘルプとサポート センター』を参照してください。

3章

周辺機器を使って機能を広げよう

パソコンでできることをさらに広げたい。
そのためには周辺機器を接続して、機能を拡張しましょう。
本製品に取り付けられるさまざまな周辺機器の取り付けかたや各種設定、取り扱いについて説明しています。

1 周辺機器を使う前に

周辺機器とは、パソコンに接続して使う機器のことで、デバイスともいいます。周辺機器を使うと、パソコンの性能を高めたり、パソコンが持っていない機能を広げることができます。
周辺機器には、パソコン本体の周囲にあるコネクタや端子、スロットにつなぐ外付け方式のものと、パソコンのカバーを開けて、パソコンの中に取り付ける内蔵方式のものがあります。

本製品に接続して使うことができる周辺機器には、おもに次のようなものがあります。

【 外付け方式のもの 】

- キーボード
- テレビ
- オーディオ機器（音楽プレイヤ）
- ハードディスク
- マウス
- ディスプレイ
- ハブ
- テンキーパッド
- フロッピーディスクドライブ
- プロジェクタ
- フラッシュメモリ
- トラックボール
- プリンタ
- スキャナ
- モデム

【 内蔵方式のもの 】

- メモリ
- バッテリ

周辺機器によっては、インタフェースなどの規格が異なることがあります。インタフェースとは、機器を接続するときのケーブルやコネクタや端子、スロットの形状などの規格のことです。
購入される際には、その周辺機器で何をしたいのか、目的をはっきりさせて、その目的にあった周辺機器をお選びください。そして、本製品に対応しているかどうかを、その周辺機器のメーカに確認したうえで、ご購入ください。

お願い 取り付け／取りはずしにあたって

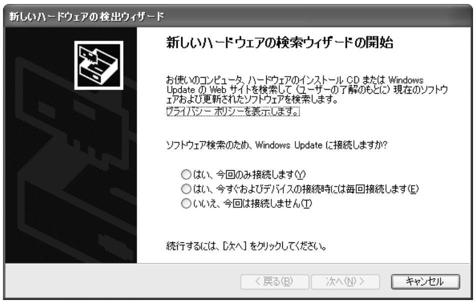
- 取り付け／取りはずしの方法は周辺機器によって違います。本章の各節を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
  - ・ホットインサーションに対応していない周辺機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、電源コネクタから AC アダプタのプラグを抜き、電源コードを電源コンセントからはずし、バッテリパックを取りはずしてから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
  - ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
  - ・ホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
  - ・極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
  - ・静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
  - ・本書で説明している場所のネジ以外は、取りはずさないでください。
  - ・作業時に使用するドライバは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
  - ・本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
  - ・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向をあわせてください。
  - ・ケーブルのコネクタに固定用ネジがある場合は、パソコン本体のコネクタに接続した後、ケーブルがはずれないようにネジを締めてください。
  - ・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

参照 コネクタの種類について 《オンラインマニュアル（検索）: インタフェース仕様》

①ドライバをインストールする

周辺機器を使うには、ドライバや専用のアプリケーションのインストールを行います。ドライバはあらかじめパソコンに用意されている場合と、周辺機器に添付のフロッピーディスクや CD-ROM を使う場合があります。

【 自動的に対応（プラグアンドプレイ）している場合 】



Windows には、あらかじめたくさんのドライバが用意されています。周辺機器を接続すると Windows がドライバの有無をチェックし、対応したドライバが見つかると、自動的にインストールを開始します。［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

【 自動的に対応（プラグアンドプレイ）していない場合 】
［ハードウェアの追加ウィザード］を起動するか、機器に付属の説明書を確認し、ドライバのインストールや必要な設定を行ってください。［ハードウェアの追加ウィザード］は、次のように起動します。

①［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする
②［関連項目］の［ハードウェアの追加］をクリックする

3章

周辺機器を使って機能を広げよう

2 パソコンの動作をスムーズにする

− メモリの増設 −

ハードディスクの大きさがデータの保存容量を決めるのに対し、メモリ容量はハードディスクからデータを取り出し、作業するエリアの大きさに影響します。画像編集など、一度に大きなデータを扱う作業を行う場合は、メモリ容量が大きいほうがスムーズに作業を行うことができます。メモリを増設して、快適なパソコンにしましょう。
増設メモリスロットに増設メモリを取り付けることができます。
本製品にはPC2-4200対応、DDR2 SDRAM仕様の2つの増設メモリスロット（スロットAとスロットB）があります。
ご購入のモデルによって、あらかじめ取り付けられているメモリの容量が異なります。
メモリが取り付けられていないスロットに別売りの増設メモリを取り付けたり、取り付けられているメモリを別売りの増設メモリと付け換えることができます。
増設メモリは、容量によって次の3タイプがあります。

1GB　：PAME1003
512MB：PAME5123
256MB：PAME2563

取り付けることのできるメモリの容量は、2つのスロットを合わせて、最大2GBまでです。

⚠警告

- **本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないこと**
  内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると、感電ややけどのおそれがあります。

⚠注意

- **ステープル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないこと**
  火災、感電の原因となります。万一、機器内部に入った場合は、バッテリを取りはずし、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- **増設メモリの取り付け／取りはずしは、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリパックを取りはずしてから作業を行うこと**
  電源を入れたまま取り付け／取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。
- **電源を切った直後に増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないこと**
  内部が高温になっており、やけどのおそれがあります。電源を切った後30分以上たってから行ってください。

お願い　操作にあたって

- パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにゴミや油が付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。
- 増設メモリを強く押したり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 増設メモリは、コネクタに差し込む部分ではなく両端（切れ込みがある方）を持つようにしてください。
- スタンバイ／休止状態中に増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スタンバイ／休止状態が無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
- ネジをゆるめる際は、ネジの種類に合ったドライバを使用してください。
- キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。

増設メモリは、東芝製オプションを使用してください。それ以外のメモリを増設すると、起動しなくなったり、動作が不安定になる場合があります。

お願い　静電気について

- 増設メモリは、精密な電子部品のため静電気によって致命的損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、増設メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。

1 メモリを増設する

あらかじめ取り付けられているメモリを交換したい場合は、先にメモリの取りはずしを行ってください。

参照 「本節 2 メモリを取りはずす」

1 **データを保存し、Windows を終了させて電源を切る**

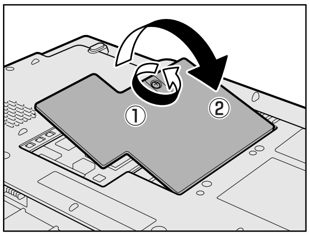
参照 電源の切りかた 『セットアップガイド 1 章 4 電源を切る方法と入れる方法』

2 **パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす**

3 **ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返し、バッテリパックを取りはずす**

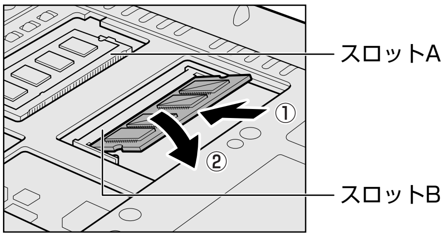
参照 バッテリパックの取りはずし 「4 章 1-③ バッテリパックを交換する」

4 **増設メモリカバーのネジ 1 本をゆるめ①、カバーをはずす②**



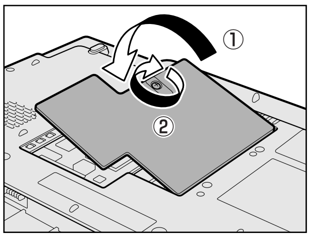
増設メモリスロットの内部に異物が入らないようにしてください。

5 **増設メモリを増設メモリスロットのコネクタに斜めに挿入し①、固定するまで増設メモリを倒す②**



増設メモリの切れ込みを、増設メモリスロットのコネクタのツメに合わせて、しっかり差し込みます。フックがかかりにくいときは、ペン先などで広げてください。
このとき、増設メモリの両端（切れ込みが入っている部分）を持って差し込むようにしてください。

6 **増設メモリカバーをつけて①、手順 4 でゆるめたネジ 1 本をとめる②**



増設メモリカバーが浮いていないことを確認してください。

7 **バッテリパックを取り付ける**

参照 バッテリパックの取り付け 「4 章 1-③ バッテリパックを交換する」

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

参照 メモリ容量の確認について 「本節 3 メモリ容量を確認する」

2 メモリを取りはずす

1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る

参照 電源の切りかた 『セットアップガイド 1 章 4 電源を切る方法と入れる方法』

2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす

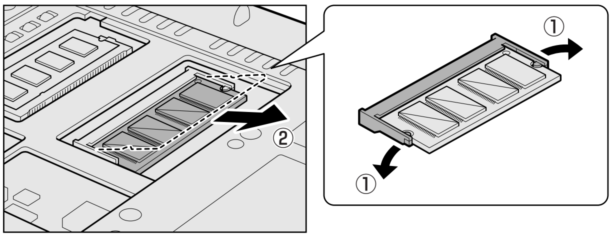
3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返し、バッテリパックを取りはずす

参照 バッテリパックの取りはずし 「4 章 1-③ バッテリパックを交換する」

4 増設メモリカバーのネジ 1 本をゆるめ、カバーをはずす

増設メモリスロットの内部に異物が入らないようにしてください。

5 増設メモリを固定している左右のフックをペン先などで開き①、増設メモリをパソコン本体から取りはずす②



斜めに持ち上がった増設メモリを引き抜きます。

6 増設メモリカバーをつけて、手順 4 でゆるめたネジ 1 本をとめる

増設メモリカバーが浮いていないことを確認してください。

7 バッテリパックを取り付ける

参照 バッテリパックの取り付け 「4 章 1-③ バッテリパックを交換する」

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

3 メモリ容量を確認する

メモリ容量は「東芝 PC 診断ツール」で確認することができます。

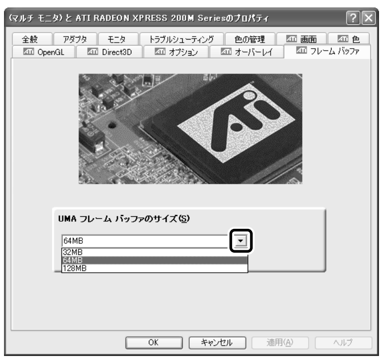
【 確認方法 】
①［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［PC 診断ツール］をクリックする
②［基本情報］タブの［物理メモリ］の数値を確認する

役立つ操作集

ビデオ RAM の容量を変更するには　＊ AX/7 シリーズのみ

ビデオ RAM はメインメモリの一部を使用しています。使用されるアプリケーションの推奨ビデオ RAM 容量が 64MB より大きい場合に、本変更を行うと効果的です。ビデオ RAM の容量は、次の手順で変更することができます。

①［スタート］→［コントロールパネル］をクリックし、［デスクトップの表示とテーマ］をクリックする
②［画面］をクリックする
［画面のプロパティ］画面が表示されます。
③［設定］タブで［詳細設定］ボタンをクリックする
④［フレームバッファ］タブで［UMA フレームバッファのサイズ］の ▼ ボタンをクリックし、ビデオ RAM の容量を選択する
⑤［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックする
⑥パソコンを再起動する



パソコンが再起動した後、ビデオ RAM の容量が変更されます。

3 USB対応機器を使う

USB（ユーエスビー）対応機器は、電源を入れたままの取り付け／取りはずしができ、プラグアンドプレイに対応しています。
USB 対応機器には次のようなものがあります。

- USB 対応マウス
- USB 対応プリンタ
- USB 対応キーボード
- USB 対応スキャナ
- USB フラッシュメモリ

など

本製品の USB コネクタには USB2.0 対応機器と USB1.1 対応機器を取り付けることができます。
USB 対応機器の詳細については、『USB 対応機器に付属の説明書』を確認してください。

お願い 操作にあたって

- 電源供給を必要とする USB 対応機器を接続する場合は、USB 対応機器の電源を入れてからパソコン本体に接続してください。
- USB 対応機器を使用するには、システム（OS）、および機器用ドライバの対応が必要です。
- すべての USB 対応機器の動作確認は行っていません。したがってすべての USB 対応機器の動作は保証できません。
- USB 対応機器を接続したままスタンバイまたは休止状態にすると、復帰後 USB 対応機器が使用できない場合があります。その場合は、USB 対応機器を接続し直すか、パソコンを再起動してください。

1 取り付け

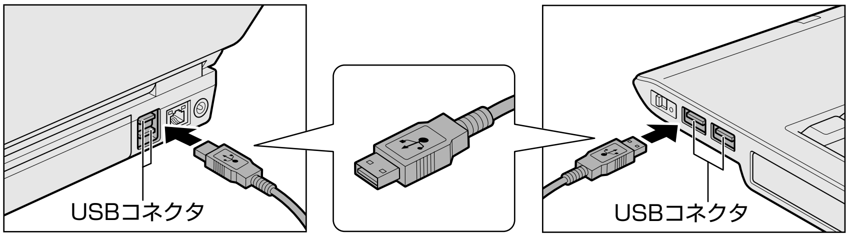
1 USB ケーブルのプラグを USB 対応機器に差し込む

この手順が必要ない機器もあります。

2 USB ケーブルのもう一方のプラグをパソコン本体の USB コネクタに差し込む

プラグの向きを確認して差し込んでください。

【 背面 】　【 右側面 】



2 取りはずし

お願い 取りはずす前に確認しよう

- 取りはずすときは、USB 対応機器をアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してください。
- USB フラッシュメモリや MO ドライブなど、記憶装置の USB 対応機器を取りはずす場合は、データが消失するおそれがあるため、必ず使用停止の手順を行ってください。

1 USB 対応機器の使用を停止する

① 通知領域の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（  ）をクリックする
② 表示されたメニューから［XXXX（取りはずす USB 対応機器）を安全に取り外します］をクリックする
③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、［閉じる］ボタン（  ）をクリックする

＊ 通知領域にこのアイコンが表示されない USB 対応機器は、手順 1 の①～③は必要ありません。

2 パソコン本体と USB 対応機器に差し込んである USB ケーブルを抜く

① USB フラッシュメモリを使う

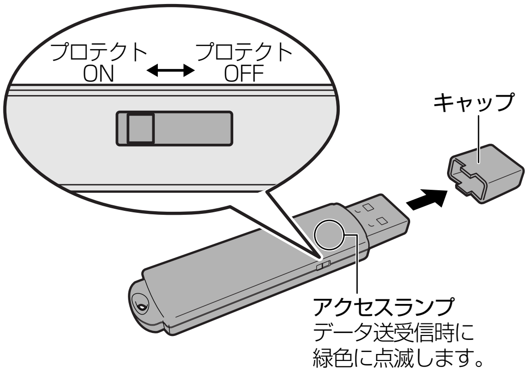
本製品の USB メモリ同梱モデルには、USB フラッシュメモリが同梱されています。
USB コネクタに差し込んで、データの読み出しや書き込みができます。

1 取り付け

お願い 操作にあたって

- ホコリ・ゴミが付着している状態で、取り付けないでください。

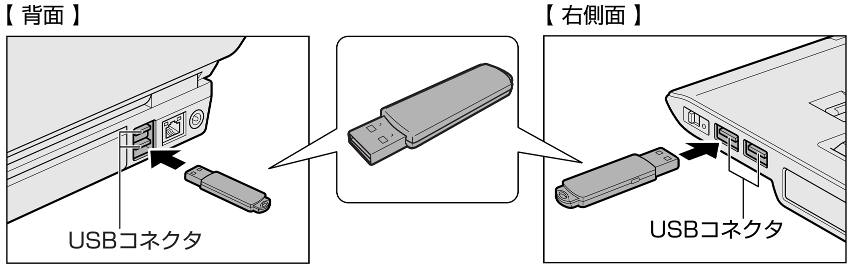
1 USB フラッシュメモリのキャップを取りはずす



取りはずしたキャップはなくさないようにしてください。
USB フラッシュメモリにデータを書き込む場合は、プロテクトを OFF にしてください。
プロテクトを ON ／ OFF にするときは、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）でスイッチをスライドさせてください。

2 USB フラッシュメモリをパソコン本体の USB コネクタに差し込む

「dynabook」ロゴが見えるほうを上にして差し込んでください。



［リムーバブルディスク］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

2 取りはずし

お願い 取りはずす前に確認しよう

- アクセスランプが点滅している間は、電源を切ったり、USB フラッシュメモリを取りはずしたりしないでください。
データが消失・破損する恐れがあります。

1 USB フラッシュメモリの使用を停止する

① 通知領域の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（ ）をクリックする
② 表示されたメニューから［USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（X:）を安全に取り外します］をクリックする
③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、［閉じる］ボタン（ ）をクリックする

2 パソコン本体から USB フラッシュメモリを抜く

3 USB フラッシュメモリのキャップを取り付ける

3 USB フラッシュメモリの内容を見る

画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

1 ［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする

2 ［ リムーバブル ディスク（X:)］をダブルクリックする



作成したデータを USB フラッシュメモリに保存する場合は、［保存する場所］で［リムーバブル ディスク］を選択してください。

参照　ファイルの操作 《できる dynabook 第５章 ファイルの操作を覚えよう》

4 他のパソコンで使用するとき

お願い　操作にあたって

- すべてのパソコンとの動作確認は行っていません。したがってすべてのパソコンに取り付けての動作は保証できません。

USB フラッシュメモリを他のパソコンに取り付けて使用することができます。その場合は、取り付けるパソコンに次の条件が必要です。

【 システム*1 】
Windows 98SE ／ Windows Me ／ Windows 2000 ／ Windows XP Home Edition ／ Windows XP Professional

＊1　システムの正式名称は次のとおりです。
Windows 98SE ..... Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows Me .... Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000 ..... Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版

メモ

- Windows 98SE のパソコンで使用するには、ドライバが必要です。ドライバは、弊社ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」→「ダウンロード」からダウンロードすることができます。
URL：http://dynabook.com/assistpc/download/modify/usb/index_j.htm
- USB フラッシュメモリのよくある質問については、弊社ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」を確認してください。

3章　周辺機器を使って機能を広げよう

4 i.LINK（IEEE1394）対応機器を使う

＊ i.LINK 搭載モデルのみ

i.LINK（アイリンク）（IEEE1394（アイトリプルイーイチサンキュウヨン））コネクタ（i.LINK コネクタとよびます）に接続します。
i.LINK（IEEE1394）対応機器（i.LINK 対応機器とよびます）には次のようなものがあります。

- i.LINK 対応デジタルビデオカメラ
- i.LINK 対応ハードディスクドライブ
- i.LINK 対応 MO ドライブ
- i.LINK 対応プリンタ　　など

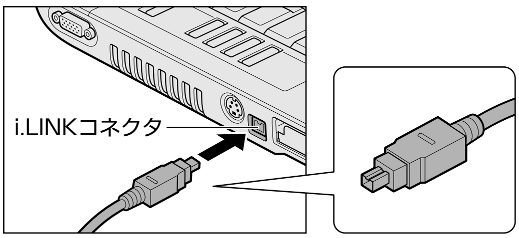
i.LINK 対応機器の詳細については、『i.LINK 対応機器に付属の説明書』を確認してください。

お願い 操作にあたって

- 静電気が発生しやすい場所や電気的ノイズが大きい場所での使用時には注意してください。外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障、静電気や電気的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめ了承してください。
- ビデオカメラから取り込んだ画像データ、音声データは、個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- デジタルビデオカメラなどを使用し、データ通信を行っているときに他の i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしを行うと、データがコマ落ちする場合があります。i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしは、データ通信を行っていないとき、またはパソコン本体の電源を入れる前に行ってください。
- i.LINK 対応機器を使用するには、システム（OS）および周辺機器用ドライバの対応が必要です。
- すべての i.LINK 対応機器の動作確認は行っていません。したがって、すべての i.LINK 対応機器の動作は保証できません。
- ケーブルは規格に準拠したもの（S100、S200、S400 対応）を使用してください。詳細については、ケーブルのメーカに問い合わせてください。
- 取り付ける機器によっては、スタンバイまたは休止状態にできなくなる場合があります。
- i.LINK 対応機器を接続してアプリケーションから使用している間は、i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしや電源コードと AC アダプタの取りはずしなど、パソコン本体の省電力設定の自動切替えを伴う操作を行わないでください。行った場合、データの内容は保証できません。
- i.LINK 対応機器とパソコン本体の間でデータ転送している間は、スタンバイまたは休止状態にしないでください。データの転送が中断される場合があります。

1 取り付け

1 ケーブルのプラグをパソコン本体の i.LINK コネクタに差し込む



プラグの向きを確認して差し込んでください。

2 ケーブルのもう一方のプラグを i.LINK 対応機器に差し込む

2 取りはずし

お願い 取りはずす前に確認しよう

- 取りはずすときは、i.LINK 対応機器をアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してください。
- MO ドライブなど、記憶装置の i.LINK 対応機器を取りはずす場合は、データが消失するおそれがあるため、必ず使用停止の手順を行ってください。

1 **i.LINK 対応機器の使用を停止する**

① 通知領域の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（ ）をクリックする
② 表示されたメニューから取りはずす i.LINK 対応機器を選択する
③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、［閉じる］ボタン（ ）をクリックする

＊ 通知領域にこのアイコンが表示されない i.LINK 対応機器は、手順 1 の①～③は必要ありません。

2 **パソコン本体と i.LINK 対応機器に差し込んであるケーブルを抜く**

3 i.LINKによるネットワーク接続

システム（OS）が Windows XP で i.LINK コネクタがあるパソコン同士を i.LINK（IEEE1394）ケーブルで接続すると、2 台で通信ができます。ネットワークの設定については、［スタート］→［ヘルプとサポート］をクリックし、『ヘルプとサポート センター』を参照してください。

1 **ケーブルの一方のプラグをパソコン本体の i.LINK コネクタに接続する**

2 **ケーブルのもう一方のプラグを、接続する機器の i.LINK コネクタに接続する**

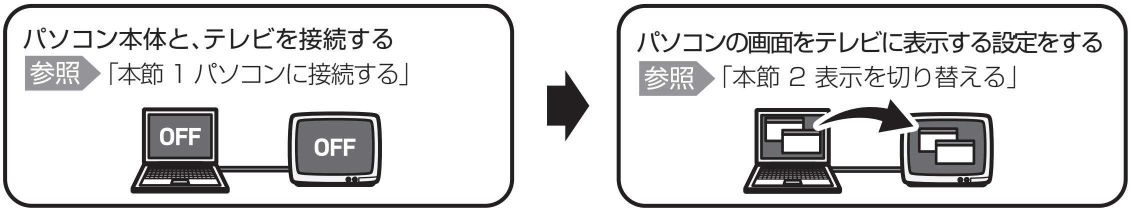
5 パソコンの画面をテレビに映す

－ テレビの接続 －

本製品のS-Video出力コネクタとテレビをS端子ケーブルで接続すると、テレビ画面にWindowsのデスクトップ画面を表示させることができます。

【 パソコン上のDVDなどを、テレビに表示する 】

「WinDVD」でのDVD再生など、パソコンで視聴／再生している映像を、ご家庭のテレビにも表示させることができます。



メモ

- テレビの代わりに、外部ディスプレイを接続して表示することもできます。

【 接続の前に 】

S映像入力端子（S1/S2映像入力端子）があるテレビを接続できます。
テレビを接続するときは、『テレビに付属の取扱説明書』もあわせて確認してください。
接続するS端子ケーブルは、市販の4ピンコネクタのケーブルを使用してください。

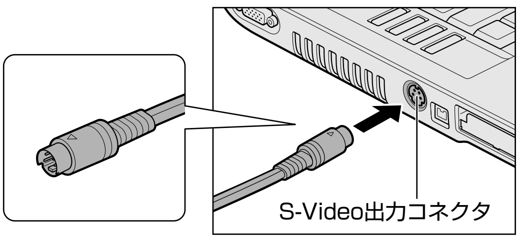
メモ

- テレビへの出力形式を設定する方法は、「本節 2 表示を切り替える」を参照してください。

1 パソコンに接続する

テレビとパソコン本体の電源を切った状態で接続してください。

1 S端子ケーブルのプラグをパソコン本体のS-Video出力コネクタに差し込む



2 S端子ケーブルのもう一方のプラグをテレビのS映像入力端子（S1/S2映像入力端子）に差し込む

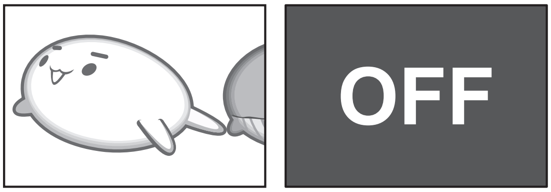
3 テレビの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れる

音声はパソコンのスピーカで聞くか、ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続して聞いてください。

2 表示を切り替える

テレビを接続した場合には、次の表示方法があります。
表示方法は、表示装置の切り替えを行うことで変更できます。

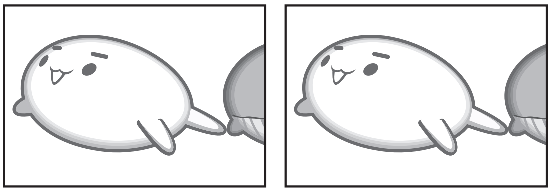
【 本体液晶ディスプレイだけに表示／テレビだけに表示 】



いずれかの表示装置にのみ、デスクトップ画面を表示します。

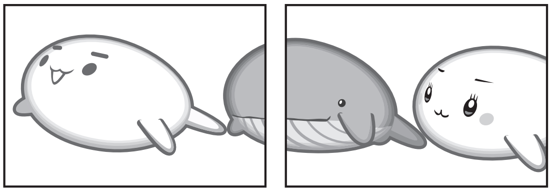
【 本体液晶ディスプレイとテレビの同時表示 】

● Clone（クローン）表示



2 つの表示装置それぞれにデスクトップ画面を表示します。

● 拡張表示
　＊ 方法 1 でのみ設定できます。



2 つの表示装置を 1 つの大きなデスクトップ画面として使用（拡張表示）します。

テレビに表示するには次の設定を行ってください。設定を行わないと、テレビには表示されません。

お願い　操作にあたって

● 必ず、DVD-Video などを再生する前に、表示装置の切替えを行ってください。再生中は表示装置を切り替えないでください。
● 次のようなときには、表示装置を切り替えないでください。
　・データの読み出しや書き込みをしている間
　・通信を行っている間
● Clone（クローン）表示しているときに DVD-Video を再生すると、画像がコマ落ちすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、本体液晶ディスプレイまたはテレビのどちらかだけに表示するか、拡張表示に設定してください。

メモ

● テレビに表示する場合は、1024 × 768 ドット以下の解像度でご覧ください。

方法 1 ー［画面のプロパティ］で設定する

【 TX/7 シリーズの場合 】

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ デスクトップの表示とテーマ］をクリックする

3 ［ 画面］をクリックする

［画面のプロパティ］画面が表示されます。

4 ［設定］タブで［詳細設定］ボタンをクリックする

5 ［Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for Mobile］タブで［グラフィック プロパティ］ボタンをクリックする

6 画面左側の［ディスプレイ デバイス］をクリックし、表示する装置を選択する



チェック（ ）がついている項目が現在の表示装置です。

（表示例）

- 本体液晶ディスプレイだけに表示
  ［ノートブック］をクリックしてください。
- テレビだけに表示
  ［テレビ］をクリックしてください。
  画面左側の［ディスプレイ設定］をクリックして表示される画面の「ビデオ標準」では 10 種類のモードが表示されますが、次の 3 つのみ使用してください。
  ・NTSC-M（米国仕様の TV 受信機）
  ・NTSC-J（日本仕様の TV 受信機）
  ・PAL-B（ヨーロッパ仕様の TV 受信機）
- 外部ディスプレイだけに表示
  ［PC モニタ］をクリックしてください。
- Clone（クローン）表示
  2 つの表示装置それぞれにデスクトップ画面を表示します。
  ①［Intel(R) Dual Display Clone］をクリックする
  ② 表示に合わせた設定をする

項目	プライマリデバイス	セカンダリデバイス
本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイで Clone 表示	ノートブック	PC モニタ
本体液晶ディスプレイとテレビで Clone 表示	ノートブック	テレビ

- 拡張表示
  2 つの表示装置を 1 つの大きなデスクトップ画面として使用できます。
  本体液晶ディスプレイと外部液晶ディスプレイまたはテレビの両方にクローン表示しているとき、［画面のプロパティ］から拡張表示を設定できない場合があります。そのときは、(CTRL)+(ALT)+(F12)キーを押して設定画面を表示し、次のように操作します。
  ①［拡張デスクトップ］をクリックする
  ② 表示に合わせた設定をする

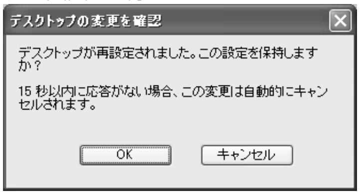
項目	プライマリデバイス	セカンダリデバイス
本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイで拡張表示	ノートブック	PC モニタ
本体液晶ディスプレイとテレビで拡張表示	ノートブック	テレビ

メモ

- 本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイをClone（クローン）表示または拡張表示に設定する際に、外部ディスプレイにノイズが発生した場合は、外部ディスプレイの解像度、色数、リフレッシュレートを下げてご使用ください。
  設定は、Clone（クローン）表示または拡張表示に設定したあと、[ディスプレイ設定]をクリックし、表示される画面で行います。

7 [OK]ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



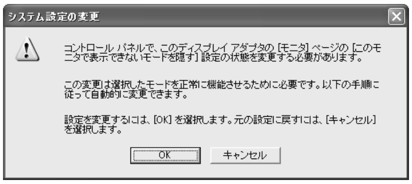
8 [OK]ボタンをクリックする

9 [OK]ボタンをクリックする

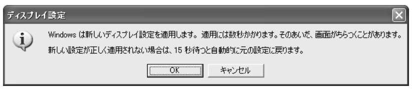
10 [画面のプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする

【 メッセージについて 】
設定の途中で、次のメッセージが表示された場合は、[OK]または[はい]ボタンをクリックしてください。

- [システム設定の変更]画面



- [ディスプレイ設定]画面



- [ディスプレイ設定の確認]画面



3章 周辺機器を使って機能を広げよう

【 AX/7 シリーズの場合 】

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ デスクトップの表示とテーマ］をクリックする

3 ［ 画面］をクリックする

［画面のプロパティ］画面が表示されます。

4 ［設定］タブで［詳細設定］ボタンをクリックする

5 ［画面］タブで表示する装置を切り替える



（表示例）

表示装置名の左上の［有効／無効］ボタン（ ）をクリックして切り替えます。

＊ 画面はテレビと外部ディスプレイを接続している場合の表示例です。

次の手順で切り替えられます。

本体液晶ディスプレイ（パネル）だけに表示

↓↑　接続している表示装置の［有効 / 無効］ボタンをクリック
［モニタ］は外部ディスプレイのことです。

本体液晶ディスプレイ（パネル）と接続している表示装置の同時表示

↓↑　［パネル］の［有効 / 無効］ボタンをクリック

接続している表示装置だけに表示

［有効 / 無効］ボタンの色は、次のように変わります。
外部ディスプレイ（モニタ）とテレビについては、それぞれ接続している場合の状態です。

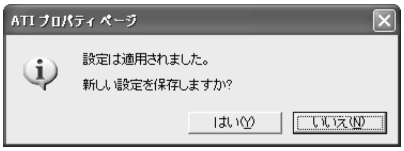
	モニタ	パネル	テレビ
本体液晶ディスプレイだけに表示	赤	グレー	赤
本体液晶ディスプレイとテレビに同時表示 ・クローン表示 ＊1 ・拡張表示 ＊2	赤	緑	緑
本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同時表示 ・クローン表示 ＊1 ・拡張表示 ＊2	緑	緑	赤
テレビだけに表示	赤	赤	グレー
外部液晶ディスプレイだけに表示	グレー	赤	赤

＊1 クローン表示のとき、プライマリボタン（ ）とセカンダリボタン（ ）を使用して切り替えることにより、動画を表示する状態を選択することができます。
　プライマリ：動画をウィンドウ表示します。
　セカンダリ：動画をフルスクリーン表示します。

＊2 拡張表示のとき、プライマリボタン（ または ）とセカンダリボタン（ または ）を使用して切り替えることにより、画面の割り当てを選択することができます。

6 ［OK］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



7 ［はい］ボタンをクリックする

拡張表示にする場合は、手順８へ進んでください。
クローン表示、本体液晶ディスプレイだけに表示、接続している表示装置だけに表示する場合は、手順９へ進んでください。

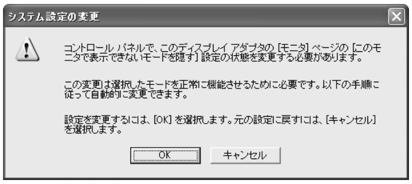
8 拡張表示にする場合は、次の操作を行う

① ［画面のプロパティ］画面の［設定］タブで、［ディスプレイ］の ボタンをクリックする
② ［2. ATI RADEON XPRESS 200M Series 上の（マルチモニタ）］を選択する
③ ［Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする］をチェックする

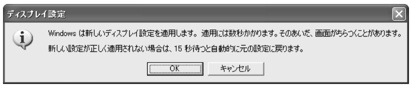
9 ［画面のプロパティ］画面で［OK］ボタンをクリックする

【 メッセージについて 】
設定の途中で、次のメッセージが表示された場合は、［OK］または［はい］ボタンをクリックしてください。

- ［システム設定の変更］画面



- ［ディスプレイ設定］画面



- ［ディスプレイ設定の確認］画面



3章
周辺機器を使って機能を広げよう

方法２ー(FN)＋(F5)キーを使う

メモ

- 方法２では、同時表示はClone（クローン）表示となり、２つの表示装置それぞれにデスクトップ画面を表示します。拡張表示の設定はできません。

(FN)キーを押したまま(F5)キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。カーソルは現在の表示装置を示しています。(FN)キーを押したまま(F5)キーをを押すたびに、カーソルが移動します。表示する装置にカーソルが移動したら、(FN)キーを離すと表示装置が切り替わります。

- 表示装置をLCD（本体液晶ディスプレイ）に戻す方法
  現在の表示装置がLCD（本体液晶ディスプレイ）以外に設定されている場合、表示装置をLCDに戻すことができます。
  表示装置を選択する画面が表示されていない状態で、(FN)＋(F5)キーを３秒以上押し続けてください。
  表示装置に何も表示されず、選択する画面が表示されているか確認できない場合は、いったんキーボードから指を離してから、(FN)＋(F5)キーを３秒以上押し続けてください。



- LCD .... 本体液晶ディスプレイだけに表示
- LCD／CRT .... 本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同時表示
- CRT .... 外部ディスプレイだけに表示
  外部ディスプレイを接続している／していないに関わらず、外部ディスプレイだけに表示されます。
  本体液晶ディスプレイには何も表示されません。
- LCD／TV .... 本体液晶ディスプレイとテレビに同時表示
- TV .... テレビだけに表示
  テレビを接続している／していないに関わらず、テレビだけに表示されます。
  本体液晶ディスプレイには何も表示されません。

「画面のプロパティ」で［拡張表示］に設定した場合は、(FN)＋(F5)キーで表示装置を切り替えられません。「方法１」の手順で表示装置を切り替えてください。
また、複数のユーザで使用する場合、ユーザアカウントを切り替えるときは［Windowsのログオフ］画面で［ログオフ］を選択して切り替えてください。［ユーザーの切り替え］で切り替えた場合は、(FN)＋(F5)キーで表示装置を切り替えられません。

参照 ユーザアカウントの切り替え《できるdynabook 第６章 dynabookを使いやすくしよう》

3 パソコンから取りはずす

パソコン本体の電源を切ってから、テレビの電源を切った後、取りはずしを行ってください。

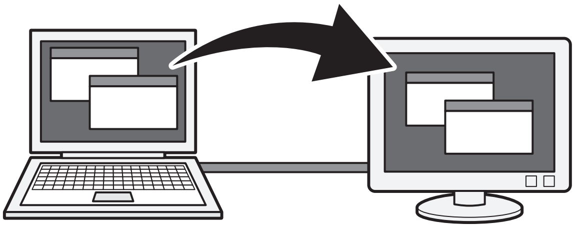
1 パソコン本体とテレビに差し込んであるS端子ケーブルを抜く

【 アプリケーションの利用に関する注意事項 】
「InterVideo WinDVD」で使用する表示装置を変更したい場合は、アプリケーションを起動する前に表示装置を切り替えてください。
起動中は、表示装置を切り替えることができません。

6 パソコンの画面を外部ディスプレイに映す

－ 外部ディスプレイの接続 －

RGB（アールジービー）コネクタにケーブルを接続して、外部ディスプレイに Windows のデスクトップ画面を表示させることができます。



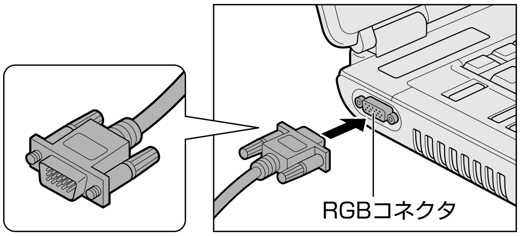
メモ

- 使用可能な外部ディスプレイは、本体液晶ディスプレイで設定している解像度により異なります。解像度にあった外部ディスプレイを接続してください。

1 パソコンに接続する

外部ディスプレイとパソコン本体の電源を切った状態で接続してください。

1 **外部ディスプレイのケーブルのプラグを RGB コネクタに差し込む**



2 **外部ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れる**

外部ディスプレイを接続してパソコン本体の電源を入れると、本体は自動的にその外部ディスプレイを認識します。

2 パソコンから取りはずす

1 **パソコン本体の電源を切ってから、外部ディスプレイの電源を切る**

2 **RGB コネクタからケーブルを抜く**

3 表示を切り替える

外部ディスプレイを接続した場合には次の表示方法があります。

- 外部ディスプレイだけに表示する
- 外部ディスプレイと本体液晶ディスプレイに同時表示する
  - ・Clone（クローン）表示
  - ・拡張表示
- 本体液晶ディスプレイだけに表示する

表示方法は、テレビに表示する場合の説明を参考にしてください。

参照 表示方法について 「本章 5-2 表示を切り替える」

「東芝省電力」で表示自動停止機能を設定して外部ディスプレイの表示が消えた場合、キーあるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。また、スタンバイに設定してある場合は、電源スイッチを押してください。
表示が復帰するまで 10 秒前後かかることがありますが、故障ではありません。

切り替え方法

表示装置を切り替える方法は、テレビに表示する場合の「方法 1」や「方法 2」を参考にしてください。

参照 表示方法について 「本章 5-2 表示を切り替える」

メモ

- 外部ディスプレイと本体液晶ディスプレイを同時表示させる場合は、外部ディスプレイ／本体液晶ディスプレイとも本体液晶ディスプレイの色数／解像度で表示されます。

4 表示について

外部ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、外部ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。

7 インターネットチャットや音声ソフトを使う

－ マイクロホンやヘッドホンの接続 －

本製品には、マイクロホンやヘッドホンを接続できます。
マイクロホンやヘッドホンを使うと、音声ソフトや音声を使ったチャットを行うことができます。

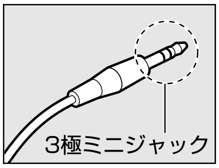
① マイクロホンを使う

マイク入力端子には、マイクロホンを接続できます。
本製品にはサウンド機能が内蔵されています。

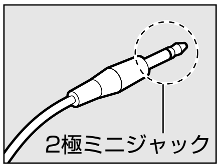
参照 サウンド機能について 《オンラインマニュアル（検索）：パソコン上で録音するときの音量調整》

1 使用できるマイクロホン

本製品で使用できるマイクロホンは次のとおりです。



- モノラルマイクのみ使用できます。
- プラグは3.5mm φ 3 極ミニジャックタイプが使用できます。



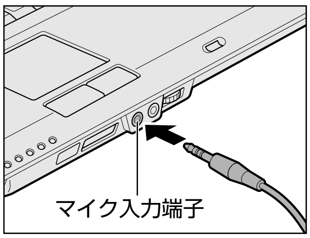
- 3.5mm φ 2 極ミニジャックタイプのマイクロホンでもマイクロホン本体にバッテリなどを内蔵し、電源供給を必要としないマイクロホンであれば使用できます。

音声認識ソフトとあわせて使用する場合は、各アプリケーションの取り扱い元が推奨するマイクロホンを使用してください。
本製品には、音声認識ソフト「LaLaVoice（ララボイス）」が用意されています。

参照 「LaLaVoice」について 《オンラインマニュアル（検索）：パソコンを音声で操作したい》

2 接続する

1 マイクロホンのプラグをマイク入力端子に差し込む



取りはずすときは、マイク入力端子からマイクロホンのプラグを抜きます。

3章 周辺機器を使って機能を広げよう

② ヘッドホンを使う

ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続すると、音楽や音声を聞くことができます。
ヘッドホンのプラグは、3.5mm φステレオミニジャックタイプを使用してください。

お願い 操作にあたって

- 次のような場合にはヘッドホンを使用しないでください。雑音が発生する場合があります。
  - ・ パソコン本体の電源を入れる／切るとき
  - ・ ヘッドホンの取り付け／取りはずしをするとき

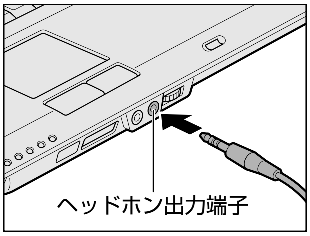
本製品にはサウンド機能が内蔵されています。
ヘッドホンの音量はボリュームダイヤル、または Windows のボリュームコントロールで調節してください。

ボリュームコントロールは、次のように操作して起動します。

①［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント］→［ボリュームコントロール］をクリックする

1 接続する

1 ヘッドホンのプラグをヘッドホン出力端子に差し込む



取りはずすときは、ヘッドホン出力端子からヘッドホンのプラグを抜きます。

8 PCカードを使う

目的に合わせたPCカードを使うことにより、パソコンの機能が大きく広がります。
PCカードには、次のようなものがあります。

- 無線LANカード
- メモリカード
- SCSIカード
- モデムカード
- 外付けHDD用アダプタカード
- フラッシュメモリカード用アダプタカード　　など

① PCカードを使う前に

本製品は、PC Card Standard準拠のTYPE Ⅱ対応のカード（CardBus対応カードも含む）を使用できます。

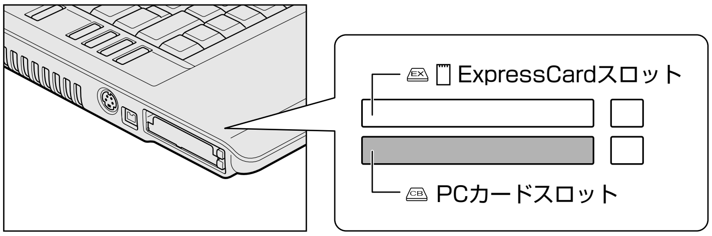
PCカードの大部分は電源を入れたままの取り付け／取りはずし（ホットインサーション）に対応しているので便利です。使用しているPCカードがホットインサーションに対応しているかどうかなど、詳しい使いかたについては『PCカードに付属の説明書』を確認してください。

お願い　操作にあたって

- ホットインサーションに対応していないPCカードを使用する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから取り付け／取りはずしを行ってください。
- PCカードには、長い時間使用していると熱を帯びるものがあります。PCカードを取りはずす際に、PCカードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてからPCカードを取りはずしてください。
- PCカードの使用停止は必ず行ってください。使用停止せずにPCカードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。

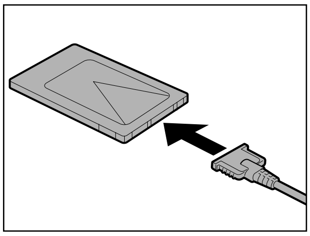
② PCカードを使う

PCカードを使う場合、パソコン本体のPCカードスロットにPCカードを取り付けてください。
ExpressCard搭載モデルの場合、ExpressCardスロットとPCカードスロットは、上下に並んでいます。それぞれのスロットを間違えないようにしてください。



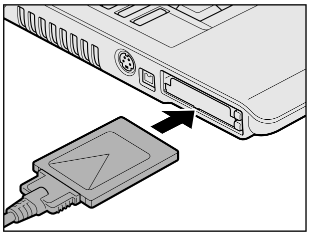
1 取り付け

1 PCカードにケーブルを付ける



SCSIカードなど、ケーブルの接続が必要なときに行います。

2 PCカードの表裏を確認し、表を上にして挿入する



カードは無理な力を加えず、静かにカードが奥に突き当たるまで押してください。きちんと奥まで差し込まれていない場合、PCカードを使用できない、またはPCカードが壊れる場合があります。

カードを接続した後、カードが使用できるように設定されているか確認してください。

2 取りはずし

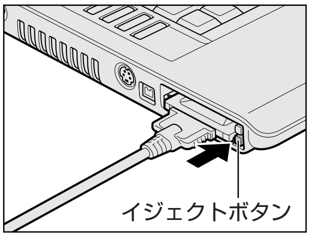
お願い 取りはずす前に確認しよう

- 取りはずすときは、PCカードをアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してください。

1 PCカードの使用を停止する

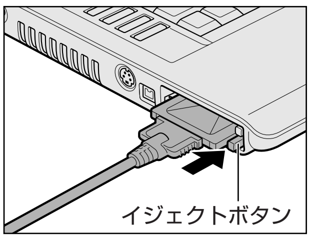
① 通知領域の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（ ）をクリックする
② 表示されたメニューから［XXXX（取りはずすPCカード）を安全に取り外します］をクリックする
③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、［閉じる］ボタン（ ）をクリックする

2 イジェクトボタンを押す



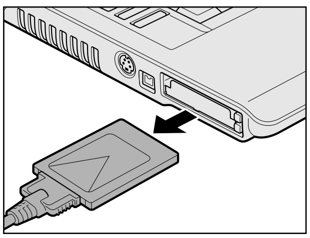
イジェクトボタンが出てきます。
カードが奥まで差し込まれていない場合、イジェクトボタンが出てこないことがあります。カードを奥まで押し込んでから、もう一度イジェクトボタンを押してください。

3 もう1度イジェクトボタンを押す



「カチッ」と音がするまで押してください。
カードが少し出てきます。

4 カードをしっかりとつかみ、抜く



カードを抜くときはケーブルを引っ張らないでください。故障するおそれがあります。
熱くないことを確認してから行ってください。

5 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンが収納されていない場合は、イジェクトボタンを押して収納します。

9 ExpressCardを使う

＊ ExpressCard搭載モデルのみ

目的に合わせたExpressCard（エクスプレス カード）を使うことにより、パソコンの機能が大きく広がります。

① ExpressCardを使う前に

本製品は、ExpressCard Standard準拠のExpressCard/34、ExpressCard/54対応のカードを使用できます。

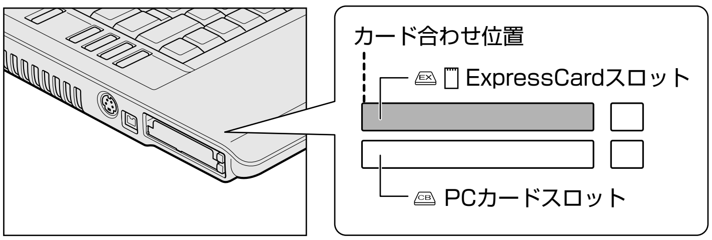
ExpressCardは基本的に電源を入れたままの取り付け／取りはずし（ホットインサーション）に対応しているので便利です。
使用しているExpressCardがホットインサーションに対応しているかどうかなど、詳しい使いかたについては『ExpressCardに付属の説明書』を確認してください。

お願い 操作にあたって

- ホットインサーションに対応していないExpressCardを使用する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから取り付け／取りはずしを行ってください。
- ExpressCardには、長い時間使用していると熱を帯びるものがあります。ExpressCardを取りはずす際に、ExpressCardが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてからExpressCardを取りはずしてください。

② ExpressCardを使う

ExpressCardを使う場合、パソコン本体のExpressCardスロットにExpressCardを取り付けてください。
本製品のExpressCardスロットとPCカードスロットは、上下に並んでいます。それぞれのスロットを間違えないようにしてください。
また、ExpressCardを取り付けるときは、ExpressCardスロットの左端にExpressCardの左端を合わせて挿入してください。

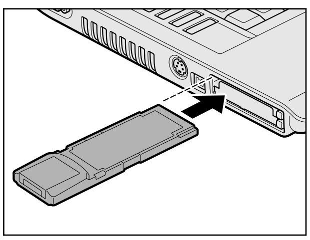


参照 PCカードスロットについて「本章 8 PCカードを使う」

1 取り付け

1 ケーブルの接続が必要な場合は、ExpressCardにケーブルを付ける

2 ExpressCardの表裏を確認し、表を上にして挿入する



カードは無理な力を加えず、静かにカードが奥に突き当たるまで押してください。
きちんと奥まで差し込まれていない場合、ExpressCardを使用できない、またはExpressCardが壊れる場合があります。
カードを接続した後、カードが使用できるように設定されているか確認してください。

＊ イラストは、ExpressCard/34対応のカードの例です。

2 取りはずし

お願い 操作にあたって取りはずす前に確認しよう

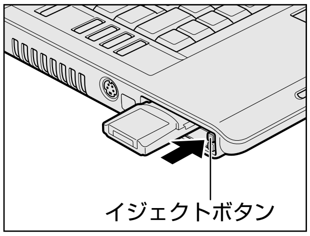
- 取りはずすときは、ExpressCard をアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してください。
- 通知領域に［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（ ）が表示されている ExpressCard を取りはずす場合、ExpressCard の使用停止は必ず行ってください。使用停止せずに ExpressCard を取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。

1 ExpressCard の使用を停止する

① 通知領域の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（ ）をクリックする
② 表示されたメニューから［XXXX（取りはずす ExpressCard）を安全に取り外します］をクリックする
③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、［閉じる］ボタン（ ）をクリックする

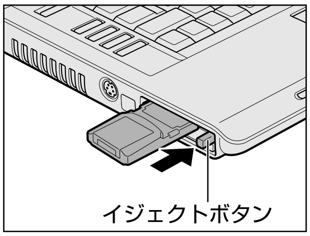
＊ 通知領域にこのアイコンが表示されない ExpressCard は、手順 1 の①〜③は必要ありません。

2 イジェクトボタンを押す



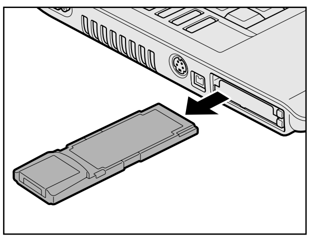
イジェクトボタンが出てきます。
カードが奥まで差し込まれていない場合、イジェクトボタンが出てこないことがあります。カードを奥まで押し込んでから、もう一度イジェクトボタンを押してください。

3 もう 1 度イジェクトボタンを押す



「カチッ」と音がするまで押してください。
カードが少し出てきます。

4 カードをしっかりとつかみ、抜く



カードを抜くときはケーブルを引っ張らないでください。故障するおそれがあります。
熱くないことを確認してから行ってください。

5 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンが収納されていない場合は、イジェクトボタンを押して収納します。

4章

バッテリ駆動で使う

パソコンをモバイル使用する際に大事な存在であるバッテリは、使いかたによっては長持ちさせることができます。
ここでは、充電や充電量の確認など、バッテリを使用するにあたっての取り扱い方法や各設定について説明しています。

1 バッテリについて

パソコン本体には、バッテリパックが取り付けられています。バッテリを充電して、バッテリ駆動（AC アダプタを接続しない状態）で使うことができます。
本製品を初めて使用するときは、バッテリパックを充電してから使用してください。
バッテリ駆動で使う場合は、あらかじめ AC アダプタを接続してバッテリパックの充電を完了（フル充電）させるか、フル充電したバッテリパックを取り付けてください。

『安心してお使いいただくために』に、バッテリパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリ駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠危 険

- **バッテリパックは、必ず本製品に付属の製品を使用すること**
  寿命などで交換する場合は、東芝製バッテリ（TOSHIBA バッテリパック：PABAS067）をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **バッテリパックを分解・改造しないこと**
  分解・改造すると、火災・破裂・発熱の原因となります。指定以外の製品や、分解・改造したものは、安全性や製品に関する保証はできません。

⚠警 告

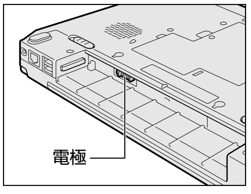
- **別売りのバッテリパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常があると思われるときは使用しないこと**
  お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

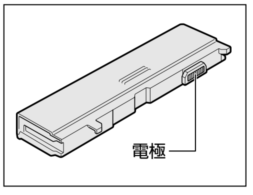
⚠注 意

- **バッテリパックの充電温度範囲内（5～35℃）で充電すること**
  充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。

お願い

- バッテリパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。スタンバイを実行している場合は、バッテリパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- 電極に手を触れないでください。故障の原因になります。





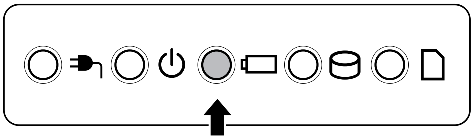
- バッテリ駆動で使用しているときは、バッテリの残量に十分注意してください。
  バッテリを使いきってしまうと、スタンバイが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時計用バッテリを使いきってしまうと、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、AC アダプタを接続してバッテリと時計用バッテリを充電してください。

① バッテリ充電量を確認する

バッテリ駆動で使う場合、バッテリの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリの充電量を確認しておく必要があります。

1 Battery LED で確認する

AC アダプタを使用している場合、Battery LED が点灯します。

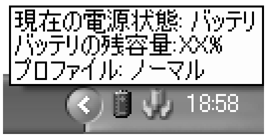


Battery LED は次の状態を示しています。

青または緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要 参照 バッテリの充電について 「本節 ② バッテリを充電する」
消灯	・バッテリが接続されていない ・AC アダプタが接続されていない ・バッテリ異常 異常の場合は、購入店または近くの保守サービスに連絡してください。

2 通知領域の [省電力] アイコンで確認する

通知領域の［省電力］アイコン（ ）の上にポインタを置くと、バッテリ充電量が表示されます。
このときバッテリ充電量以外にも、現在使用しているプロファイル名や、使用している電源の種類が表示されます。



参照 省電力設定について 《オンラインマニュアル（検索）: 省電力の設定をする》

1ヵ月以上の長期にわたり、AC アダプタを接続したままパソコンを使用してバッテリ駆動を行わないと、バッテリ充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリ充電量が減少したときは、Battery LED や［省電力］アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヵ月に 1 度は再充電することを推奨します。

参照 再充電について 「本節 ②-2 バッテリを長持ちさせるには」

3 バッテリ充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリの充電量が少なくなると、次のように警告します。

- Battery LED がオレンジ色に点滅する（バッテリの残量が少ないことを示しています）
- バッテリのアラームが動作する
  「東芝省電力」の［アクション設定］タブの［アラーム設定］で設定すると、バッテリの残量が少なくなったことを通知したり、自動的に対処する動作を行います。

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの方法で対処してください。

①パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を供給する
②電源を切ってから、フル充電のバッテリパックと取り換える

購入時は休止状態が設定されています。バッテリ減少の警告が起こっても何も対処しなかった場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

長時間使用しないでバッテリが自然に放電しきってしまったときは、警告音も鳴らず、Battery LED でも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

時計用バッテリ

本製品には、取りはずしができるバッテリパックの他に、内蔵時計を動かすための時計用バッテリが内蔵されています。
時計用バッテリの充電は、ACアダプタを接続し電源を入れているとき（電源ON時）に行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識する必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。
時計用バッテリが切れていると、時間の再設定をうながすWarning（警告）メッセージが出ます。

【 充電完了までの時間 】

状態	時計用バッテリ
電源ON（Power ⏻ LEDが青または緑色に点灯）	24時間

実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

② バッテリを充電する

充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

お願い 操作にあたって

- バッテリパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。バッテリは5～35℃の室温で充電してください。

1 充電方法

1 パソコン本体にACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む

DC IN LEDが青または緑色に点灯してBattery LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。
電源コードのプラグをコンセントに差し込むと、電源のON／OFFにかかわらずフル充電になるまで充電されます。

2 Battery LEDが青または緑色になるまで充電する

バッテリの充電中はBattery LEDがオレンジ色に点灯します。
DC IN LEDが消灯している場合は、電源が供給されていません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

メモ

- パソコン本体を長時間ご使用にならないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

【 充電完了までの時間 】
バッテリパックは消耗品です。バッテリ充電時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。周囲の温度が低いとき、バッテリパックの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けている場合、または使用中のアプリケーションによっては、この時間よりも長くかかることがあります。

状態	電源ON	電源OFF
バッテリパック	約12.0時間	約4.0時間

【 使用できる時間 】
バッテリパックは消耗品です。バッテリ駆動での使用時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。
詳細は、別紙の『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

【 バッテリ駆動時の処理速度 】
高度な処理を要するソフトウェア（3Dグラフィックス使用など）を使用する場合は、充分な性能を発揮するためにACアダプタを接続してご使用ください。

2 バッテリを長持ちさせるには

- ACアダプタをコンセントに接続したままでパソコンを8時間以上使用しない場合は、バッテリを長持ちさせるためにもACアダプタをコンセントからはずしてください。
- 1ヵ月以上の長期間バッテリを使わない場合は、パソコン本体からバッテリパックをはずして、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
- 1ヵ月に1度は、ACアダプタをはずしてバッテリ駆動でパソコンを使用してください。
その際には、パソコンを使用する前に次の方法で再充電してください。

1 **パソコン本体の電源を切る**

2 **パソコン本体からACアダプタをはずし、パソコンの電源を入れる**

電源が入らない場合は手順4へ進んでください。

3 **5分程度バッテリ駆動を行う**

この間、Battery LEDが点滅するか、充電量が少なくなったなどの警告が表示された場合は、すぐにACアダプタを接続し、手順4へ進みます。

4 **パソコン本体にACアダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ**

DC IN LEDが青または緑色に点灯してBattery LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

5 **Battery LEDが青または緑色になるまで充電する**

バッテリの充電中はBattery LEDがオレンジ色に点灯します。
DC IN LEDが消灯している場合は、通電していません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

【 バッテリを節約する 】
バッテリを節約して、本製品をバッテリ駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- こまめに休止状態にする

参照 《オンラインマニュアル（検索）：休止状態》

- 入力しないときは、ディスプレイを閉じておく

参照 《オンラインマニュアル（検索）：簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する》

- 省電力のプロファイルを設定する

参照 《オンラインマニュアル（検索）：省電力の設定をする》

③ バッテリパックを交換する

バッテリパックの交換方法を説明します。
バッテリパックの取り付け／取りはずしのときには、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。

メモ

- キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。

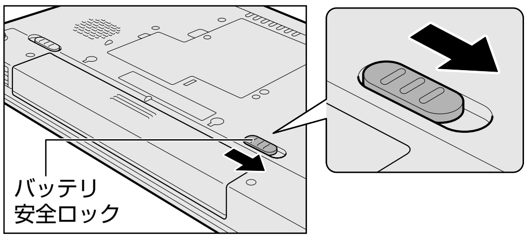
1 取りはずし／取り付け

1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る

2 パソコン本体から AC アダプタと周辺機器のケーブル類をはずす

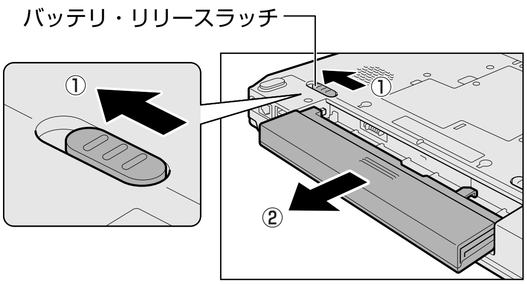
3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

4 バッテリ安全ロックを矢印の方向に引く

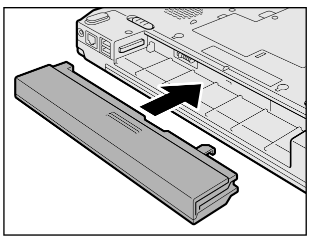


バッテリ・リリースラッチがスライドできるようになります。

5 バッテリ・リリースラッチをスライドしながら①、バッテリパックを取りはずす②

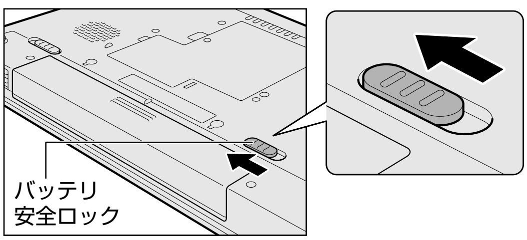


6 交換するバッテリパックを、「カチッ」と音がするまで静かに差し込む



新しいあるいは充電したバッテリパックを、バッテリ・リリースラッチが自動的にスライドして、「カチッ」という音がするまで注意して差し込んでください。

7 バッテリ安全ロックを矢印の方向にスライドする



バッテリパックがはずれないように、バッテリ安全ロックは必ず行ってください。

5章

システム環境の変更

本製品を使用するときの、システム上のさまざまな
環境を設定する方法について説明しています。

1 システム環境の変更とは

本製品は、次のようなパソコンのシステム環境を変更できます。
システム環境を変更するには、Windows 上のユーティリティで変更するか、または BIOS セットアップで変更するか、2 つの方法があります。
通常は、Windows 上のユーティリティで変更することを推奨します。

変更できる項目		Windows 上のユーティリティ
ハードウェア環境（パソコン本体）の設定		「東芝 HW セットアップ」 参照 《オンラインマニュアル（検索）：システム環境を設定する》
パスワードセキュリティの設定	ユーザパスワード	「東芝 HW セットアップ」の［パスワード］タブ 参照 《オンラインマニュアル（検索）：ユーザパスワード》
	スーパーバイザパスワード	「スーパーバイザパスワードユーティリティ」 参照 《オンラインマニュアル（検索）：スーパーバイザパスワード》
省電力の設定		「東芝省電力」 参照 《オンラインマニュアル（検索）：省電力の設定をする》

【 BIOS セットアップについて 】
BIOS セットアップは、モデルによって異なります。ご使用のパソコンにあった説明をご覧ください。

- dynabook TX/7 シリーズの場合
  参照 「本章 2 BIOS セットアップを使う － TX/7 シリーズ－」
- dynabook AX/7 シリーズの場合
  参照 「本章 3 BIOS セットアップを使う － AX/7 シリーズ－」

2

BIOSセットアップを使う

− TX/7シリーズ −

BIOS（バイオス）セットアップとは、パソコンのシステム構成をパソコン本体から設定するプログラムのことです。
次のような設定ができます。

- ハードウェア環境
（パソコン本体、周辺機器接続ポート）の設定
- セキュリティの設定
- 起動方法の設定
- 省電力の設定

メモ BIOSセットアップを使用する前の注意

- 通常、システム構成の変更はWindows上の「東芝HWセットアップ」、「東芝省電力」、「デバイスマネージャ」などで行ってください。
- 使用しているシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- BIOSセットアップで設定した内容は、電源を切っても消えません。しかし、内蔵バッテリ（時計用バッテリ）が消耗した場合は標準設定値に戻ります。

① 起動と終了／BIOSセットアップの操作

BIOSセットアップの起動と終了、基本操作について説明します。

1 起動

1 電源を入れた直後（起動時）にESCキーを押す

起動時に「dynabook」画面が表示されます。目安として、この画面が表示中にESCキーを押します。
「Password = 」と表示された場合は、登録したユーザパスワードを入力し、ENTERキーを押してください。
「Check system. Then press [F1] key.」と表示されます。

2 F1キーを押す

BIOSセットアップが起動します。

2 終了

変更した内容を有効にして終了します。

1 FN＋→キーを押す

本製品では、FN＋→キーがENDキーの機能を持ちます。
画面にメッセージが表示されます。

2 Yキーを押す

設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。
変更した項目によっては、再起動されます。

途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合に行います。この場合は変更した内容はすべて無効になります。設定値は変更前の状態のままです。

1 ESCキーを押す

画面にメッセージが表示されます。

2 Yキーを押す

BIOSセットアップが終了します。

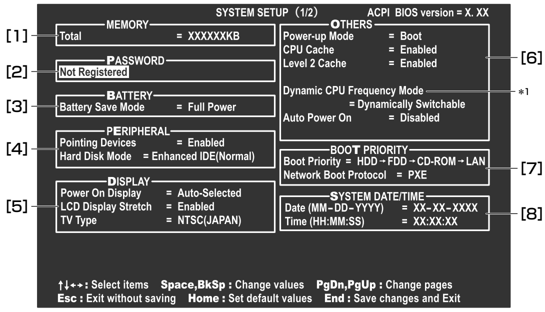
3 基本操作

基本操作は次のとおりです。

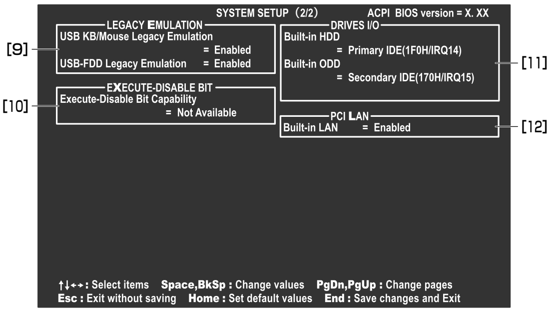
変更したい項目を選択する	↑、↓、←、→ 画面中で反転している部分が現在変更できる項目です。
項目の内容を変更する	SPACE または BACKSPACE
画面を切り替える	FN＋↓ または FN＋↑ 本製品では、FN＋↓ がPGDNキー、FN＋↑ がPGUPキーの機能を持ちます。 次の画面または前の画面に切り替わります。
設定内容を標準値にする	FN＋← 本製品では、FN＋← がHOMEキーの機能を持ちます。 次の項目は、この操作をしても変更されません。 ● PASSWORD ● Hard Disk Mode

② BIOSセットアップの画面

BIOSセットアップには次の2頁の画面があります。



＊1 Pentiumモデルのみ



（注）画面は標準設定値の表示例です。

③ 設定項目

カーソルが移動しない項目は、変更できません（参照のみ）。ここでは、標準設定値を「標準値」と記述します。

1 MEMORY

【 Total 】
本体に取り付けられているメモリの総メモリ容量が表示されます。

2 PASSWORD

【 Not Registered 】
ユーザパスワードが登録されていないときに表示されます（標準値）。

【 Registered 】
ユーザパスワードが登録されているときに表示されます。

■ ユーザパスワードの登録 ■
ユーザパスワードの登録は「東芝HWセットアップ」で行うことを推奨します。

■ ユーザパスワードの削除 ■
「東芝HWセットアップ」からの削除については《オンラインマニュアル（検索）：ユーザパスワード》を確認してください。

1 BIOSセットアップを起動する

2 「PASSWORD」の「Registered」を選び、(SPACE)または(BACKSPACE)キーを押す

パスワードが入力できる状態になります。

3 登録してあるパスワードを入力する

入力すると1文字ごとに＊が表示されます。

4 (ENTER)キーを押す

パスワードが削除され、「Not Registered」と表示されます。手順3で入力したパスワードが登録したパスワードと異なる場合は、エラーメッセージが表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。手順3からやり直してください。

■ ユーザパスワードを忘れてしまったとき ■
ユーザパスワードを忘れてしまった場合は、近くの保守サービスに相談してください。ユーザパスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

■ ユーザパスワードの変更 ■
ユーザパスワードを削除してから、登録を行ってください。

参照 ユーザパスワードの削除と登録について
《オンラインマニュアル（検索）：ユーザパスワード》

3 BATTERY

【 Battery Save Mode 】
バッテリセーブモードを設定します。
「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウが開きます。
「User Setting」を選択した場合のみ、設定の変更ができます。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの設定項目は次のように表示されます。

●Full Power（標準値）
LCD Brightness = Super-Bright＊1
Cooling Method
= Maximum Performance

●Low Power
LCD Brightness = Bright＊1
Cooling Method
= Battery Optimized

●User Setting（設定例）
LCD Brightness = Semi-Bright＊1
Cooling Method
= Battery Optimized

＊1 ACアダプタを接続している場合の表示内容です。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウを閉じるには、(↑)(↓)キーを押して選択項目を「LCD Brightness」または「Cooling Method」の外に移動します。

次に「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

● LCD Brightness（LCD輝度）
画面の明るさを選択します。

- Semi-Bright .... 低輝度に設定する
- Super-Bright ..... 最高輝度に設定する
- Bright .... 高輝度に設定する

● Cooling Method（CPU熱制御方式）
CPUの熱を冷ます方式を選択します。CPUが高熱を帯びると故障の原因になります。

- Maximum Performance
.... パソコン本体内部の温度が上昇したときに、主にファンを使用して冷却します。
- Performance
.... パソコン本体内部の温度が上昇したときに、［Maximum Performance］と［Battery Optimized］の中間的な方法で冷却します。
- Battery Optimized
.... パソコン本体内部の温度が上昇したときに、主にCPUの処理速度を落として冷却します。［Performance］より消費電力は少なくなります。

4 PERIPHERAL

【 Pointing Device 】
タッチパッドを使用する／使用しないを設定します。

- Enabled（標準値）....... 使用する
- Disabled .... 使用しない

【 Hard Disk Mode 】
ハードディスクのモードを設定します。
項目を変更する場合は、パーティションの再設定を行ってください。

- Enhanced IDE（Normal）（標準値）
.... 通常はこちらを選択する
- Standard IDE .... Enhanced IDEに対応していないOSを使用する場合に選択する
この場合、528MBまでが使用可能となり、残りの容量は使用できません。

5 DISPLAY

【 Power On Display 】
起動時のWindowsロゴを表示する表示装置を選択します。

- Auto-Selected（標準値）
.... システム起動時に外部ディスプレイを接続しているときは外部ディスプレイだけに、接続していないときは本体液晶ディスプレイだけに表示する
- LCD＋Analog RGB
.... 外部ディスプレイと本体液晶ディスプレイに同時表示する

SVGAモードに対応していない外部ディスプレイを接続して、「LCD＋Analog RGB」を選択した場合、外部ディスプレイには画面が表示されません。

【 LCD Display Stretch 】
本体液晶ディスプレイの解像度の伸張を選択します。

- Enabled(標準値) .... 解像度の小さい表示モードを伸張して表示する
- Disabled .... 解像度の小さい表示モードは伸張せずにそのまま表示する

【 TV Type 】
テレビ受信機を選択します。

- NTSC（JAPAN）（標準値）
.... 日本仕様のTV受信機
- PAL .... ヨーロッパ仕様のTV受信機
- NTSC（US）...... 米国仕様のTV受信機

6 OTHERS

【 Power-up Mode 】
レジューム機能を設定します。
本製品では「Boot」に設定されています。変更はできません。

- Boot（標準値）............. レジューム機能を無効にする

【 CPU Cache（キャッシュ）】
CPU内のキャッシュメモリを使用するかどうかの設定をします。
使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- Enabled（標準値）....... キャッシュメモリを使用する
- Disabled .... キャッシュメモリを使用しない

【 Level 2 Cache 】
2次キャッシュを使用するかどうかの設定をします。
「CPU Cache」が「Disabled」に設定されている場合は表示されません。

- Enabled（標準値）....... 2次キャッシュを使用する
- Disabled 2次キャッシュを使用しない

【 Dynamic CPU Frequency Mode 】
＊ Pentiumモデルのみ

- Dynamically Switchable（標準値）
.... CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を有効にし、使用状況に応じてCPU周波数を自動的に切り替えます。
- Always High
.... CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、CPU周波数を高周波数にしてパソコンの処理能力を優先します。
- Always Low
.... CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、CPU周波数を低い周波数にしてパソコンのバッテリ駆動時間を優先します。

【 Auto Power On（タイマ・オン機能）】
タイマ・オン機能の設定状態を示します。タイマ・オン機能は 1 回のみ有効です。起動後は設定が解除されます。Windows XP を使用している場合は「Auto Power On」の設定は無効になります。Windows のタスクスケジューラを使用してください。

- Disabled（標準値）..... タイマ・オン機能が設定されていない
- Enabled .... タイマ・オン機能が設定されている

タイマ・オン機能の設定は「OPTIONS」ウィンドウで行います。

パスワードセキュリティで設定したパスワードと休止状態が設定してある状態で、タイマ・オン機能（Auto Power On）を設定してシステムを起動させた場合、「Password=」と表示されます。パスワードセキュリティで設定したパスワードを入力すると、休止状態から Windows に復帰します。

参照 パスワードセキュリティの設定
「本章 1 システム環境の変更とは」

「OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。
アラームの時刻の設定は(SPACE) または (BACKSPACE) キーで行います。
時と分、月と日の切り替えは、(↑)(↓)キーで行います。

- Alarm Time
  自動的に電源を入れる時間を設定します。
  - Disabled .... 時間を設定しない
- Alarm Date Option
  自動的に電源を入れる月日を設定します。
  「Alarm Time」が「Disabled」の場合は、設定できません。
  - Disabled .... 月日を設定しない

7 BOOT PRIORITY

【 Boot Priority 】
システムを起動するディスクドライブの順番を設定します。通常は「HDD → FDD → CD-ROM → LAN」に設定してください。

- HDD → FDD → CD-ROM → LAN（標準値）
- FDD → HDD → CD-ROM → LAN
- HDD → CD-ROM → LAN → FDD
- FDD → CD-ROM → LAN → HDD
- CD-ROM → LAN → HDD → FDD
- CD-ROM → LAN → FDD → HDD

（FDD → HDD → CD-ROM → LAN 以下の 5 項目：指定のドライブ順に起動する）

【 Network Boot Protocol 】
ネットワークからの起動について設定します。

- PXE（標準値）......... PXE プロトコルに設定する
- RPL .... RPL プロトコルに設定する

8 SYSTEM DATE/TIME

日付と時刻の設定は(SPACE) または (BACKSPACE)キーで行います。
月と日と年、時と分と秒の切り替えは、(↑)(↓)キーで行います。

【 Date 】
日付を設定します。

【 Time 】
時刻を設定します。

9 LEGACY EMULATION

【 USB KB/Mouse Legacy Emulation 】
USB キーボードやマウスのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- Enabled（標準値）
  .... レガシーサポートを行う
  ドライバなしで USB キーボード／ USB マウスが使用できます。
- Disabled
  .... レガシーサポートを行わない

【 USB-FDD Legacy Emulation 】

- Enabled（標準値）
  .... レガシーサポートを行う
  ドライバなしで USB フロッピーディスクドライブが使用できます。フロッピーディスクから起動する場合は、こちらに設定します。
- Disabled
  .... レガシーサポートを行わない

「USB-FDD Legacy Emulation」が「Enabled」に設定されていても、[7]「BOOT PRIORITY」の「Boot Priority」が標準値の「HDD → FDD → CD-ROM → LAN」の場合は、本体ハードディスクから起動します。

10 EXECUTE-DISABLE BIT

【 Execute-Disable Bit Capability 】
エグゼキュート・ディスエーブル・ビット機能を有効にするかどうかを設定します。
エグゼキュート・ディスエーブル・ビット機能とは、コンピュータウイルスや不正アクセスによるバッファ・オーバーフロー攻撃からパソコンを守るために、セキュリティを強化する機能です。

- Available .... 有効にする
- Not Available（標準値）....... 無効にする

11 DRIVERS I/O

【 Built-in HDD 】
ハードディスクドライブのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。変更はできません。

【 Built-in ODD 】
ドライブのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。変更はできません。

12 PCI LAN

【 Built-in LAN 】
内蔵 LAN の機能を有効にするかどうかの設定をします。

- Enabled（標準値）....... 有効にする
- Disabled .... 無効にする

3

BIOS セットアップを使う

－ AX/7 シリーズ －

BIOS（バイオス）セットアップとは、パソコンのシステム構成をパソコン本体から設定するプログラムのことです。
次のような設定ができます。

- ハードウェア環境
（パソコン本体、周辺機器接続コネクタ）の設定
- セキュリティの設定
- 起動方法の設定

メモ BIOS セットアップを使用する前の注意

- 通常、システム構成の変更は Windows 上の「東芝 HW セットアップ」、「東芝省電力」、「デバイスマネージャ」などで行ってください。
- 使用しているシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- BIOS セットアップで設定した内容は、電源を切っても消えません。しかし、内蔵バッテリ（時計用バッテリ）が消耗した場合は標準設定値に戻ります。

① 起動と終了／BIOS セットアップの操作

BIOS セットアップの起動と終了、基本操作について説明します。

1 起動

1 電源を入れた直後（起動時）にF2キーを押す

起動時に、「dynabook」画面が表示されます。
目安として、この画面表示中にF2キーを押します。

パスワードを設定している場合は、画面の指示に従って登録したパスワードを入力し、ENTERキーを押してください。

参照 パスワードについて 「本節 ② パスワードの設定」

BIOS セットアップが起動します。
起動できなかった場合は、通常の終了操作を行ってパソコン本体の電源を切り、手順 1 をやり直してください。

2 終了

1 ［終了］メニューを表示する

2 終了方法を選択する

3 画面の指示に従って BIOS セットアップを終了する

Windows が起動します。

3 基本操作

基本操作は次のとおりです。

メニューを選択する	←または→ 上段のメニュー名が反転している部分が現在表示しているメニュー画面です。
変更したい項目を選択する	↑または↓ 画面の中で反転している部分が現在変更できる項目です。
サブメニューや設定値の一覧を表示する	ENTER
項目の内容を変更する	SPACE、F5、F6
設定内容を標準値にする	F9 「デフォルト値をロードしますか？」というメッセージが表示されます。「はい」を選択し、ENTERキーを押してください。 パスワードはこの操作をしても削除されません。
設定を保存し、BIOS セットアップを終了する	F10 「設定の変更を保存して終了しますか？」というメッセージが表示されます。保存する場合は「はい」を選択し、ENTERキーを押してください。 BIOS セットアップ終了後、Windows が起動します。 保存しない場合は「いいえ」を選択し、ENTERキーを押してください。
［終了］メニューを表示する	ESC サブメニュー表示中は 1 つ前の画面に戻ります。
BIOS セットアップのヘルプを表示する	F1

以上のキー操作で、各項目を設定してください。

② パスワードの設定

パスワードの設定は、Windows 上の「東芝 HW セットアップ」または「スーパーバイザパスワードユーティリティ」で行うことをおすすめします。

参照 「東芝 HW セットアップ」
《オンラインマニュアル（検索）：ユーザパスワード》

参照 「スーパーバイザパスワードユーティリティ」
《オンラインマニュアル（検索）：
スーパーバイザパスワード》

1 登録

1 BIOS セットアップを起動する

2 ［セキュリティ］メニューを表示する

パスワードが登録されている場合は、［ユーザパスワードは］または［スーパバイザパスワードは］に「設定」と表示されます。

3 カーソルバーを［ユーザパスワード設定］または［スーパバイザパスワード設定］に合わせ、ENTERキーを押す

パスワード設定画面が表示されます。

4 ［新しいパスワードを入力して下さい。］にパスワードを入力する

パスワードは 10 文字以内で入力します。パスワードに使用できる文字は、「東芝 HW セットアップ」の場合と同様です。
入力したパスワードはセキュリティ保護のため、表示されません。よく確認してから入力してください。
アルファベットの大文字と小文字は区別されません。

5 ENTERキーを押す

［新しいパスワードを確認して下さい。］にカーソルバーが移動します。

6 もう 1 度新しいパスワードを入力する

パスワードは手順 4 と同じパスワードを入力してください。

7 ENTERキーを押す

［セットアップ通知］画面が表示されます。2 回目のパスワードが 1 回目のパスワードと異なる場合は、［セットアップ警告］画面が表示されます。ENTERキーを押して、手順 4 からやり直してください。

8 ENTERキーを押す

パスワードが設定され、登録した［ユーザパスワードは］または［スーパバイザパスワードは］に「設定」と表示されます。

メモ

- ここで設定したパスワードは、パソコンまたは BIOS セットアップを起動する場合に使用します。インスタントセキュリティ状態を解除する場合は Windows のログオンパスワードを使用します。

2 変更／削除

1 BIOS セットアップを起動する

パスワード入力画面が表示されます。

2 パスワードを入力し、ENTERキーを押す

スーパーバイザパスワードを変更／削除する場合は、スーパーバイザパスワードを入力してください。ユーザパスワードを入力すると、変更／削除できるのはユーザパスワードのみです。

3 ［セキュリティ］メニューを表示する

4 カーソルバーを、削除する［ユーザパスワード設定］または［スーパバイザパスワード設定］に合わせ、ENTERキーを押す

5 ［現在のパスワードを入力して下さい。］に登録してあるパスワードを入力する

パスワードは画面で確認できません。

6 ENTERキーを押す

入力したパスワードが登録されているパスワードと異なる場合は、［セットアップ警告］画面が表示されます。ENTERキーを押してもう 1 度入力してください。
パスワードの入力エラーが 3 回続いた場合は、自動的に電源が切れます。パソコン本体の電源を入れ直し、もう 1 度設定を行ってください。

7 ［新しいパスワードを入力して下さい。］に新しいパスワードを入力する

パスワードを削除する場合は、何も入力しません。

8 ENTERキーを押す

9 ［新しいパスワードを確認して下さい。］に手順 7 と同じパスワードを入力する

パスワードを削除する場合は、何も入力しません。
入力したパスワードが手順 7 で入力したパスワードと異なる場合は、［セットアップ警告］画面が表示されます。ENTERキーを押して手順7からやり直してください。

10 ENTERキーを押す

［セットアップ通知］画面が表示されます。

11 ENTERキーを押す

パスワードが変更されます。
新しいパスワードを入力しなかった場合はパスワードが削除され、［ユーザパスワードは］または［スーパバイザパスワードは］に「クリア」と表示されます。
スーパーバイザパスワードを削除すると、ユーザパスワードも同時に削除されます。

3 パスワードの入力

パスワードが設定されている場合、パソコンまたはBIOSセットアップ起動時にパスワード入力画面が表示されます。この場合は、次の手順を行ってパソコンまたはBIOSセットアップを起動します。

1 設定したとおりにパスワードを入力し、ENTERキーを押す

Arrow Mode LED、Numeric Mode LEDは、パスワードを設定したときと同じ状態にしてください。
パスワードの入力ミスを3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

メモ

- BIOSセットアップの設定を変更する場合は、スーパーバイザパスワードを入力して起動してください。ユーザパスワードを入力して起動すると、変更できる項目に制限があります。

4 パスワードを忘れてしまった場合

パスワードを忘れてしまった場合は、近くの保守サービスに相談してください。パスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

6章

パソコンの動作がおかしいときは

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。
「dynabook.com」で情報を調べる方法なども紹介しています。
トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

1 トラブルを解消するまでの流れ

お使いのパソコンに起こったトラブルについて、解決方法を見つけていきましょう。

① トラブルの原因をつき止めよう

パソコンに起こるトラブルは、その原因がどこにあるかによって解決策が異なります。そのために、パソコンの構造をある程度知っておくことが必要です。ここでは、パソコンの構成と、それぞれの構成部分で起こるトラブルの例、その解決方法を紹介します。

【 パソコンを構成する３つの部分 】

アプリケーションソフトウェア	OS（オペレーティングシステム）	パソコン本体（ハードウェア）
メール、インターネット、Word（文書作成ソフト）、Excel（表計算ソフト）、ウイルスチェックソフトなど ＊ それぞれ製造元が異なります。	パソコンのOS Windows（OS） ドライバ（周辺機器） ドライバ ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、マウスなど	画面（ディスプレイ）、キーボード、バッテリ、ACアダプタ、ハードディスク、CPUなど

パソコンはこれらの高度な技術の集合体です。トラブルの原因がそれぞれの製造元にしかわからない場合も多くあります。トラブルの症状にあわせた対処をすることが解決への早道です。
トラブルの解決には、最初に原因の切り分けを行います。一般的にはアプリケーションソフトウェア→ OS、ドライバ→パソコン本体の順にチェックします。

STEP 1　アプリケーションソフトウェアのチェック

例１： メールやインターネットがつながらない
アクセスポイントやメールサーバ、ID、パスワードなどの設定を確認します。これらの設定は契約プロバイダごとに異なります。契約プロバイダから指定された設定データが正しくパソコンの設定に反映されているかを確認してください。

例２： 使いかたがわからない
同梱されているマニュアルやオンラインマニュアルを読んで、アプリケーションソフトの使いかたを確認します。

次頁Aへ

STEP 2　OS やドライバのチェック

例３： 正常に画面が表示されない、音が出ない、設定があっているのにインターネットにつながらない

例４： 青い画面で「STOPOX********」（一般に「STOP エラー」や「ブルースクリーン」「ブルーパニック」とよばれる画面）が表示された
周辺機器やソフトをインストールしたあとに起こることが多いものです。その前に行った作業を一度元に戻すことでトラブルが解決する場合が少なくありません。

次頁Bへ

STEP 3　パソコン本体のチェック

例５： 電源ランプが点灯せず、パソコンがまったく動かない。ドライバを入れ直しても機器が動かない
パソコン本体が動作する場合は、「リカバリ（再セットアップ）」を行ってください。「リカバリ」は、ハードディスクのデータが消えるため、バックアップを行うことをおすすめします。

次頁Cへ

A 各アプリケーションのトラブル解消法／プロバイダへのお問い合わせ

例 1： プロバイダへのお問い合わせについて
お客様ご契約のプロバイダの窓口へお問い合わせください。
プロバイダサインアップソフトから契約できるプロバイダのお問い合わせ先は「本章 5-③ プロバイダの問い合わせ先」を参照してください。

例 2： アプリケーションの使いかたについて
『オーディオ＆ビジュアルガイド』、オンラインマニュアルなどや、各アプリケーションのヘルプをご確認いただくか、各アプリケーションのサポート窓口へお問い合わせください。

参照 「本章 5 問い合わせ先」

B OS、ドライバのトラブル解消法

例 3： ドライバの入れ直しについて
「3 章 1-① ドライバをインストールする」を参照してください。

例 4： トラブル解消によく使う操作について
「本章 2 トラブル解消によく使う操作」や「本章 3 問題の切り分け方法」を参照してください。

例 4： 周辺機器の取りはずしについて
「3 章 周辺機器を使って機能を広げよう」を参照してください。

追加した周辺機器をはずしてみてはどうか、追加したソフトを削除してはどうかなどと試してみてください。

⇩

それでもトラブルが解消しない場合には、「東芝 PC ダイヤル」へお問い合わせください。

参照 「本節 ③ 電話で問い合わせる」

C パソコン本体のトラブル解消法

例 5：必要なデータのバックアップをとる操作について
『セットアップガイド 4 章 大切なデータを失わないために』を参照してください。

例 5：リカバリについて
『セットアップガイド 5 章 買ったときの状態に戻すには』を参照してください。

⇩

それでもトラブルが解消しない、あるいはまったくパソコンが動かない場合は、パソコン本体が故障している可能性があります。パソコンの修理は、「東芝 PC 集中修理センタ」へ依頼してください。

パソコンの操作について、困ったときは、「東芝 PC ダイヤル」へお問い合わせください。

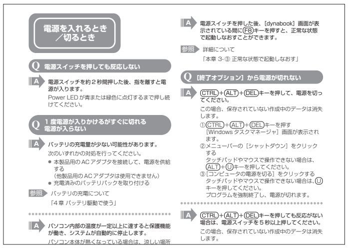
参照 「本節 ④ 修理に出す」
参照 「本節 ③ 電話で問い合わせる」

Q&A や同梱マニュアル、FAQ の紹介

パソコンのトラブルの原因は多岐にわたるため、ここですべてを紹介することはできません。それぞれのお問い合わせ先／サポート窓口にご連絡いただく前に、次に紹介する情報をご活用ください。

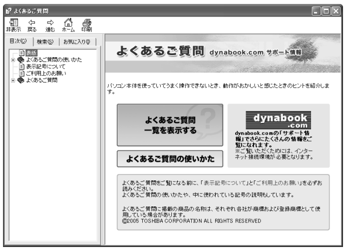
Q&A 形式での説明は、本書、オンラインマニュアルの「QA 集」「よくあるご質問」にあります。

【「Q&A集」】



よくお問い合わせのあるパソコントラブルの解決方法を、Q&A 形式で説明しています。

【 よくあるご質問　dynabook.com サポート情報 】



「よくあるご質問」は、「東芝 PC ダイヤル」に特に問い合わせの多い項目をまとめていて、インターネットに接続しなくても見ることができます。本製品の電源を入れた状態でデスクトップの［よくあるご質問］アイコンをダブルクリックすると起動できます。

【 オンラインマニュアル 】



オンラインマニュアルは、アプリケーションの紹介や知っておくと便利なこと、Q&A 形式の「QA 集」など、さまざまな情報を検索できます。オンラインマニュアルは本製品の電源を入れた状態でデスクトップの［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックすると起動できます。

「本章 4 Q&A 集」《オンラインマニュアル（検索）: QA 集》

【 よくあるご質問 (FAQ) 】

インターネットへ接続して、「あなたの dynabook.com」や東芝パソコンのサポート情報ページにある「よくあるご質問 (FAQ)」で解決方法を検索できます。

参照 「本節 ② トラブル事例を見てみる」

モジュールのダウンロード

インターネットへ接続して、「あなたの dynabook.com」や東芝パソコンのサポート情報ページからドライバ、BIOS、アプリケーションなどさまざまなモジュールを検索し、ダウンロードすることができます。最新モジュールをインストールすることで、パソコンのトラブルを解決できるケースがあります。

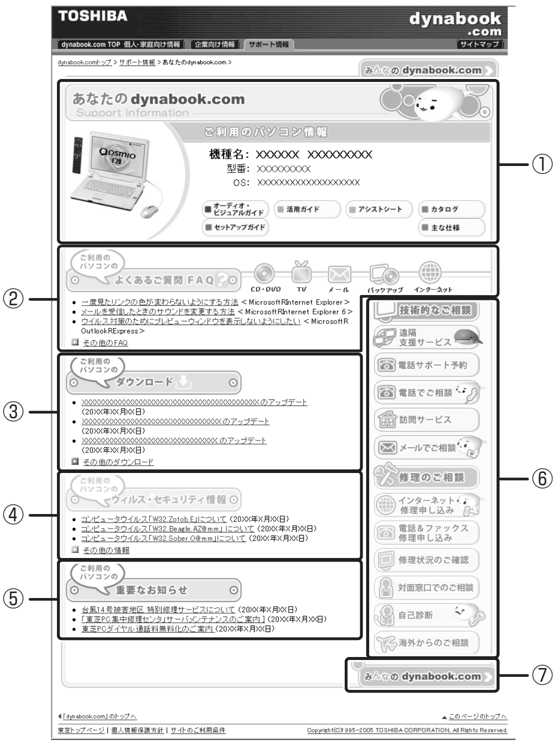
参照 「本節 ② トラブル事例を見てみる」

② トラブル事例を見てみる

1 「あなたのdynabook.com」を見る

「あなたの dynabook.com」では、ご利用のパソコンの「よくあるご質問（FAQ)」、デバイスドライバや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などをご覧になれます。
ご利用のパソコンに関する情報だけが表示されるので、目的の情報を簡単に探すことができます。また、サポート窓口や修理についても案内しています。
「あなたの dynabook.com」を表示するには、デスクトップ上の  をクリックすると、説明の画面が表示されますので、「http：//dynabook.fresheye.com/cgi-bin/login.cgi」をクリックしてください。
メッセージが表示された場合は、画面に従ってください。

＊「あなたの dynabook.com」に表示されるボタン・内容は機種によって異なります。
　本書に記載している画面は、表示例です。



（表示例）

①ご利用のパソコンの情報
　ご利用のパソコンの情報やマニュアルなどが表示されます。
②よくあるご質問（FAQ）
　日頃、よく寄せられる質問について、サポートスタッフが図や解説を交えて解決方法を掲載しています。
　タイトルの右にあるカテゴリのアイコンをクリックすると、そのカテゴリに関する FAQ だけを表示できます。
③ダウンロード
　デバイスドライバや修正モジュールをダウンロードできます。
④ウイルス・セキュリティ情報
⑤重要なお知らせ
⑥技術的なご相談 / 修理のご相談
　サポート窓口や修理窓口のページにアクセスできます。
⑦「みんなの dynabook.com」ボタン
　クリックすると、東芝パソコン全体のサポート情報のページが表示されます。

2 東芝パソコンのサポート情報ページを見る

東芝パソコン全体の「よくあるご質問（FAQ）」、デバイスドライバや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などをご覧になれます。

URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

次の方法でも表示できます。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［インターネット］をクリックする

Internet Explorer が起動します。
購入時の状態では、起動して最初に東芝パソコンのサポート情報ページが表示されるように設定されています。

参照 インターネットの接続について 《できる dynabook 第３章 dynabook をインターネットにつなごう》

【 パソコンの操作に困ったら「よくあるご質問（FAQ）」】
「よくあるご質問（FAQ）」では、日頃、よく寄せられる質問について、サポートスタッフが、図や解説をまじえて解決方法を掲載しています。



（表示例）

キーワード検索では、条件の選択やキーワードや文章を入力して、検索できます。



（表示例）

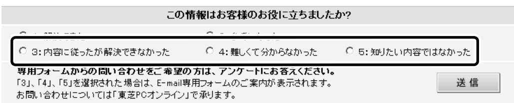
サポート情報は、最新情報を掲載するため、内容を変更することがあります。

【 メールで質問する「東芝PCオンライン」】
「よくあるご質問（FAQ）」を探しても問題が解決できないときは、専用フォームからお問い合わせください。24 時間 365 日いつでも受け付けており、サポート料は無料です。
ご利用には「お客様登録」が必要ですので、事前に登録をしてください。

参照 『セットアップガイド 6 章 1-① 東芝 ID（TID）お客様登録のおすすめ』

1 「よくあるご質問（FAQ）」で解消方法を探す

2 「A. 回答・対処方法」の説明の後のアンケートに答える



「3」「4」「5」のいずれかの項目にチェックをつけてください。「1」「2」の項目を選択すると、メールでのお問い合わせはできません。

3 ［送信］ボタンをクリックする

PC オンラインへのリンク画面が表示されます。

4 **「東芝 PC オンライン」をクリックする**

画面の指示に従って専用フォームからご質問ください。
メールにてご回答させていただきます。
質問内容、お問い合わせ状況により、回答にお時間をいただくことがございます。ご了承ください。
この他、アプリケーションの取り扱い元では、ホームページに情報を掲載している場合があります。アプリケーションについて知りたいことがあるときは、ホームページを確認するのも良いでしょう。

参照 ホームページアドレスについて 「本章 5 問い合わせ先」

【 モジュールのダウンロード 】
デバイスドライバや修正モジュールをダウンロードできます。
「ダウンロード」から検索できます。[キーワード検索]では、本製品のシリーズ名などを選択すると、モジュールの情報が一覧表示されます。
OS をアップグレードしたい場合は、OS にあったモジュールをダウンロードしてください。



(表示例)

メモ

- 相談窓口や PC のリサイクル、お客様登録については、本章の以降のページや『セットアップガイド 6 章』にも詳しく紹介されています。

③ 電話で問い合わせる

パソコンの操作について、困ったときは、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。技術的な質問、問い合わせに電話で対応します。

全国共通電話番号

0120-97-1048 (通話料・サポート料無料)

受付時間：9:00 〜 19:00(年中無休)

[電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください]

海外からの電話、携帯電話、PHS、または直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。
その場合は Tel 043-298-8780(通話料お客様負担)にお問い合わせください。

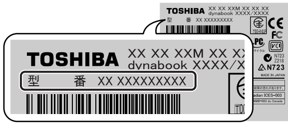
- 東芝 PC 電話サポート予約サービス
  19:00 〜 24:00 の時間帯に電話サポートをご希望のお客様には、東芝 PC ダイヤルからご希望の時間帯にお電話を差し上げます。
  インターネットから電話サポート予約サービスをご利用ください。(定員制)
  http://dynabook.com/assistpc/
  本サービスのご利用には「お客様登録」が必要です。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝 PC ダイヤル」(http://dynabook.com/assistpc/techsupport/dial.htm) にてお知らせいたします。

1 トラブルチェックシート

東芝 PC ダイヤルでは電話での本製品の技術的な質問、お問い合わせにお答えいたします。円滑に対応させていただくために、次の内容をまとめ、お手元にお使いのパソコンをご用意のうえ、お問い合わせください。

Q.1 使用しているパソコンの型番は？
型番は本体裏面のラベルに記載されています。



Q.2 使用しているソフトウェア環境は？
Windows XP など、使用しているシステムとアプリケーションは？
システムのバージョンや CPU の種類を「東芝 PC 診断ツール」で確認してください。

Q.3 どのような症状が起こりましたか？
なるべく具体的にお知らせください。

Q.4 その症状はどのような操作をした後、発生するようになりましたか？
なるべく具体的にお知らせください。

Q.5 エラーメッセージなどは表示されましたか？
表示された場合、表示内容をお知らせください。

Q.6 その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？
□ 一度発生したが、その後発生しない
□ 常に発生する
□ 電源を切らないと発生するが、
　電源を切ってから再起動すれば発生しない
□ 電源を切ってから再起動しても必ず発生する
□ その他：

Q.7 その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？
□ ある一定の操作をすると発生する
□ どんな操作をしても発生する
□ その他：

Q.8 インターネットや通信に関する相談の場合
プロバイダ名：
使用モデム名：
使用回線：□ ブロードバンド
　　　　　□ ダイヤルアップ接続
　　　　　□ ISDN 接続
　　　　　□ 携帯電話・PHS 接続

Q.9 周辺機器に関する相談の場合
機器名（製品名）：
メーカー名：

2 遠隔支援サービス

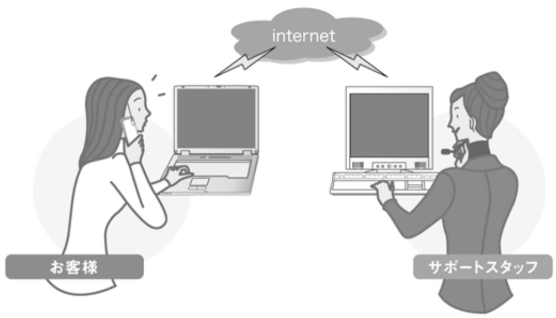
URL：http://dynabook.com/assistpc/remote/index_j.htm

「遠隔支援サービス」は、お客様のパソコン画面をサポートスタッフがインターネット経由で拝見しながら、技術サポートを行うサービスです。実際のパソコン操作は、サポートスタッフからの電話とお客様のパソコンに表示されるマーカの指示に従い、お客様ご自身で行っていただきます。

メモ

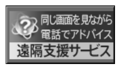
- 本サービスの利用を希望される場合は、事前に東芝 PC ダイヤルにご相談をお願いします。ご相談されずに本サービスを利用することはできません。
- 画面の画像情報を通信するためにブロードバンド回線（ADSL など）が必要となります。また、電話にてサポートを行うため、インターネットと同時に電話が接続できることも必須となります。
- 本サービスでは、画面情報のみ送信されます。画面に表示されない限り、スタッフがパソコン本体に保存されている情報を見ることはできません。また、本サービスはセキュリティ対策を行っております。情報は暗号化されて送られ、個人情報の漏洩などのおそれはありません。
- 本サービスでは、お客様のパソコンに操作案内用のマーカを表示するためのデータを送りますが、お客様のパソコンの内部データを書き換えることは一切ありません。
- 本サービスは登録が不要です。同意事項を了承いただくことで、利用できます。本サービスは無償サービス*です。

＊ インターネットに接続するための費用などは、お客様の負担となります。



お客様
電話やマーカなどによる案内に従い、お客様ご自身でパソコンを操作していただきます。

東芝 PC ダイヤル
お客様のパソコンの画面を東芝 PC ダイヤル側で拝見します。その画面を見ながら、的確な操作方法を電話でお伝えします。

「遠隔支援サービス」に接続する場合は、インターネットに接続してからデスクトップ上の 

をクリックし、表示された画面の  をクリックしてください。

詳しい接続方法、動作環境なども記載しております。

④ 修理に出す

パソコンの修理のお申し込みは、東芝 PC 集中修理センタに連絡してください。

デスクトップ上の［東芝PC 集中修理センタ 修理申し込み PC i-repair サービス］をクリックすると、東芝 PC 集中修理センタの説明画面が表示されますので、そちらでもご確認いただけます。
修理のお申し込み方法には、次の３つがあります。

お申し込み方法

■インターネット

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm からお申し込みください。

■ Fax
「修理依頼シート」（同梱の『東芝 PC サポートのご案内』に記載）に必要事項を記入のうえ、

Fax 043–278–8137 に送付してください。

＊ Fax 番号は、おまちがえのないよう、お確かめのうえおかけください。

「修理依頼シート」は当センタのホームページ

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/index_j.htm からも印刷できます。

■電話

通話無料番号　ハロー　クイックニ

TEL 0120–86–9192

受付時間 9:00 〜 22:00（特別休日、12/31 〜 1/3 を除く）
海外からの電話、携帯電話、PHS または直収回線など回線契約によってつながらない場合は

TEL 043–278–8122（通話料お客様負担）までご連絡ください。

＊ 電話番号は、おまちがえのないよう、お確かめのうえおかけください。

> ピックアップサービス
> 修理の際は、簡単・便利な「ピックアップサービス」をご利用ください。
> 輸送業者がパソコン輸送専用の梱包箱を持参してご自宅まで伺い、面倒な梱包から引き取り、修理完了後の納品まで行います。
> ※「保証修理」「有料修理」ともに「ピックアップサービス」料金は「無料」です。

【 お申し込みの際、必ずご確認ください 】

- 保証期間中に故障した場合、保証書に記載の「保証修理規定」に従い、無料修理をさせていただきます。
- 修理依頼の際は、記憶装置内の内容は保証いたしません。必ずバックアップをお取りください。また、修理にともなうハードディスクの修理・データの初期化（標準出荷状態）の際は、記憶装置内の内容が消去されることをあらかじめご了承ください。
- その他詳細につきましては、当センタのホームページ（http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/index_j.htm）に記載の「修理規約」をご覧ください。
- お客様のプライバシー・個人情報の保護については、「個人情報保護方針」（http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm）をご覧ください。

2 トラブル解消によく使う操作

トラブルを解消するために、パソコンの設定を変更する必要がある場合があります。ここでは、パソコンの設定を変更するときによく使う操作を説明します。

メモ コントロールパネルを開くには

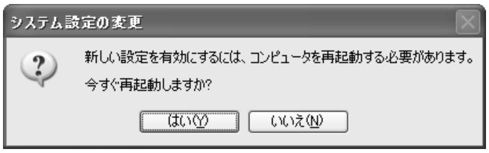
- コントロールパネルとは、パソコンのいろいろな設定をまとめたフォルダです。パソコンの設定を変更したいときには、まずコントロールパネルを開き、その中から目的の設定を行うオプション画面を選ぶことがよくあります。
  コントロールパネルを開くには、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
  [コントロールパネル] 画面には、目的のカテゴリを選択する画面（カテゴリ表示）と、すべてのオプションから選択する画面（クラシック表示）の２種類があります。２つの画面は互いに切り替えることができます。
  ＊ 本書では、カテゴリを表示しているという前提で、操作の説明をしています。

参照 カテゴリ表示とクラシック表示の切り替え 《オンラインマニュアル（検索）：コントロールパネルの使いかた》

① パソコンを再起動する

再起動とは、１度パソコン本体の電源を切り、自動的に再び電源を入れることです。設定を変更した後に、設定を有効にするにはパソコンの再起動が必要な場合があります。
システムが次に起動したときから設定が適用されます。

1 「再起動しますか？」と表示された場合の方法



設定を変更した後に、次のようなメッセージが表示される場合があります。

1 [はい] ボタンをクリックする

パソコンが再起動します。

2 自分で再起動する方法

1 [スタート] ①→ [終了オプション] をクリックする②



2 [再起動] をクリックする



3 問題の切り分け方法

① パソコンの情報を見る／状態を診断する

使用中のパソコンにどのような機能があるか、また調子が悪い場合はどこに問題があるのかを「東芝 PC 診断ツール」で調べることができます。

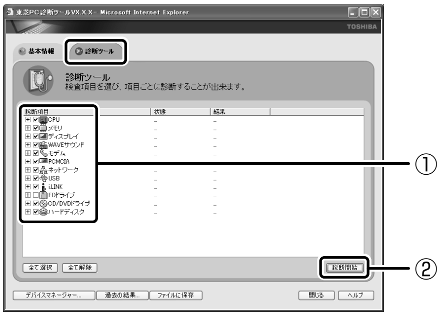
1 起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［PC 診断ツール］をクリックする

「東芝 PC 診断ツール」が起動します。

2 パソコンを診断する

1 ［診断ツール］タブで診断する項目をチェックし①、［診断開始］ボタンをクリックする②



確認のメッセージが表示されます。

2 ［はい］ボタンをクリックする

チェックした項目を上から順番に診断します。
チェック項目によっては、診断中にメッセージが表示されますので、確かめて［はい］または［いいえ］／［OK］または［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
診断が終了すると、メッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。結果が表示されます。
問題があった場合は、［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。ヘルプファイルが起動し、主な解決方法が表示されます。
［ハードディスク］を診断すると、フォーマットされていない装置は「問題あり」と表示されます。必要に応じて、フォーマットしてください。

3 診断結果を保存する

診断結果をファイルに保存できます。

1 ［ファイルに保存］ボタンをクリックする

2 ファイルの保存場所とファイル名を指定し、［保存］ボタンをクリックする

確認のメッセージが表示されます。

3 ［はい］ボタンをクリックする

指定した場所にファイルが保存されます。

4 システムに関する情報を表示する

1 ［東芝 PC 診断ツール］画面で、［基本情報］タブをクリックする

本製品の基本情報が表示されます。



表示される内容は、「東芝 PC 診断ツール」を起動した時点での設定内容です。設定を変更した場合は、パソコン本体を起動しなおすと変更後の設定内容が表示されます。ただし、［CPU］の項目には、搭載されている CPU の最大クロック数（固定値）が表示され、これはユーティリティなどによる設定値には影響されません。

ヘルプの起動方法

1 「東芝 PC 診断ツール」を起動後、［ヘルプ］ボタンをクリックする

② システム構成ユーティリティを使う

Windows XP の動作が不安定な場合や動きが遅い場合、常駐アプリケーションや不要なサービスが影響を与えている場合があります。
「システム構成ユーティリティ」を使用し、これらのプロセスを停止することで影響の有無を確認することができます。

お願い　操作にあたって

- 表示されるサービスやプログラムの中には、Windows の動作に必要不可欠なものもあり、停止すると、Windows が正常に機能しなくなる場合があります。操作が不安な場合は東芝 PC ダイヤルまでお問い合わせください。

システム構成ユーティリティの操作方法

1 ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする

2 「MSCONFIG」と入力する

3 ［OK］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



6章 パソコンの動作がおかしいときは

4 ［診断スタートアップ］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

Windowsを再起動します。
必要最低限のシステム構成でWindowsが起動しますので、動作の確認を行います。
「サービス」タブ、「スタートアップ」タブを開くと、一つ一つのサービスや、プログラムを選択することができます。
チェック（☑）をはずしたプロセスは、次回Windows起動時より常駐しなくなります。不要なサービスやプログラムを選択して停止することができます。

③ 正常な状態で起動しなおす

周辺機器のドライバの更新中やシステム（OS）のアップデート中にトラブルが発生した場合、次の手順を行うと、前回正常に起動したときの構成でWindowsを起動できます。

1 操作方法

1 電源を入れる

2 ［dynabook］画面が表示されている間に、F8キーを押す

しばらくするとWindows拡張オプションメニューが表示されます。

3 ↑または↓キーで［前回正常起動時の構成（正しく動作した最新の設定）］を選択し、ENTERキーを押す

4 ［Microsoft Windows XP Home Edition］が反転していることを確認し、ENTERキーを押す

前回正常に起動したときの構成でWindowsが起動します。場合によっては、起動までに時間がかかります。

役立つ操作集

回復コンソールについて

Windows XPに重大なエラーが発生して起動できないような場合、回復コンソールを使って起動環境の復元やファイルの救出などを行うことができます。
回復コンソールは正常に機能しているときにインストールする必要があります。
詳しい使用方法は［スタート］→［ヘルプとサポート］をクリックして、『ヘルプとサポート センター』で「回復コンソール」を検索し、確認してください。

［回復コンソールのインストール］

①［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックする
②「C:¥WINDOWS¥I386¥WINNT32.EXE /cmdcons」と入力する
③［OK］ボタンをクリックする
［Windows セットアップ］画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。
「ファイル XXXX.... を読み込めなかったため、アップグレードオプションは現在利用できません。....」というメッセージが表示された場合は、［OK］ボタンをクリックしてください。回復コンソール開始の確認画面が表示されます。
インターネットに接続できない場合は、更新されたWindows セットアップをダウンロードすることができませんが、回復コンソールのインストールはそのまま続行することができます。

［回復コンソールの操作方法］

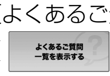
①電源を入れる
パソコンを起動したときにオペレーティングシステム一覧が表示されます。
通常、システムを起動する場合は、「Microsoft Windows XP Home Edition」を選択してください。
②「Microsoft Windows XP 回復コンソール」を選択し、ENTERキーを押す
画面のメッセージに従ってください。
③コマンドを入力する
「C:¥WINDOWS>_ 」が表示されているときに「help」を入力すると、回復コンソールで入力できるコマンドの一覧が表示されます。
各コマンドの説明については［スタート］→［ヘルプとサポート］をクリックして、『ヘルプとサポート センター』でご確認ください。
回復コンソールを終了したい場合は「exit」と入力してください。パソコンが再起動します。

4 Q&A集

役立つ操作集

「よくあるご質問」を見てみよう

Q&A 集を見ても知りたいことが見つからない場合は、パソコンで「よくあるご質問」を見てみましょう。「東芝 PC ダイヤル」にお問い合わせが多い質問をまとめているので、パソコントラブルの解決に役立ててください。インターネットに接続しなくても閲覧できるため、操作も簡単です。

①デスクトップ上の［よくあるご質問］アイコン
（  ）をダブルクリックする
［よくあるご質問］のトップ画面が表示されます。
②［よくあるご質問一覧を表示する］ボタン
（  ）をクリックする
③10のカテゴリの中から知りたい項目をクリックする
④参照したい質問をクリックする

6章 パソコンの動作がおかしいときは

電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押しても反応しない

A 電源スイッチを約2秒間押した後、指を離すと電源が入ります。

Power LEDが青または緑色に点灯するまで押し続けてください。

Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

A バッテリの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用のACアダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について

「4章 バッテリ駆動で使う」

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスクドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていないメディアがセットされている可能性があります。

システムが入っているメディアと取り換えるか、またはドライブからメディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、強制終了してください。強制終了の方法は、「本節 電源を入れるとき／切るとき - Q ［終了オプション］から電源が切れない」を確認してください。
強制終了した後、次のように操作するとシステムが起動します。

①電源スイッチを押し、電源を入れた直後（［dynabook］画面が表示されている間）にF12キーを押す
②表示されたメニューからシステムの入っているドライブ（通常はハードディスク）を↑↓キーや←→キーで選択し、ENTERキーを押す

A 電源スイッチを押した後、［dynabook］画面が表示されている間にF8キーを押すと、正常な状態で起動しなおすことができます。

参照 詳細について

「本章 3-③ 正常な状態で起動しなおす」

Q ［終了オプション］から電源が切れない

A CTRL＋ALT＋DELキーを押して、電源を切ってください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

①CTRL＋ALT＋DELキーを押す
［Windowsタスクマネージャ］画面が表示されます。
②メニューバーの［シャットダウン］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、ALT＋Uキーを押してください。
③［コンピュータの電源を切る］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Uキーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

A CTRL＋ALT＋DELキーを押しても反応がない場合は、電源スイッチを5秒以上押してください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

Q 使用中に突然電源が切れてしまった

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

A バッテリ駆動で使用している場合、バッテリの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用のACアダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について

「4章 バッテリ駆動で使う」

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LED が青または緑色に点灯している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
SHIFTキーやCTRLキーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LED がオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

①［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
②［東芝省電力］をクリックする
③［プロファイル］で利用するプロファイルを選択する
④［基本設定］タブで［システムスタンバイ］および［システム休止状態］のチェックをはずす
⑤［OK］ボタンをクリックする

Q 間違って電源を切ってしまった

A パソコンを終了する場合は、［スタート］メニューから行います。

パソコンが処理をしている最中（Disk LED が点灯中）に電源が切れてしまうと、ハードディスクが故障する場合がありますので、正しい終了手順を守ってください。

①［スタート］→［終了オプション］をクリックする
②［電源を切る］をクリックする

正しい終了手順に従わずに強制終了した後、パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合はエラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

参照 エラーチェックの方法
「本節 その他 - Q セーフモードで起動した」

Q 電源スイッチを押した直後（「dynabook」画面が表示されている間）にF12キーを押しても、起動ドライブを変更できない

＊ TX/7 シリーズのみ

A 「スーパーバイザパスワードユーティリティ」で「HW セットアップの起動不可」が設定されている可能性があります。

「スーパーバイザパスワードユーティリティ」の［ユーザパスワードモード］で「HW セットアップの起動不可」をチェックしていると、電源スイッチを押した直後にF12キーを押しても、起動ドライブの選択ができません。「HW セットアップの起動可」をチェックしてください。

参照 スーパーバイザパスワード《オンラインマニュアル（検索）：スーパーバイザパスワード》

画面／表示

Q 画面に何も表示されない

（Power LED が消灯、またはオレンジ色に点滅している場合）

A 電源が入っていないか、スタンバイまたは休止状態になっています。

電源スイッチを押してください。

Q 電源は入っているが、画面に何も表示されない

（Power LED が青または緑色に点灯している場合）

A 表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
SHIFTキーやCTRLキーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A インスタントセキュリティ機能が働いた可能性があります。

次の操作を行ってください。

- ［画面のプロパティ］の［スクリーンセーバー］タブで［パスワードによる保護］、または［再開時にようこそ画面に戻る］をチェックしていない場合
  SHIFTキーやCTRLキーを押すか、タッチパッドを操作してください。

● ［画面のプロパティ］の［スクリーンセーバー］タブで［パスワードによる保護］、または［再開時にようこそ画面に戻る］をチェックしている場合

① SHIFTキーやCTRLキーを押すか、タッチパッドを操作する
複数のユーザで使用している場合は、ユーザ名選択画面が表示されます。
② ログオンするユーザ名をクリックする
③ Windows のログオンパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面にWindows のログオンパスワードを入力し、ENTERキーを押す

参照 Windows ログオンパスワード『セットアップガイド 1 章 5-1 他の人に使われたくないとき』

A 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。

FN＋F5キーを３秒以上押し続けてください。
表示装置が本体液晶ディスプレイに切り替わります。

参照 詳細について
「3 章 周辺機器を使って機能を広げよう」

Q 画面が暗い

A FN＋F7キーを押して、本体液晶ディスプレイ（画面）の輝度を明るくしてください＊1

FN＋F6キーを押すと、逆に、本体液晶ディスプレイの輝度は暗くなります。FNキーで本体液晶ディスプレイの輝度を変更した場合、パソコンの電源を切ったり再起動したりすると設定はもとに戻ります。

A 本体液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

「東芝省電力」には、本体液晶ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。
詳細は、「東芝省電力」のヘルプを参照してください。購入時の設定では、明るさレベルは最高に設定されています。次の手順で設定を変更してください。＊1

①［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック→［東芝省電力］をクリックする
②［プロファイル］で利用するプロファイルを選択する
③［基本設定］タブで［画面の明るさ］を設定する
［設定］ボタンをクリックすると、バッテリの残容量ごとに画面の明るさを設定できます。［解除］ボタンをクリックすると、バッテリの残容量ごとの設定は無効になります。
④［OK］ボタンをクリックする

＊1 この設定は、外部ディスプレイには反映されません。

キーボード

Q キーを押しても文字が表示されない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインタが砂時計の形（⌛）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、キーボードやタッチパッドなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q どのキーを押しても反応しない 設定はあっているが、希望の文字が入力できない

A 次の手順で［スタート］メニューから再起動してください。

①［スタート］→［終了オプション］をクリックする
②［再起動］をクリックする

A ［スタート］メニューから再起動できない場合は、CTRL＋ALT＋DELキーを押して、再起動してください。

この場合、保存されていないデータは消失します。

①CTRL＋ALT＋DELキーを押す
［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。
②メニューバーの［シャットダウン］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、ALT＋Uキーを押してください。
③［再起動］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Rキーを押してください。プログラムを強制終了し、電源が切れます。

A CTRL＋ALT＋DELキーを押して再起動できない場合は、電源スイッチを５秒以上押してください。

電源が切れます。この場合、保存されていないデータは消失します。
しばらくしてから電源を入れ直してください。
強制終了した後パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合は、エラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

参照 エラーチェックの方法
「本節 その他 - Q セーフモードで起動した」

Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。もし、液体がパソコン内部に入ったときは、ただちに電源を切り、AC アダプタとバッテリパックを取りはずして、購入店、または保守サービスにご相談ください。

保守サービスへの相談は『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

タッチパッド／マウス

＊ マウスは、モデルによっては別売りです。

Q タッチパッドやマウスを動かしても画面のポインタが動かない（反応しない）

A システムが処理中の可能性があります。

ポインタが砂時計の形（ ⌛ ）をしている間は、システムが処理中のため、タッチパッド、マウス、キーボードなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A マウスが正しく接続されていない可能性があります。

マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。マウスのプラグを正しく接続してください。

A タッチパッドのみ操作を受け付けない場合、タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。

(FN)＋(F9)キーを押して、タッチパッドを有効に切り替えてください。

参照 タッチパッドについて
「1 章 2 ポインタを動かす／ファイルを開く」

Q 光学式マウスを使用しているとき、画面のポインタが正しく動かない（正しく反応しない）

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインタがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、光沢紙、プラスチックなど）
- 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど）
- 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）

明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。

CD／DVD

Q CD／DVD にアクセスできない

A ディスクトレイがきちんとしまっていない場合は、カチッと音がするまで押し込んでください。

参照 CD／DVD のセット 『スタートガイド』

A CD／DVD がきちんとセットされていない場合は、ラベルの面を上にして、水平にセットしてください。

A ディスクトレイ内に異物がある場合は、取り除いてください。

何かはさまっていると、故障の原因になります。

A CD／DVD が汚れている場合は、乾燥した清潔な布でふいてください。

それでも汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布でふき取ってください。

参照 CD／DVD の手入れ
「1 章 3 CD や DVD を使う」

A CD／DVD を認識していない可能性があります。

ディスクトレイ LED が点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう 1 度アクセスしてください。

Q ディスクトレイ LED が消えない

A 大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。

LED が消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは作業を中断し、(CTRL)＋(ALT)＋(DEL)キーを押して再起動してください。
この場合、保存されていないデータは消失します。

参照 再起動の方法「本節 キーボード -
Q どのキーを押しても反応しない
設定はあっているが、希望の文字が入力できない」

再起動できない場合は、電源スイッチを 5 秒以上押し、電源を切ってから、もう 1 度電源を入れてください。この場合、保存されていないデータは消失します。
再起動後、同じ操作を行っても、LED が消えない場合は、電源を切り、保守サービスに連絡してください。

Q CD／DVDが取り出せない

A **パソコン本体の電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。**

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

参照 CD／DVDの取り出し 『スタートガイド』

A **次の場合は、電源が入っていてもイジェクトボタンを押してすぐにディスクトレイは出てきません。ディスクトレイLEDの点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。**

- 電源を入れた直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- 再起動した直後

A **パソコン本体の電源が入っている場合は、CD／DVDを使用しているアプリケーションをすべて終了してください。**

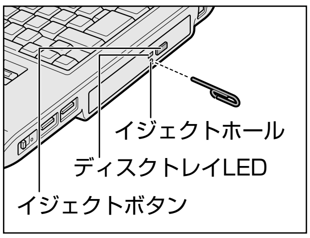
終了後、イジェクトボタンを押してください。

A **CD／DVDを使用しているアプリケーションをすべて終了していても、CD／DVDが取り出せない場合は、パソコンを再起動してください。**

再起動後、イジェクトボタンを押してください。
以上の手順でも解決できない場合は、保守サービスに依頼してください。

Q パソコン本体の電源が入らないため、CD／DVDが取り出せない

A **ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもので押してください。**



イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。電源が入らないとき以外はこの処置をしないでください。特に、パソコンの動作中は絶対にしないでください。

Q DVD-Videoをドライブにセットしたときに、再生するアプリケーションを選択する画面が表示されない

A **次の手順で設定を変更してください。**

①［マイコンピュータ］でDVDをセットしているドライブのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
②［自動再生］タブで「DVDムービー」を選択し、［動作］で［動作を毎回選択する］をチェックする
③［OK］ボタンをクリックする

参照 DVD-Videoの再生について
『オーディオ＆ビジュアルガイド』

周辺機器

周辺機器については「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」、『周辺機器に付属の説明書』もあわせて確認してください。

Q 周辺機器を取り付けているときの電源を入れる順番は？

A **周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れてください。**

USB対応機器など、周辺機器によっては、パソコン本体が起動した後に電源を入れても使うことができるものがあります。

Q 増設メモリが認識されない

A **メモリを増設しても「システム情報」などでメモリ容量の数値が変わらなかった場合、パソコンが増設メモリを認識していない可能性があります。**

「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」を参照して、増設メモリを取りはずしてから、もう1度取り付けてください。

アプリケーション

Q アプリケーションが操作できなくなった

A アプリケーション使用中に操作できなくなった場合は、次の手順でアプリケーションを強制終了してください。

終了後、もう１度アプリケーションを起動してください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

①(CTRL)+(ALT)+(DEL)キーを押す
　[Windows タスクマネージャ]画面が表示されます。
②[アプリケーション]タブで[応答なし]と表示されているアプリケーションをクリックする
③[タスクの終了]ボタンをクリックする
　アプリケーションが終了します。
④[Windows タスクマネージャ]画面で[閉じる]ボタン（ ✕ ）をクリックする

メッセージ

Q 画面に「Password=」または「パスワードを入力して下さい。」と表示された

A パスワードの入力などによる認証が必要です。

次の操作を行ってください。

①「東芝 HW セットアップ」で登録したパスワードを入力し、(ENTER)キーを押す

《オンラインマニュアル（検索）：ユーザパスワード》を参照し、パスワードを忘れた場合に備えるようにしてください。パスワードファイルを作成しておくことができます。
パスワードを忘れた場合や、パスワードファイルを作成していない場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「パスワードを忘れてしまいましたか？」「パスワードが誤っています。」と表示された

A 入力モードの状態により大文字／小文字を誤って入力した可能性があります。

Caps Lock LED を確認してください。必要に応じて(SHIFT)+(CAPS LOCK 英数)キーを押して入力の状態を切り替え、もう１度入力してください。

Q 画面が青くなり、次のようなメッセージが画面一面に表示された

- 「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」

A ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。

休止状態のまま増設メモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。

①電源スイッチを５秒以上押し、パソコンを強制終了する
②再び電源スイッチを押して、パソコンを再起動する
　「システムを前の場所から再起動できませんでした。」というメッセージが表示されます。
③「復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます」が反転表示していることを確認し、(ENTER)キーを押す
　Windows が起動します。

Q 「0271：Check data and time settings … Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示された

A 時計用バッテリが不足しています。

AC アダプタを接続して、時計用バッテリを充電してください。

参照 時計用バッテリについて
「4 章 バッテリ駆動で使う」

その後、次の手順で、BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。

①(F2)キーを押す
　BIOS セットアップ画面に移ります。
②[メイン]メニューの[言語：]で[日本語(JP)]を選択する
③(F9)キーを押す
　確認のメッセージが表示されます。
④[はい]を選択し、(ENTER)キーを押す
　BIOS セットアップが標準設定の状態になります。
⑤[メイン]メニューの[システム時刻：]で時刻を設定する
⑥[メイン]メニューの[システム日付：]で日付を設定する
⑦(F10)キーを押す
　確認のメッセージが表示されます。
⑧[はい]を選択し、(ENTER)キーを押す
　BIOS セットアップが終了し、パソコンが再起動します。

Q 「RTC battery is low or CMOS checksum is inconsistent」「Press[F1]Key to set Date/Time.」と表示された

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、AC アダプタを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて

「4 章 バッテリ駆動で使う」

AC アダプタを接続後、次の手順で BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。

①(F1)キーを押す
BIOS セットアップ画面が表示されます。
②(↑)(↓)(←)(→)キーを使って、[SYSTEM DATE/TIME] の [Date] を選択し、(SPACE)キーで日付を設定する
③手順②と同様に [Time] で時刻を設定する
④(FN)+(→)キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
⑤(Y)キーを押す
設定内容が有効になり、BIOS セットアップが終了します。パソコンが再起動します。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Update やアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について

『セットアップガイド 1 章 3-5- 日付と時刻の設定』

Q 休止状態から復帰したとき、「休止モードを準備しています」と表示された

A [コントロールパネル] の [ユーザーアカウント] → [ユーザーアカウント] → [ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する] の [ようこそ画面を使用する] がチェックされていると、休止状態から復帰したときにメッセージが表示される場合があります。

ログオンしたいユーザ名をクリックしてください。正常にログオンできます。

Q 「システムは休止状態からの復帰に失敗しました」と表示された

A 休止状態が無効になったというメッセージです。

電源を切る前の状態は再現できません。
[復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます] を選択し、(ENTER)キーを押してください。
Windows が起動します。

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing
  Press any key to restart」

A フロッピーディスクなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、「本章 1-③-1 トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。

Q C:¥ >_ のように表示された

A コマンドプロンプトが全画面表示されています。

次のいずれかの操作を行ってください。

- **コマンドプロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える**
  (ALT)+(ENTER)キーを押してください。
- **コマンドプロンプト画面を終了する**
  ① (E)(X)(I)(T)とキーを押す
  ② (ENTER)キーを押す

Q その他のメッセージが表示された

A 使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。

その他

Q セーフモードで起動した

A 周辺機器のドライバやアプリケーションが原因で不具合を起こしている可能性があります。

次の手順でエラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

①[スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする
②(C：) ドライブをクリックする
③メニューバーから [ファイル] → [プロパティ] をクリックする

④［ツール］タブの［エラーチェック］で［チェックする］ボタンをクリックする
⑤［チェック ディスクのオプション］で［不良セクタをスキャンし、回復する］をチェックする（☑）
⑥［開始］ボタンをクリックする
チェックには時間がかかります。
チェック後パソコンを再起動し、通常起動するか確認してください。

上記の操作を行っても正常に起動しない場合は、東芝PCダイヤルに連絡してください。

参照 セーフモードについて
《オンラインマニュアル（検索）：セーフモード》

Q 引っ越したときの手続きは？

A 次の変更を行ってください。

1 インターネットに接続する設定を変更する

インターネットに接続する電話回線を、引っ越し後に使用する電話回線に変更してください。
また、プロバイダのアクセスポイントは、引っ越し先の住所に最も近いアクセスポイントに変更することを推奨します。詳しくは、契約しているプロバイダに問い合わせてください。
設定は次の手順で変更できます。

● 発信元の電話番号の設定

①［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする
②［電話とモデムのオプション］をクリックする
［電話とモデムのオプション］画面が表示されます。
③［ダイヤル情報］タブで変更したい所在地を選択し、［編集］ボタンをクリックする
使用する電話回線について、次の点を確認してください。
- 登録名
引っ越し先を新たに登録したい場合は、［新規］ボタンをクリックしてください。
- ダイヤル元の市外局番
- 外線発信番号
- ダイヤル方法

④［OK］ボタンをクリックする

● 接続先の電話番号の設定

①［スタート］→［接続］→［XX（接続先）］をクリックする
［XX（接続先）へ接続］画面が表示されます。
②［プロパティ］ボタンをクリックする
［XX（接続先）プロパティ］画面が表示されます。
③［全般］タブで［電話番号］欄に、これから使用したいアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力する
④［XX（接続先）プロパティ］画面で［OK］ボタンをクリックする
⑤［ダイヤル］ボタンをクリックする
変更した設定が有効になります。
すぐに接続する必要がない場合は［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

2 東芝ID（TID）に登録した住所、電話番号などを変更する

● ホームページから変更する

東芝ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いいたします。

①インターネットで「http://room1048.jp/」へ接続する
②［ログイン］ボタンをクリックする
③［東芝ID（TID)］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
お客様専用ページにログインします。
④ページ右上の［登録情報変更］をクリックする
［登録情報変更メニュー］画面が表示されます。
⑤［個人情報とTID・パスワードの確認/変更］をクリックし、［個人情報の確認/変更］をクリックする
［個人情報の確認/変更］画面が表示されます。
変更する情報を修正してください。

● 電話で変更する

「東芝ID事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

- 東芝ID事務局（お客様情報変更）
TEL　：0570-09-1048
受付時間：10：00～17：00
（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページ、電話番号はお客様登録の内容変更、削除に関する問い合わせ窓口です。
保守サービス、修理などの技術的な相談は、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

3 契約しているプロバイダや各アプリケーションのユーザ登録などに登録した住所、電話番号などを変更する

詳しくは、各登録先に問い合わせてください。

Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のノイズフィルタを入れる
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平行フィーダを同軸ケーブルに替える

Q パソコンが応答しない

A 応答しないアプリケーションを強制終了してください。

この場合、保存されていないデータは消失します。

参照 アプリケーションの強制終了の方法

「本節 アプリケーション -

Q アプリケーションが操作できなくなった」

アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、以降の操作を行ってください。

A Windows を強制終了し、再起動してください。

システムが操作不能になったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スタンバイ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

参照 Windows の強制終了の方法

「本節 電源を入れるとき／切るとき -

Q ［終了オプション］から電源が切れない」

強制終了後、パソコン本体の電源を入れてください。

Q コンピュータウイルスに感染した可能性がある

A ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

参照 ウイルスチェックソフト

『セットアップガイド 3 章 パソコンを楽しむ』

ウイルスチェックの操作方法がわからない場合や、ウイルス駆除ができなかった場合は、ウイルスチェックソフトのメーカへお問い合わせください。

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリパックをパソコン本体から取りはずしてから購入店、または保守サービスに相談してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理の問い合わせについて

「本章 1-④ 修理に出す」、

『東芝 PC サポートのご案内』

Q この Q&A 集を読んでも解決できない

A このほかにもいろいろな解決方法があります。

1 オンラインマニュアルで調べる

オンラインマニュアルには、パソコン内の電子マニュアルを検索する機能があります。知りたい内容がこの Q&A 集に載っていない場合は、オンラインマニュアルで検索してみてください。詳細は『セットアップガイド 1 章 - 目的にあわせて使い分ける』を参照してください。

2「よくあるご質問」で調べる

dynabook.com に掲載されているサポート情報の中で、特にお問い合わせの多い項目やトラブル解決方法について記載しています。インターネットに接続できないときでも見ることができます。詳細は『セットアップガイド 1 章 - 目的にあわせて使い分ける』を参照してください。

3「dynabook.com」の「よくあるご質問（FAQ）」を調べる

インターネットに接続できるときは、東芝 PC 総合情報サイト「dynabook.com」でサポート情報を見てください。問い合わせの多い質問やホットな Q&A が掲載されています。

参照 dynabook.com

「本章 1-② トラブル事例を見てみる」

「A．回答・対処方法」の説明を読んでも問題が解決しない場合は、説明の後のアンケートに引き続き、質問メールを出すこともできます。

＊ メールでの質問には「お客様登録」が必要です。

4 東芝 PC ダイヤルに電話する

パソコン本体のトラブルは、東芝 PC ダイヤルでお答えします。『東芝 PC サポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。

参照 東芝 PC ダイヤル

「本章 1-③ 電話で問い合わせる」

『東芝 PC サポートのご案内』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A パソコン本体のトラブルの場合は、「本章 1-③-1 トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口に問い合わせてください。

参照 アプリケーションの問い合わせ先

「本章 5 問い合わせ先」

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口に問い合わせてください。

参照 周辺機器の問い合わせ先
『周辺機器に付属の説明書』

Q パソコンを廃棄したい

A 本製品を廃棄するときは、家庭で使用している場合と企業で使用している場合とで、廃棄方法が異なります。
また、ハードディスク上のデータを消去する必要があります。

詳しくは、『セットアップガイド 6 章 5 捨てるとき／人に譲るとき』を参照してください。

Q 海外でパソコンを使いたいときは？

A 次の点に気をつけてください。

1 電圧や電源プラグの形状を確認する

本製品の AC アダプタは、AC100 〜 240V（50/60Hz）の電圧に対応しているので、この範囲内の電圧・周波数の国／地域で使用できます。

電源コード（電源プラグから AC アダプタまでのケーブル）は、日本の法令・安全規格（AC100V）に適合しています。その他の国／地域で使用する場合は、使用電圧やプラグ形状が異なりますので、お使いになる国／地域の法令・安全規格に適合する電源コード（市販品）をご用意ください。

参照 AC アダプタ、電源コード、電源プラグについて
『セットアップガイド 1 章 3-2
電源コードと AC アダプタを接続する』

2 通信関係の確認をする

- 内蔵モデム、無線 LAN

国／地域によっては、モデムや無線 LAN 装置の使用に認可が必要です。本製品は出荷時に認可を受けていますが、すべての国／地域の認可は受けていません。本書やオンラインマニュアルの「付録」やカタログ、または対応する国／地域を記載したシートで、使用できる国／地域を確認してください。
それ以外の国／地域で本製品を使用する場合は、その国／地域に対応した機器（別売り）を使用するか、内蔵モデムや無線 LAN 機能の使用はお控えください。東芝製オプションはありません。各国／地域に適合した機器をご購入ください。

- モジュラージャックの形状

モジュラージャックは、国／地域によって形状が異なります。本製品は北米と日本の形状に対応していますが、その他の国／地域ではプラグをその地にあう形状に変換するためのアダプタ（別売り）が必要です。東芝製オプションはありません。各国／地域で安全規格に適合したコードや変換プラグをご購入ください。

- モデム設定ユーティリティ

本製品に内蔵されているモデムは、多数の国／地域で利用可能です。「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」で、使用する国／地域を設定してください。

参照 設定方法 《オンラインマニュアル（検索）：
海外でインターネットに接続したい》

3 必要なものを準備する

- 取扱説明書
- Office パッケージ
- 保証書

リカバリする必要が生じたときのために、Office Personal 2003 と Office OneNote 2003 のパッケージ一式をお持ちください。本製品はハードディスクからリカバリできますが、これらのアプリケーションは同梱の CD-ROM からリカバリする必要があります。

参照 リカバリについて
『セットアップガイド 5 章 1 リカバリとは』

故障したときのために、保証書と購入時のレシート＊1 をお持ちください。
ILW（International Limited Warranty）は海外の所定の地域＊2 で ILW の制限事項・確認事項の範囲内で、修理サービスがご利用いただける、東芝の制限付海外保証制度です。保証書が ILW の保証書を兼ねています。
ILW についての詳細は、次のホームページも参照してください。

http://dynabook.com/assistpc/ilw/index_j.htm

＊1 保証書に購入店の捺印と購入日が明記されていれば、必要ありません。
＊2 ILW 対象地域の一部地域では、法律により輸出入が規制されている部品・役務があります。規制に該当する場合は、サービス対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

4 プロバイダを選定する

加入しているプロバイダのアクセスポイントがその地域になければ、メールを送受信するたびに、普段よりも料金が余計にかかります。加入しているプロバイダのアクセスポイントが渡航先にあるか、または、アクセスポイントを持つ他のプロバイダと提携接続サービス（ローミングサービス）を行っていれば、通常通りにメール送受信が可能です。
ご出発前に、加入しているプロバイダのホームページで、アクセスポイントやローミングサービスの有無、設定方法などを確認しておくことをお奨めします。

＜必要な書類など＞

海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、現在販売されている東芝のパソコンを、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、パソコンを他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、リビア、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。
輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省 安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

海外で使用する場合については、次のホームページも参照してください。

http://dynabook.com/assistpc/faq/pcdata/800008.htm

5 問い合わせ先

－ OS／アプリケーション／プロバイダ －

＊ 2005年11月現在の内容です。
各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

① OSの問い合わせ先

Windowsセキュリティセンターなど、Microsoft® Windows® XP Service Pack 2セキュリティ強化機能搭載の新規機能についてのサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://support.microsoft.com/

Windows XPに関する一般的なお問い合わせは、東芝PCダイヤルになります。

② アプリケーションの問い合わせ先

各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれの問い合わせ先まで問い合わせてください。

- Adobe Reader
- CD/DVD静音ユーティリティ
- ConfigFree
- FinePixViewer Lite
- Fn-esse
- Internet Explorer
- InterVideo WinDVD
- Java™ 2 Runtime Environment
- LaLaVoice
- Microsoft Office OneNote
- Outlook Express
- PadTouch
- TOSHIBA Smooth View
- TOSHIBA Virtual Sound
- Windows Media Player
- Windows Movie Maker 2
- 簡単インターネット
- できるdynabook
- 東芝HWセットアップ
- 東芝PC診断ツール
- 東芝SDメモリカードフォーマット
- 東芝コントロール
- 東芝省電力
- 東芝パスワードユーティリティ
- 内蔵モデム用地域選択ユーティリティ
- ぱらちゃん

以上のお問い合わせ先

東芝（東芝PCダイヤル）

全国共通電話番号
：0120-97-1048
（通話料・サポート料無料）
受付時間：9:00～19:00（年中無休）

[電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください]

海外からの電話、携帯電話、PHS、または直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合は Tel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝PCダイヤル」（http://dynabook.com/assistpc/techsupport/dial.htm）にてお知らせいたします。

- Microsoft Office Excel
- Microsoft Office Home Style+
- Microsoft Office Outlook
- Microsoft Office Word

以上のお問い合わせ先

マイクロソフト 無償サポート

〈TEL〉

ＴＥＬ：東京：03-5354-4500
：大阪：06-6347-4400

※ 次の情報をお手元に用意してご連絡ください。
郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お問い合わせ製品のプロダクトID
詳細は、製品添付の「パッケージ内容一覧」をご覧ください。

〈受付時間・お問い合わせ回数〉

●セットアップ、インストールに関するお問い合わせ

受付時間：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
10:00～17:00（土曜日、日曜日）
（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く。日曜日が祝祭日の場合は営業いたします。その場合、振替休日は休業させていただきます）
回数：指定はございません。

●基本操作に関するお問い合わせ

受付時間：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
10:00～17:00（土曜日）
（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く）
回数：4インシデント（4件のご質問）
無償サポートは4件までです。
あらかじめ、インシデント制などの詳細について、『Microsoft Office Personal Edition 2003 スタートガイド』の「お問い合わせについて」をご覧ください。

〈ホームページ〉

URL：http://support.microsoft.com/

※ 電話サポート（無償）もしくは、製品サポートからお問い合わせになる製品をお選びください。

備考：マイクロソフトサポートWeb上から直接インターネットを通じてお問い合わせも可能です。
答えてねっと：http://www.kotaete-net.net/

● The 翻訳インターネット のお問い合わせ先

The 翻訳サポートセンター
受付時間　：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝日ならびに本サポートセンター臨時休業日を除く）
TEL　：0120-1048-37（フリーダイヤル、携帯電話・PHS をご利用の場合には、03-5465-7290）
E-mail　：honyaku@toshiba-sol.co.jp
ホームページ：http://pf.toshiba-sol.co.jp/prod/hon_yaku/seihin/internet/index_j.htm
※ ユーザ登録をおすすめします。https://pf.toshiba-sol.co.jp/prod/hon_yaku/regist/tti_regist.html からユーザ登録を行うことができます。
※ 日本語のみでお受けいたします。

● プロアトラス SV for TOSHIBA のお問い合わせ先

株式会社アルプス社　カスタマーサポート
受付時間　：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝日・休業日を除く）
TEL　：052-789-1510
FAX　：052-789-1570（24 時間受付）
E-mail　：support@alpsmap.co.jp
製品サポート：http://www.alpsmap.co.jp/support/index.html

● 駅すぱあと のお問い合わせ先

株式会社ヴァル研究所
「駅すぱあと」ユーザーサポートセンター
受付時間　：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日・指定日を除く）
TEL　：03-5373-3522
FAX　：03-5373-3523
E-mail　：support@val.co.jp
※ ユーザ登録されたお客様が対象になります。
ホームページ：http://ekiworld.net/

● 筆ぐるめ のお問い合わせ先

富士ソフト ABC 株式会社　インフォメーションセンター
受付時間　：9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日・休業日を除く）11 月 1 日から 12 月 30 日までは無休
TEL　：03-5600-2551
FAX　：03-3634-1322
E-mail　：users@fsi.co.jp
ホームページ：http://www.fsi.co.jp/fgw/

● マカフィー・ウイルススキャン
● マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス
以上のお問い合わせ先

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（主に、ユーザ登録や更新時お支払い等、オペレーション上でのお問い合わせ。）
受付時間　：9:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日除く）
TEL　：0570-030-088
E-mail　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp
ホームページ：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

マカフィー・テクニカルサポートセンター
（主に、ソフトウェアご使用上の操作方法や不具合等技術的なお問い合わせ。）
受付時間　：9:00 ～ 21:00（年中無休）
TEL　：0570-060-033
E-mail　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/contact.asp
ホームページ：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

● ウイルスバスター 2006 のお問い合わせ先

トレンドマイクロ ウイルスバスターサービスセンター
受付時間　：9:30 ～ 17:30
TEL　：0570-008326
ホームページ：http://www.trendmicro.co.jp/support/vb/index.asp

● InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum のお問い合わせ先

インタービデオジャパン ユーザーサポート
お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。当製品の無償サポート期間は、ご購入後 1 年間となります。
受付時間　：月～金 9:30 ～ 17:00（12:00 ～ 13:30 および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）
TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/

● cocoa のお問い合わせ先

NTT コミュニケーションズ カスタマーズフロント
受付時間　：9:00 ～ 21:00：無休（年末年始を除きます）
TEL　：0120-506506
ホームページ：http://coden.ntt.com

- BroadNewsStreet のお問い合わせ先

ニューズウォッチ
E-mail ：toshibapc@newswatch.co.jp
対応時間 ：平日 10:00 ～ 17:30
（土、日、祝日、およびニューズウォッチが別途定める日はサポートの対象外となります。）

- 駅探エクスプレス のお問い合わせ先

駅探エクスプレスサポート
受付時間 ：メールのため受付時間の制限はありません。
※ webmaster からの返信は、基本的に平日(10:00 ～ 18:00)の対応とさせていただいております。
また、内容により返信できない場合、回答に日数を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。
E-mail ：express-support@ekitan.com
ホームページ：http://express.ekitan.com/

- BeatJam
- ホームページミックス /R.2 以上のお問い合わせ先

●ユーザー登録に関するお問い合わせ
ユーザー登録ご相談窓口
受付時間 ：平日 10:00 ～ 19:00、
土・日・祝日 10:00 ～ 17:00
（特別休業日を除く）
TEL ：東京 03-5412-2624
大阪 06-6886-2624
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ
ジャストシステムサポートセンター
※ サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様の User ID および製品のシリアルナンバーが必要です。
受付時間 ：平日 10:00 ～ 19:00、
土・日・祝日 10:00 ～ 17:00
（特別休業日を除く）
TEL ：東京 03-5412-3980
大阪 06-6886-7160
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

- RecordNow!
- DLA
- Recovery Disc Creator 以上のお問い合わせ先

ソニック・サポートセンター
受付時間 ：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
（土・日・祝祭日・年末年始・特別行事日を除く）
TEL ：03-5232-6400
お問い合わせは、ソニック・ソリューションズのサポートページのメールサポートフォームより質問内容をお送りください。
ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/index.html

- ゼンリンデータコム デジタル全国地図 its-mo Navi のお問い合わせ先

ゼンリンデータコム お客様相談室
E-mail ：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ：http://www.zmap.net/contactus/index.html

- i- フィルター 4 のお問い合わせ先

デジタルアーツ株式会社
i- フィルター・サポートセンター
受付時間 ：平日 10:00 ～ 18:00、
土・日・祝日 10:00 ～ 20:00
TEL ：平日 03-3580-5678
土・日・祝日 0570-001334
E-mail ：p-support@daj.co.jp
ユーザーサポートお問い合わせフォーム
：https://sec2.daj.co.jp/userform/ask/form.htm

- ファイナルストッパー アンチスパイウェア のお問い合わせ先

AOS テクノロジーズ株式会社 技術サポート
受付時間 ：月～金
9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 20:00
（土日祝祭日を除く）
※ 夏期休暇や、年末休暇は随時 Web（http://www.finaldata.jp/support/support.html）にてお知らせいたしております。
TEL ：03-5575-2218
FAX ：03-5575-2270
E-mail ：finalstopper@aostech.co.jp
ホームページ：http://www.finaldata.jp/support/faq_index.html

- Yahoo! ツールバー のお問い合わせ先

Yahoo! ツールバーヘルプ
E-mail ：https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
ホームページ：http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/

③ プロバイダの問い合わせ先

プロバイダサインアップソフトから契約できるプロバイダの問い合わせ先は、次のとおりです。

● AOL のお問い合わせ先

AOL メンバーサポートセンター
受付時間 : 9:00 ～ 21:00（年中無休）
TEL : 0120-275-265
＊ 携帯電話、PHS の場合
: 03-5400-9600
FAX : 0120-379-930（自動案内）
E-mail : aoljapanms@aol.com
ホームページ : http://support.aol.co.jp/

● BIGLOBE のお問い合わせ先

NEC BIGLOBE カスタマーサポート
インフォメーションデスク
受付時間 : 9:00 ～ 22:00　365 日受付
TEL : 0120-86-0962
＊ 携帯電話、PHS、CATV 電話のかたはこちらへ : 03-3947-0962
＊ 電話番号は、おかけ間違いのないようお願いします。
ホームページ : http://support.biglobe.ne.jp/

● DION のお問い合わせ先

KDDI カスタマーサービスセンター
●サービス内容に関するお問合わせ
TEL : 0077-7192
（無料／ 9:00 ～ 21:00
／土・日・祝日も受付中）
●接続・設定等に関するお問合わせ
TEL : 0077-7084
（無料／ 24 時間受付
／土・日・祝日も受付中）
ホームページ : http://www.dion.ne.jp/
※ メールでのお問い合わせはホームページから
: http://cs119.kddi.com/dion/

● infoPepper のお問い合わせ先

infoPepper インターネットサービス
受付時間 : 10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
（休業日を除く月曜～金曜）
TEL : 044-201-0450
FAX : 044-246-1131
FAX・音声情報サービス
: 044-201-0449（24 時間受付）
E-mail : support@staff.pep.ne.jp
ホームページ : http://www.pep.ne.jp/

● OCN のお問い合わせ先

● OCN サービスの入会に関するご相談
OCN ヘルプデスク
TEL : 0120-047-747
受付時間 : 9:00 ～ 21:00（月～金）
9:00 ～ 17:00（土・日・祝）
＊ 年末、年始を除く
● OCN サービスご契約者専用お問い合わせ先
OCN カスタマサポート
TEL : 0120-047-860
FAX : 0120-047-861
受付時間 : 9:00 ～ 21:00（月～金）
9:00 ～ 17:00（土・日・祝日）
＊ 年末、年始を除く
E-mail : support@ocn.ad.jp
ホームページ : http://www.ocn.ne.jp/

● ODN のお問い合わせ先

ODN サポートセンター
● ODN サービスに関するお問い合わせ
TEL : 0088-86
（無料。ダイヤルアップコース）
: 0088-222-375
（無料。ADSL ／光コース）
受付時間 : 24 時間自動受付
（9:00 ～ 18:00 は
オペレーター受付も可能）
●接続に関するお問い合わせ
TEL : 0088-85
（無料。ダイヤルアップコース）
: 0088-228-325
（無料。ADSL ／光コース）
受付時間 : 24 時間自動受付
（9:00 ～ 18:00 は
オペレーター受付も可能。
また、ADSL ／光コースの場合、
オペレーター受付は 9:00 ～ 21:00）
● E-mail によるお問い合わせ
ダイヤルアップコースサービス案内
: odn-support@odn.ad.jp
ダイヤルアップコース接続サポート
: tech-support@odn.ad.jp
ADSL ／光コースサービス案内・接続サポート
: info-adsl@odn.ad.jp
● FAX によるお問い合わせ
ODN FAX サービス : 0088-218-586
（無料。年中無休）

● So-net のお問い合わせ先

So-net インフォメーションデスク
受付時間 : 9:00 ～ 21:00 （年中無休）
TEL : 0570-00-1414
FAX : 03-3446-7557
E-mail : info@so-net.ne.jp
ホームページ : http://www.so-net.ne.jp/support/

● Yahoo! BB のお問い合わせ先

Yahoo! JAPAN 新規 Yahoo! BB 申し込み受付センター
TEL　　　：0120-33-4546（フリーダイヤル）
受付時間　：9:00 ～ 22:00　（月曜～金曜）
　　　　　　8:00 ～ 22:00　（土曜、日曜、祝日）

＊ 多数のお申し込みをいただいているため、20 時以降、電話がつながりにくい場合があります。20 時以前はつながりやすいので、ぜひご利用ください。

● かるがるネット のお問い合わせ先

かるがるネットサポートセンター
受付時間　：9:30 ～ 18:30（土・日・祝日を除く）
TEL　　　：03-5777-0670
FAX　　　：03-5777-0665
E-mail　　：info@karugaru.net
ホームページ：http://www.karugaru.net/

付録

技術基準適合などについて記しています。

1 技術基準適合について

オンラインマニュアルにも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、オンラインマニュアルの記載もあわせてご確認ください。

瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

参照 「6章 4 Q&A集 その他-Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい」

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

参照 省電力設定について 《オンラインマニュアル（検索）：省電力の設定をする》

●対応地域
内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、メキシコ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

（2005年12月現在）

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域では使用できません。注意してください。
内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムを購入してください。
内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。
上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめ了承してください。

参照 設定について 《オンラインマニュアル（検索）：海外でインターネットに接続したい》

●自動再発信の制限
内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

＊内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。

TOSHIBA

EU Declaration of Conformity

CE

TOSHIBA declares, that the product: PATX7******、PAAX7****** conforms to the following Standards:

Supplementary Information : “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC, the EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/5/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives.
Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

付録

TEAC DVD スーパーマルチドライブ DV-W28EB
（DVD スーパーマルチドライブ DVD ± R 2 層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

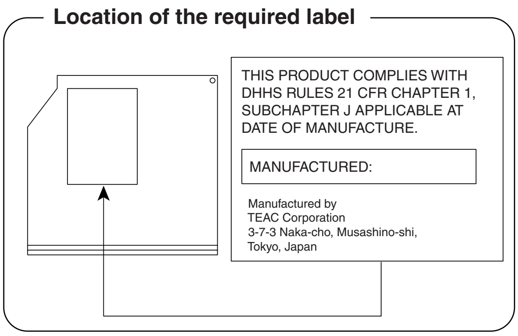
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注 意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	CLASSE 3B RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNDGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.



TEAC DVD スーパーマルチドライブ DV-W28EA（DVD スーパーマルチドライブ DVD ± R 2 層式メディア対応）安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

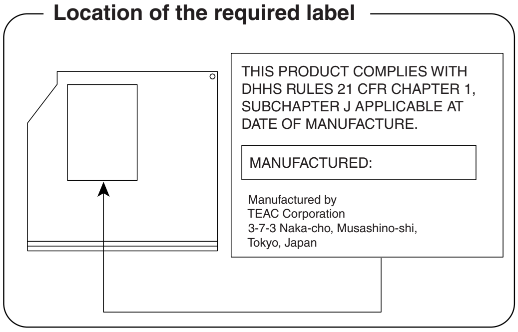
⚠注 意

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	CLASSE 3B RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNDGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

Location of the required label



Panasonic DVD スーパーマルチドライブ UJ-850B
（DVD スーパーマルチドライブ　DVD ± R ２層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

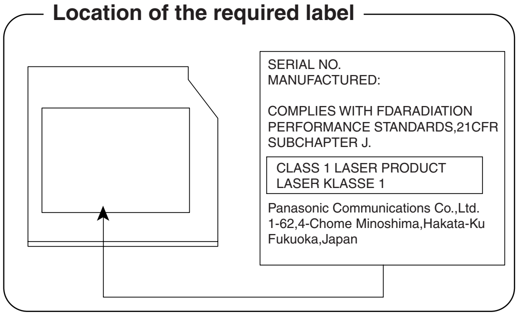
⚠注 意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス１レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	CLASSE 3B RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

Location of the required label



Panasonic DVDスーパーマルチドライブ UJ-841
（DVDスーパーマルチドライブ　DVD ± R 2層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

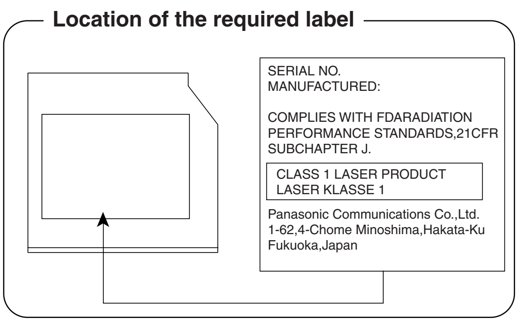
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格EN60825で"クラス1レーザー機器"に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	CLASSE 3B RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.



HITACHI LG DVD スーパーマルチドライブ GMA-4082N
（DVD スーパーマルチドライブ DVD ± R 2 層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

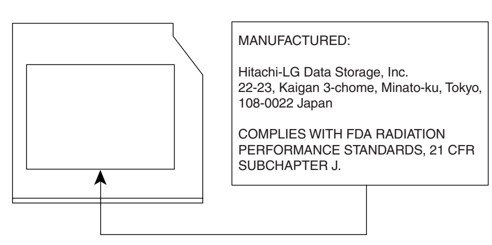
⚠注 意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

Location of the required label



HITACHI LG DVD スーパーマルチドライブ GSA-4082N（DVD スーパーマルチドライブ DVD ± R 2 層式メディア対応）安全にお使いいただくために

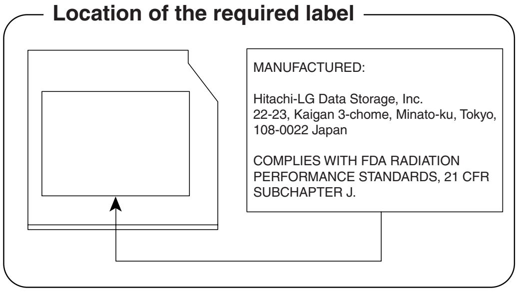
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.



Pioneer DVD スーパーマルチドライブ DVR-K16T
（DVD スーパーマルチドライブ DVD ± R 2 層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

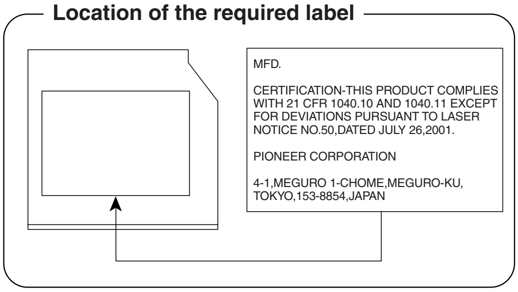
⚠ 注 意

> CLASS 1 LASER PRODUCT
> LASER KLASSE 1
> クラス 1 レーザー製品

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN, AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION	RADIATIONS LASER VISIBLES ET INVISIBLES DE CLASSE 3B QUAND OUVERT. ÉVITEZ TOUT EXPOSITION AU FAISCEAU.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING.
VARO !	AVATTAESSA OLET ALTTIINA NÄKYVÄLLE JA NÄKYMÄTTÖMÄLLE LUOKAN 3B LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. UNDVIK AT T UTSÄTTA DIG FÖR STRÅLEN.
VORSICHT	BEI GEÖFFNETER ABDECKUNG IST SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG DER KLASSE 3B IM GERÄTEINNEREN VORHANDEN. NICHT DEM LASERSTRAHL AUSSETZEN!
PRECAUCIÓN	CUANDO SE ABRE HAY RADIACIÓN LÁSER DE CLASE 3B VISIBLE E INVISIBLE. EVITE LA EXPOSICIÓN A LOS RAYOS LÁSER.
注意	ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。

Location of the required label



Pioneer DVD スーパーマルチドライブ DVR-K16S
（DVD スーパーマルチドライブ DVD ± R 2 層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

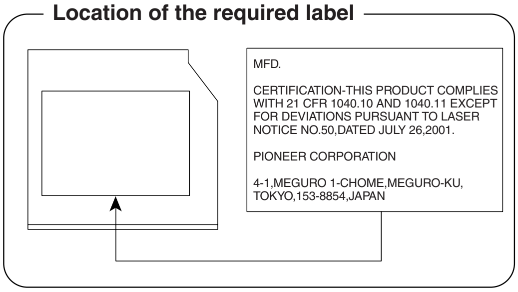
⚠注 意

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1
クラス 1 レーザー製品

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN, AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION	RADIATIONS LASER VISIBLES ET INVISIBLES DE CLASSE 3B QUAND OUVERT. ÉVITEZ TOUT EXPOSITION AU FAISCEAU.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING.
VARO !	AVATTAESSA OLET ALTTIINA NÄKYVÄLLE JA NÄKYMÄTTÖMÄLLE LUOKAN 3B LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. UNDVIK AT T UTSÄTTA DIG FÖR STRÅLEN.
VORSICHT	BEI GEÖFFNETER ABDECKUNG IST SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG DER KLASSE 3B IM GERÄTEINNEREN VORHANDEN. NICHT DEM LASERSTRAHL AUSSETZEN!
PRECAUCIÓN	CUANDO SE ABRE HAY RADIACIÓN LÁSER DE CLASE 3B VISIBLE E INVISIBLE. EVITE LA EXPOSICIÓN A LOS RAYOS LÁSER.
注意	ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。

Location of the required label



NEC DVDスーパーマルチドライブ ND-7550A
(DVDスーパーマルチドライブ DVD±R 2層式メディア対応)
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

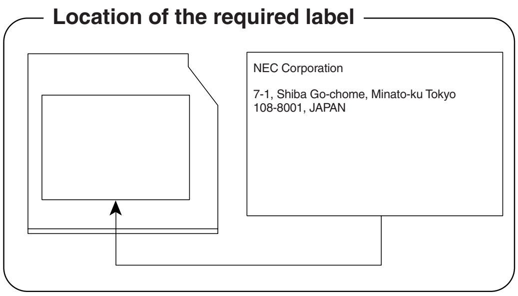
⚠注 意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT
クラス 1 レーザー製品

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
VORSICHT	SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG DER KLASSE 3B, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
VARNING	SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING AV KLASS 3B FÖREKOMMER NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPEN. UNDVIK STRÅLEN.
VARO !	LUOKAN 3 NÄKYVÄÄ JA NÄKYMÄTÖNTÄ LASERSÄTEILYÄ AVATTUNA. VÄLTÄ ALTISTUMISTA SÄTEELLE.
注意	ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームに身をさらさないでください。



2 無線LANについて

＊ 無線LANモデルのみ

オンラインマニュアルにも、無線LANに関する説明が記載されています。
本書だけでなく、オンラインマニュアルの記載もあわせてご確認ください。

参照 《オンラインマニュアル （検索）：無線LANについて》

1 ご使用になれる国／地域について

お願い

- 本製品は、次にあげる国／地域の無線規格を取得しております。これらの国／地域以外では使用できません。

【 Intel b/g対応モデル 】

- 802.11bおよび802.11gモードでのアドホック接続は、チャネル1～チャネル11で使用できます。
- 802.11bおよび802.11gモードでのインフラストラクチャ接続は、チャネル1～チャネル11で使用できます。

●802.11b/g（2.4GHz）

アイスランド	シンガポール	フィンランド
アイルランド	スイス	フランス
アメリカ合衆国	スウェーデン	ブルガリア
イギリス	スペイン	ベルギー
イタリア	スロバキア	ポーランド
インド	スロベニア	ポルトガル
インドネシア	チェコ	香港
ウクライナ	中国	マルタ
エストニア	デンマーク	マレーシア
オーストラリア	ドイツ	ヨルダン
オーストリア	トルコ	ラトビア
オマーン	日本	リトアニア
オランダ	ニュージーランド	リヒテンシュタイン
カナダ	ノルウェー	ルクセンブルク
キプロス	ハンガリー	ロシア
ギリシャ	フィリピン	

付録

【 Atheros b/g 対応モデル 】

- 802.11g モードではアドホック接続は使用できません。
- 802.11b モードでのアドホック接続は、チャネル 1 ～チャネル 11 で使用できます。
- 802.11b および 802.11g モードでのインフラストラクチャ接続は、チャネル 1 ～チャネル 11 で使用できます。

● 802.11b/g（2.4GHz）

アイスランド	スイス	フィンランド
アイルランド	スウェーデン	フランス
アメリカ合衆国	スペイン	ベルギー
イギリス	スロバキア	ポーランド
イタリア	スロベニア	ポルトガル
エストニア	チェコ	マルタ
オーストラリア	デンマーク	ラトビア
オーストリア	ドイツ	リトアニア
オランダ	日本	リヒテンシュタイン
カナダ	ニュージーランド	ルクセンブルク
キプロス	ノルウェー	
ギリシャ	ハンガリー	

さくいん